

平成 29 年度
大竹市健康づくり・食育に関する
意識調査報告書

平成 29 年 7 月

大竹市
(株) ジャパンインターナショナル総合研究所

調査方法

調査対象者	平成 29 年 5 月 1 日現在、大竹市にお住まいの 20 歳以上の方		
調査数	2,000 名		
調査方法	郵送による配布回収		
調査時期	平成 29 年 6 月 8 日～6 月 27 日		
調査票回収数	701 件	回収率	35.1%

調査集計にあたっての留意事項

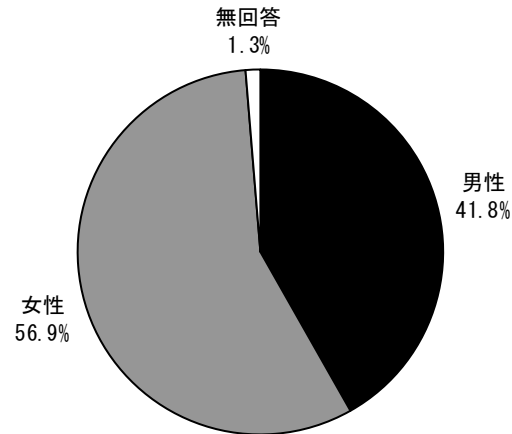
- 回答結果は小数点第 2 桁目を四捨五入している。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2 つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ
 - 「N」 = サンプル数のこと
 - 「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
 - 「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）
 - 「数量」 = 数量回答のことを示します。

なお、図表中において「不明」とある項目については、「回答の無かったもの」、若しくは「判別ができなかったもの」を表しています。また、傾向を判別しやすくするため、クロス集計における「不明」の項目は除いています。

問1 あなたの性別を教えてください。(SA)

「女性」が56.9%を占めています。

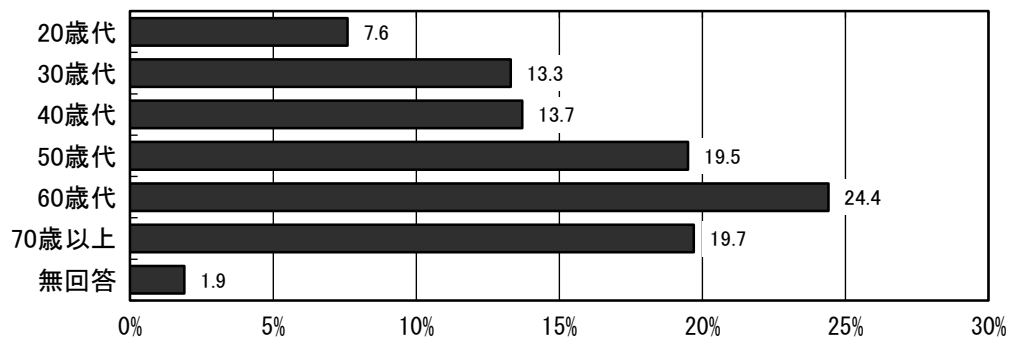
(SA) N=701



問2 あなたの年齢を教えてください。(数量⇒SA変換)

「60歳代」が24.4%で最も高くなっています。次いで「70歳以上」が19.7%、「50歳代」が19.5%で続いています。

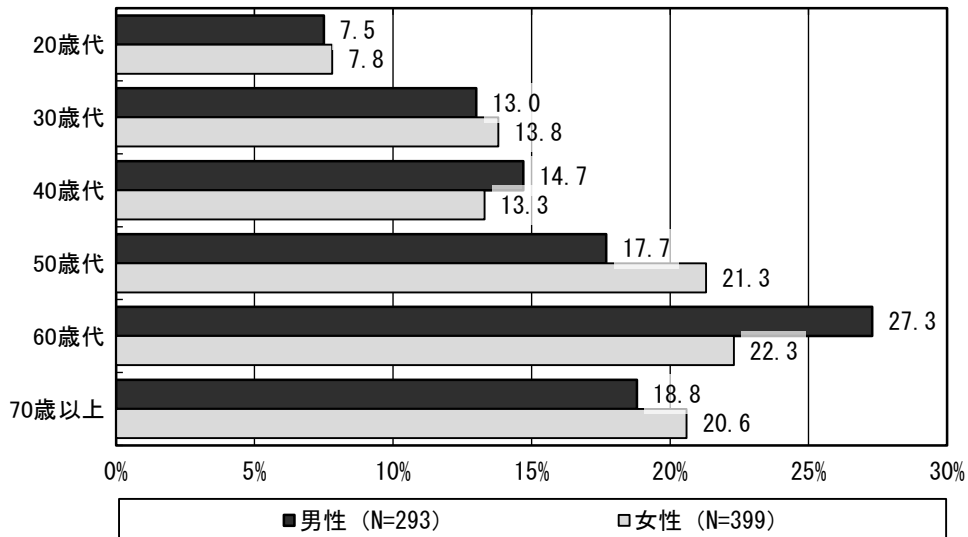
(SA) N=701



【問2 年代】 × 【問1 性別】

“男性”では「60歳代」が群を抜いて高くなっています。

“女性”では「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」が拮抗しています。

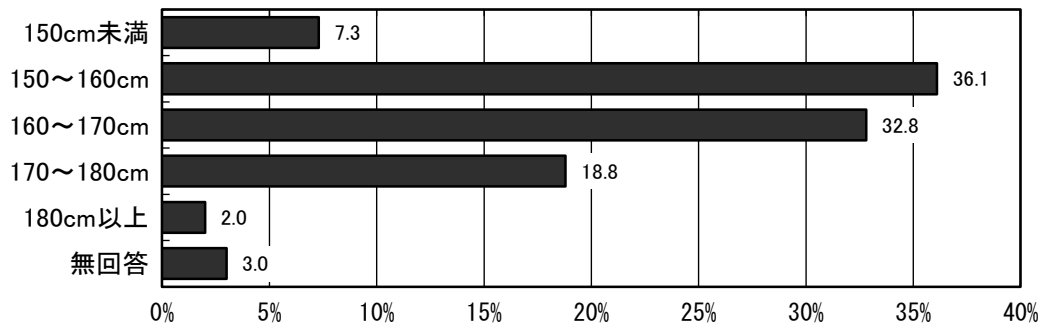


問2 あなたの身長を教えてください。(数量⇒SA変換)

「150～160cm」が36.1%、「160～170cm」が32.8%で群を抜いて高くなっています。

「170～180cm」が18.8%が続いています。

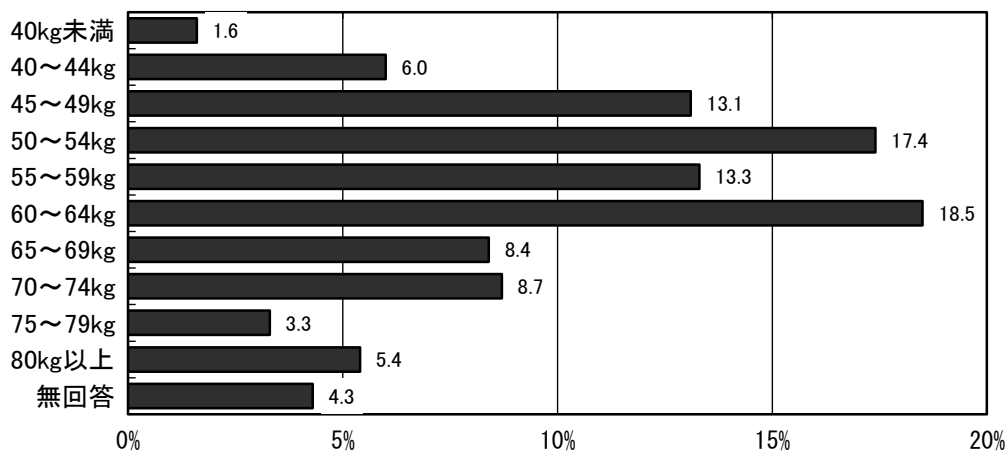
(SA) N=701



問2 あなたの体重を教えてください。(数量⇒SA変換)

「60～64kg」が18.5%で最も高くなっています。次いで「50～54kg」が17.4%、「55～59kg」が13.3%で続いています。

(SA) N=701

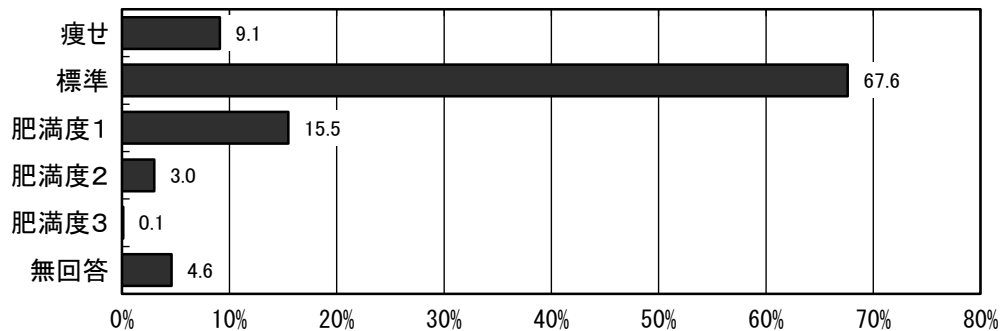


問2 BMI算出 (身長と体重より)

【BMI 指数】	【肥満度の判定基準】												
肥満度 = 体重 (kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分項目</th> <th>肥満度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>痩せ</td> <td>18.5 未満</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>18.5 以上 25.0 未満</td> </tr> <tr> <td>肥満度1</td> <td>25.0 以上 30.0 未満</td> </tr> <tr> <td>肥満度2</td> <td>30.0 以上 35.0 未満</td> </tr> <tr> <td>肥満度3</td> <td>35.0 以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分項目	肥満度	痩せ	18.5 未満	標準	18.5 以上 25.0 未満	肥満度1	25.0 以上 30.0 未満	肥満度2	30.0 以上 35.0 未満	肥満度3	35.0 以上
区分項目	肥満度												
痩せ	18.5 未満												
標準	18.5 以上 25.0 未満												
肥満度1	25.0 以上 30.0 未満												
肥満度2	30.0 以上 35.0 未満												
肥満度3	35.0 以上												

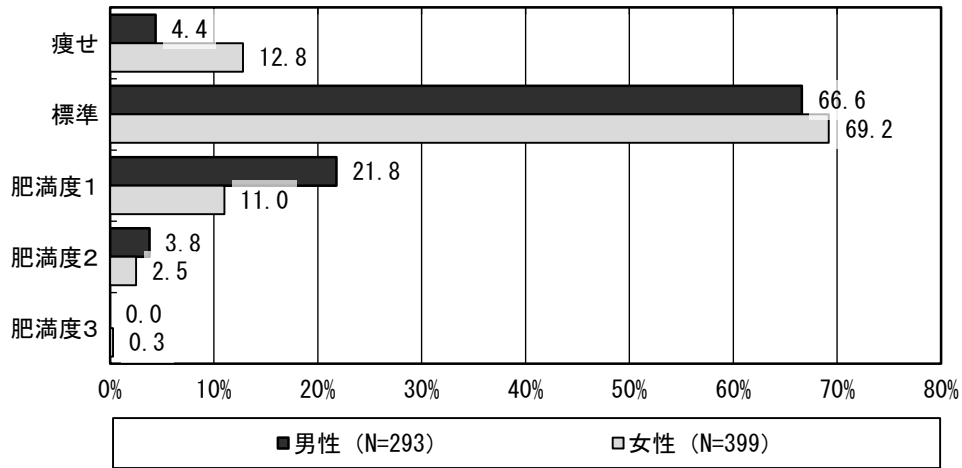
「標準」が67.6%で突出しています。「肥満度1」が15.5%、「痩せ」が9.1%で続いています。

(SA) N=701



【問2 BMI】 × 【問1 性別】

“男性”は「肥満」が高い傾向があり、“女性”は「痩せ」が高い傾向があります。



【問2 BMI】 × 【問2 年代】

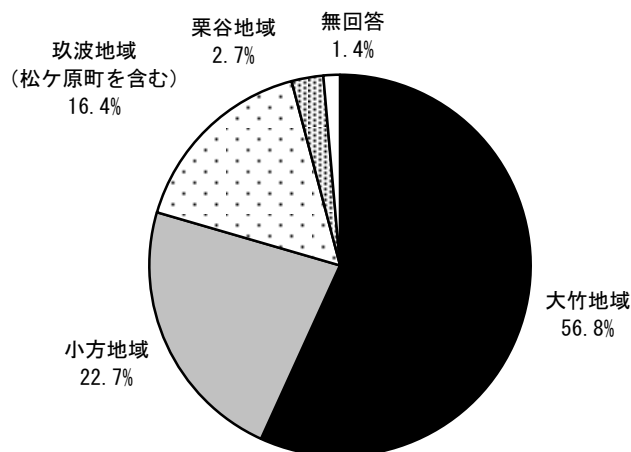
“20 歳代”は「痩せ」が高い傾向があり、“40 歳代”、“60 歳代”は「肥満」が高い傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	痩せ	標準	肥満度1	肥満度2	肥満度3
全体	701 100.0	64 9.1	474 67.6	109 15.5	21 3.0	1 0.1
20歳代	53 100.0	7 13.2	37 69.8	7 13.2	-	-
30歳代	93 100.0	8 8.6	69 74.2	12 12.9	2 2.2	-
40歳代	96 100.0	8 8.3	63 65.6	20 20.8	3 3.1	-
50歳代	137 100.0	11 8.0	96 70.1	19 13.9	5 3.6	1 0.7
60歳代	171 100.0	16 9.4	113 66.1	32 18.7	6 3.5	-
70歳以上	138 100.0	14 10.1	94 68.1	19 13.8	5 3.6	-

問3 お住まいの地域はどこですか。(SA)

「大竹地域」が56.8%を占めています。

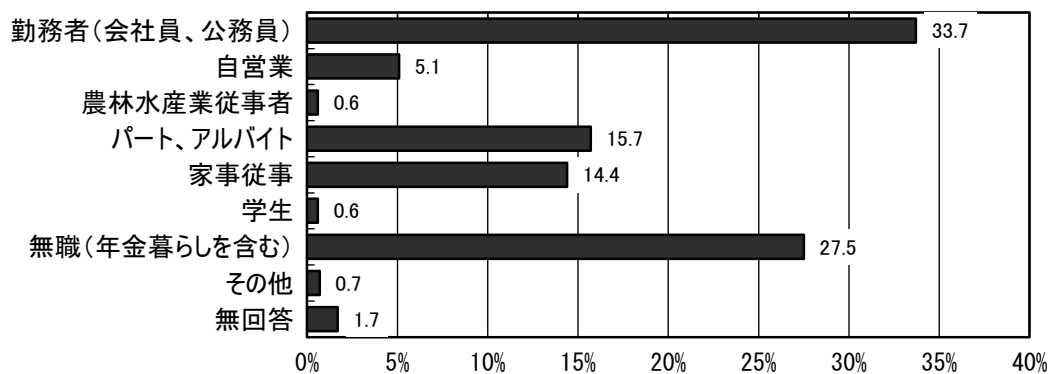
(SA) N=701



問4 あなたの職業は次のうちどれですか。(SA)

「勤務者（会社員、公務員）」が33.7%で最も高くなっています。次いで「無職（年金暮らしを含む）」が27.5%、「パート、アルバイト」が15.7%が続いています。

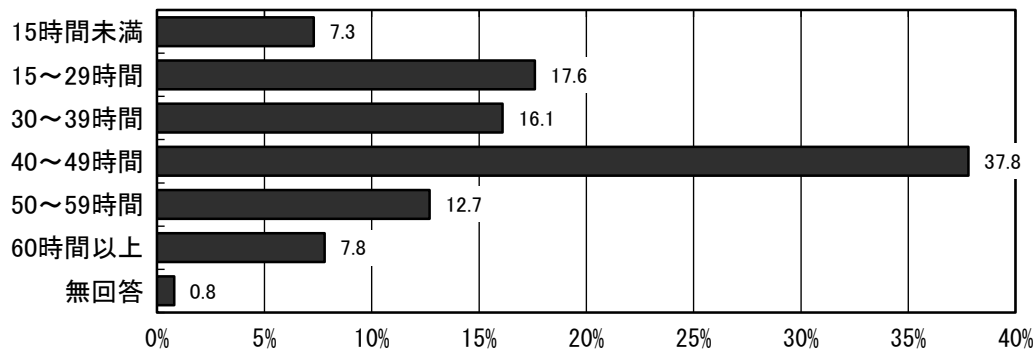
(SA) N=701



問4-1 1週間にどのくらいの時間働いていますか。残業や副業をしている場合は、それを含めてお考え下さい。(SA)

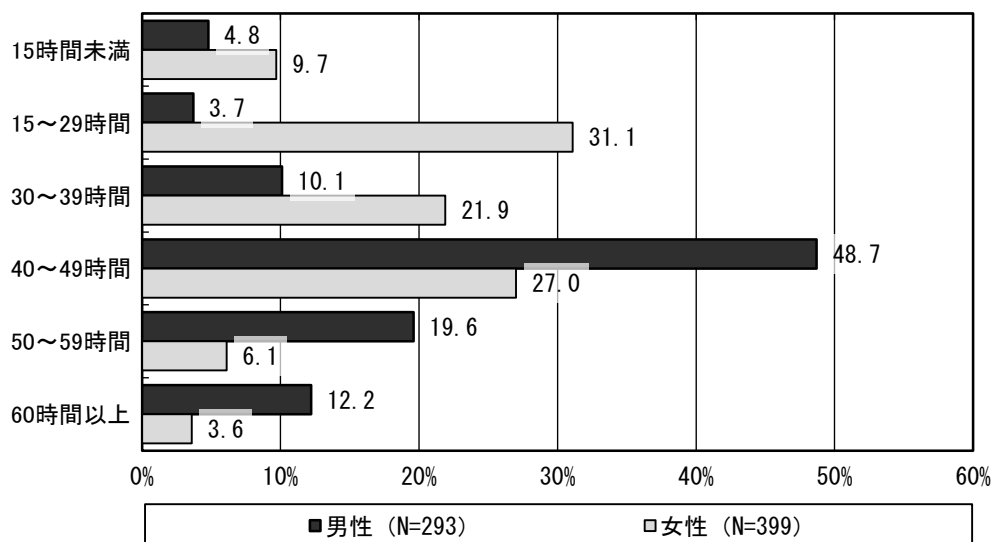
「40～49時間」が37.8%で突出しています。「15～29時間」が17.6%、「30～39時間」が16.1%で続いています。

(SA) N=386



【問4-1 労働時間】 × 【問1 性別】

“女性”に比べて“男性”の労働時間がかなり長くなっています。



【問4-1 労働時間】 × 【問2 年代】

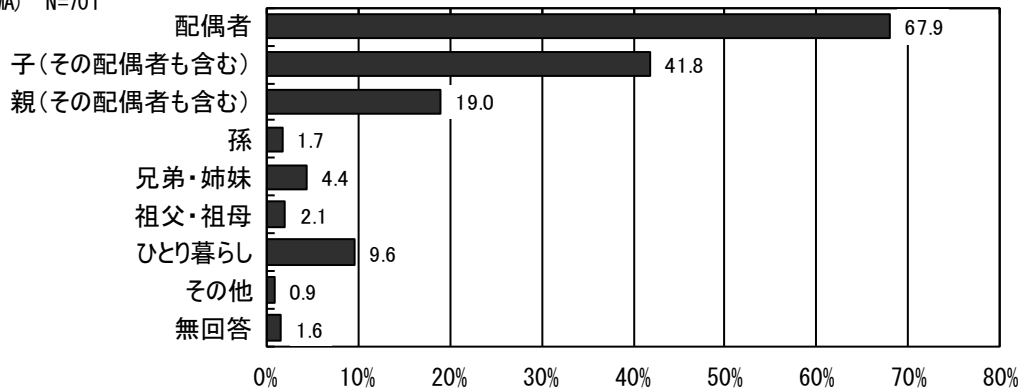
若い年代、特に“20～40 歳代”の長時間労働が多くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	15時間未満	15～29時間	30～39時間	40～49時間	50～59時間	60時間以上
全体	386 100.0	28 7.3	68 17.6	62 16.1	146 37.8	49 12.7	30 7.8
20歳代	38 100.0	3 7.9	3 7.9	4 10.5	18 47.4	5 13.2	4 10.5
30歳代	67 100.0	2 3.0	10 14.9	8 11.9	30 44.8	10 14.9	7 10.4
40歳代	86 100.0	8 9.3	14 16.3	11 12.8	32 37.2	10 11.6	9 10.5
50歳代	102 100.0	5 4.9	19 18.6	14 13.7	44 43.1	16 15.7	4 3.9
60歳代	75 100.0	7 9.3	18 24.0	22 29.3	18 24.0	6 8.0	4 5.3
70歳以上	15 100.0	3 20.0	4 26.7	2 13.3	3 20.0	1 6.7	2 13.3

問5 同居する家族を教えてください。(MA)

「配偶者」が67.9%で最も高くなっています。次いで「子(その配偶者も含む)」が41.8%、「親(その配偶者も含む)」が19.0%が続いています。

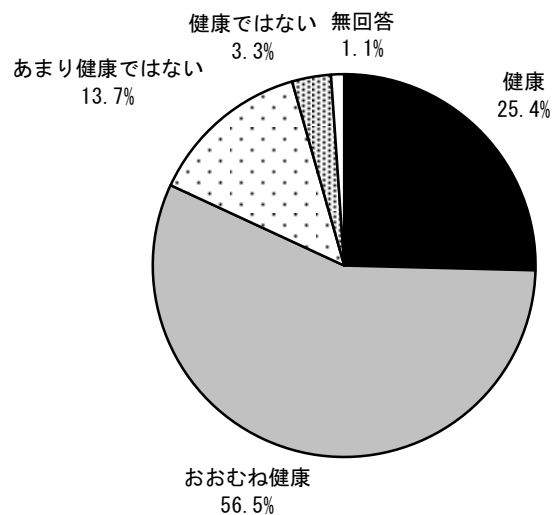
(MA) N=701



問6 あなたは健康だと思いますか。(SA)

「おおむね健康」が56.5%を占めています。

(SA) N=701



【問6 健康】 × 【問2 年代】

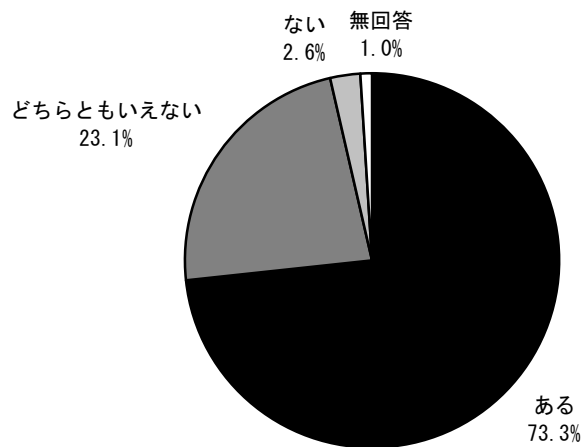
若い年代では健康と感じている割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	健康	おおむね健康	あまり健康ではない	健康ではない
全体	701 100.0	178 25.4	396 56.5	96 13.7	23 3.3
20歳代	53 100.0	21 39.6	30 56.6	2 3.8	-
30歳代	93 100.0	40 43.0	44 47.3	8 8.6	1 1.1
40歳代	96 100.0	29 30.2	57 59.4	10 10.4	-
50歳代	137 100.0	24 17.5	93 67.9	19 13.9	1 0.7
60歳代	171 100.0	41 24.0	98 57.3	25 14.6	7 4.1
70歳以上	138 100.0	23 16.7	69 50.0	30 21.7	14 10.1

問7 あなたは自分の健康に関心がありますか。(SA)

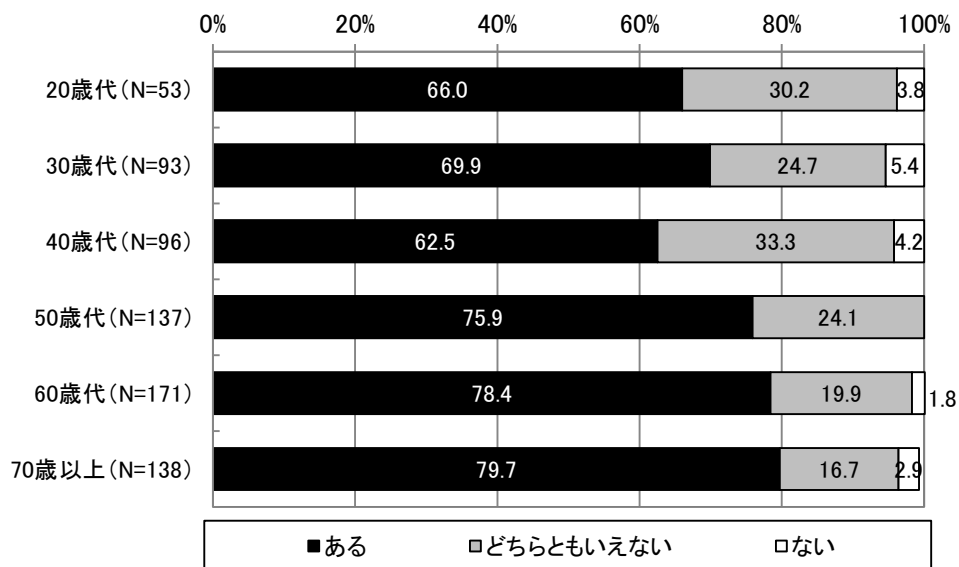
「ある」が73.3%を占めています。

(SA) N=701



【問7 健康への関心】 × 【問2 年代】

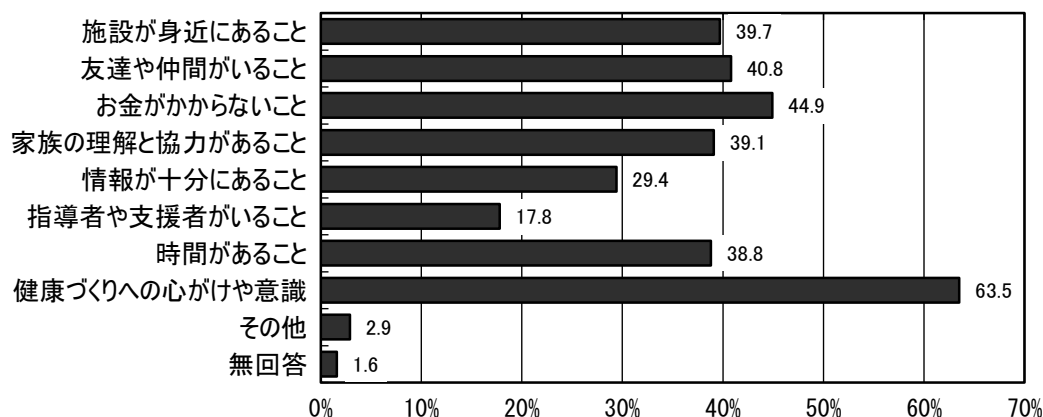
若い年代では健康への関心が低くなっています。



問8 あなたの健康づくりを維持・継続させるためには何が大切だと思いますか。(MA)

「健康づくりへの心がけや意識」が63.5%で最も高くなっています。次いで「お金がかからないこと」が44.9%、「友達や仲間がいること」が40.8%で続いています。

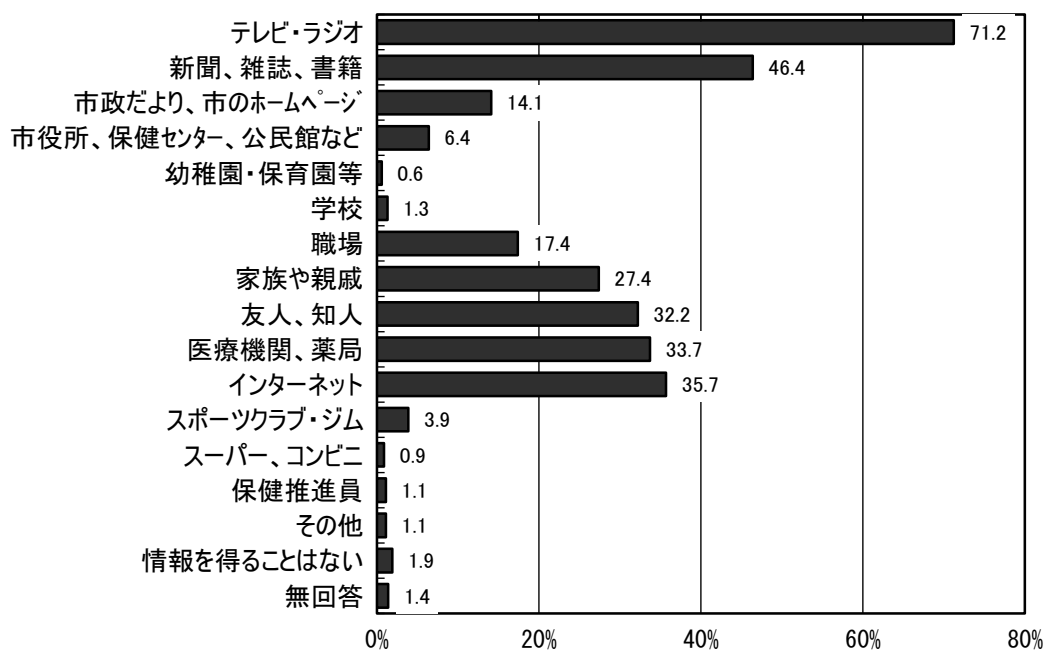
(MA) N=701



問9 あなたはどこ(だれ)から健康に関する情報を得たり相談したりしていますか。(MA)

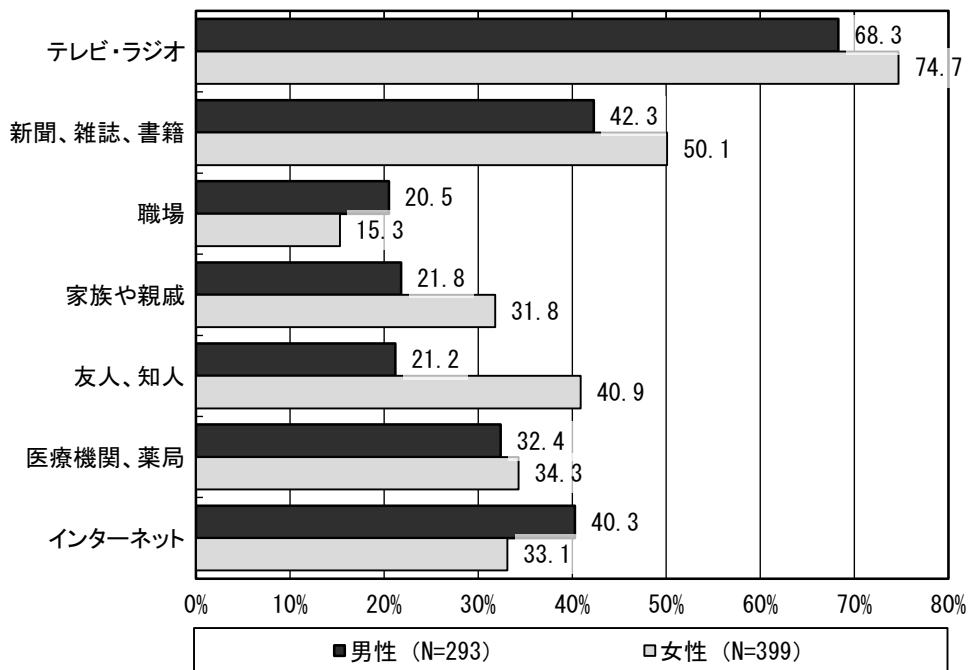
「テレビ・ラジオ」が71.2%で最も高くなっています。次いで「新聞、雑誌、書籍」が46.4%、「インターネット」が35.7%で続いています。

(MA) N=701



【問9 健康の情報】 × 【問1 性別】（一部抜粋）

男女共に「テレビ・ラジオ」、「新聞、雑誌、書籍」が高くなっていますが、その他に“男性”は「職場」、「女性」は「友人、知人」が高くなっています。



【問9 健康の情報】 × 【問2 年代】（一部抜粋）

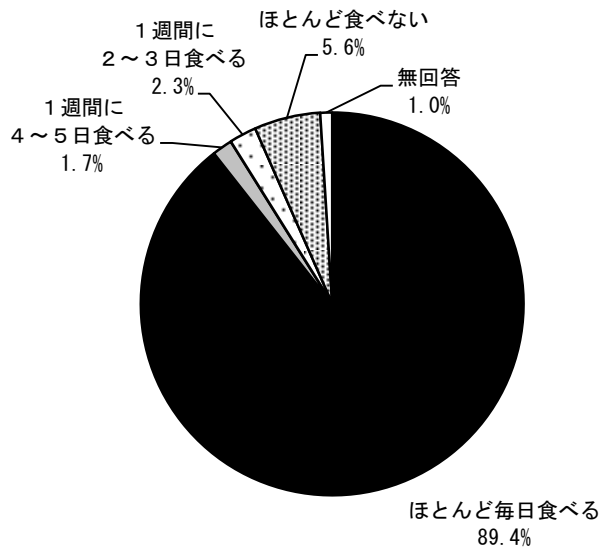
年代が若いほどでは「新聞、雑誌、書籍」が低く、「インターネット」が高くなる傾向がみられます。また、「60歳代」、「70歳以上」では「医療機関、薬局」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	テレビ・ラジオ	新聞、雑誌、書籍	職場	家族や親戚	友人、知人	医療機関、薬局	インターネット
全体	701 100.0	499 71.2	325 46.4	122 17.4	192 27.4	226 32.2	236 33.7	250 35.7
20歳代	53 100.0	30 56.6	8 15.1	12 22.6	13 24.5	20 37.7	11 20.8	39 73.6
30歳代	93 100.0	64 68.8	28 30.1	22 23.7	21 22.6	29 31.2	18 19.4	57 61.3
40歳代	96 100.0	69 71.9	39 40.6	30 31.3	27 28.1	29 30.2	21 21.9	34 35.4
50歳代	137 100.0	108 78.8	70 51.1	32 23.4	42 30.7	40 29.2	34 24.8	63 46.0
60歳代	171 100.0	128 74.9	95 55.6	21 12.3	50 29.2	61 35.7	71 41.5	47 27.5
70歳以上	138 100.0	94 68.1	80 58.0	4 2.9	39 28.3	47 34.1	79 57.2	9 6.5

問10 あなたはふだん朝食を食べていますか。(SA)

「ほとんど毎日食べる」が89.4%を占めています。

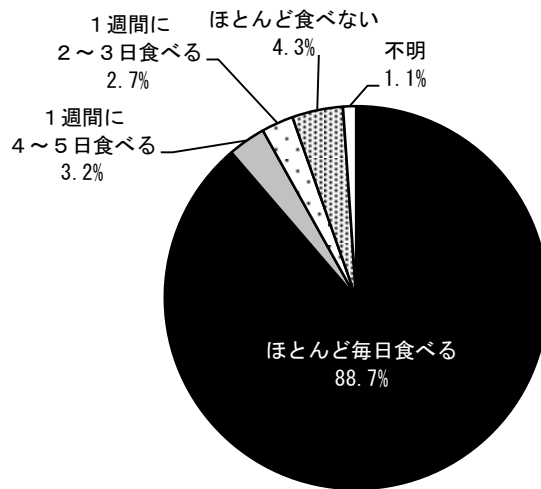
(SA) N=701



「参考」 前回調査結果（平成25年実施分）

朝食のとり方は前回調査とあまり変化がありません。

(SA) N=728



【問10 朝食】 × 【問2 年代】

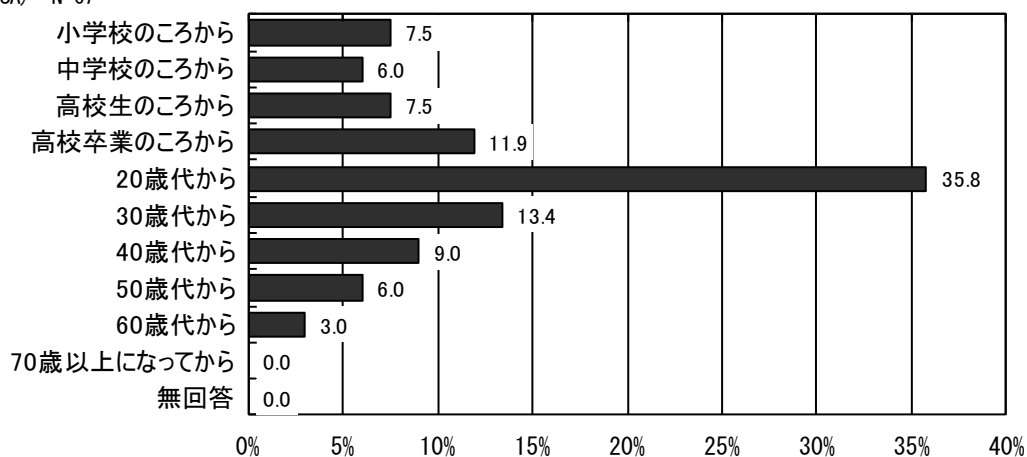
“20 歳代” では「ほとんど毎日食べる」人が 71.7%と全年代で最も低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	ほとんど毎日食べる	1週間に4～5日食べる	1週間に2～3日食べる	ほとんど食べない
全体	701 100.0	627 89.4	12 1.7	16 2.3	39 5.6
20歳代	53 100.0	38 71.7	4 7.5	5 9.4	6 11.3
30歳代	93 100.0	85 91.4	1 1.1	-	6 6.5
40歳代	96 100.0	78 81.3	3 3.1	2 2.1	13 13.5
50歳代	137 100.0	117 85.4	4 2.9	8 5.8	7 5.1
60歳代	171 100.0	165 96.5	-	1 0.6	5 2.9
70歳以上	138 100.0	136 98.6	-	-	2 1.4

問10-1 いづごろから毎日朝食を食べなくなりましたか。(SA)

「20歳代から」が35.8%で突出しています。「30歳代から」が13.4%、「高校卒業のころから」が11.9%が続いています。

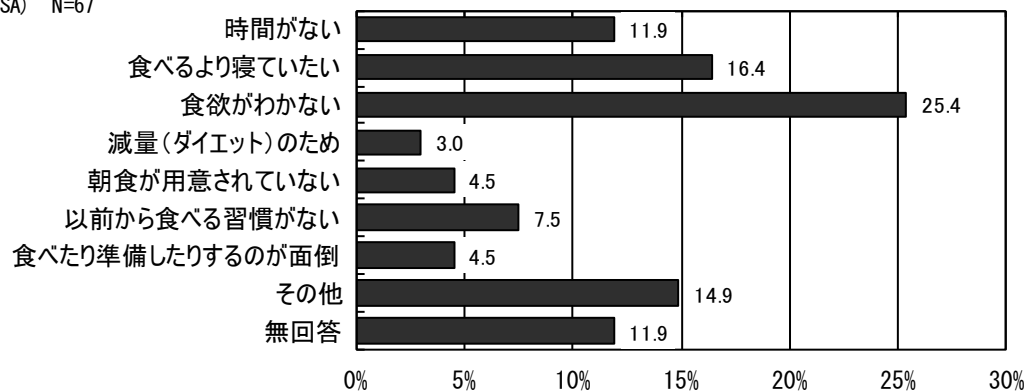
(SA) N=67



問10-2 朝食を食べない主な理由は何ですか。(SA)

「食欲がわかない」が25.4%で最も高くなっています。次いで「食べるより寝ていたい」が16.4%、「その他」が14.9%が続いています。

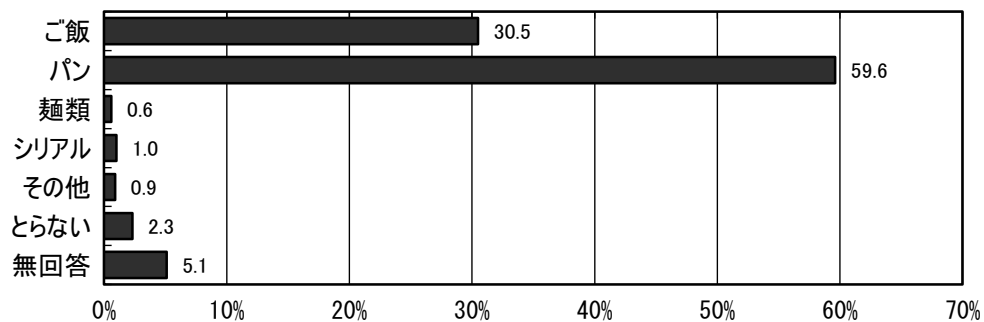
(SA) N=67



問11① 朝食の主食は主にどんなものを食べますか。(SA)

「パン」が59.6%で突出しています。「ご飯」が30.5%が続いています。

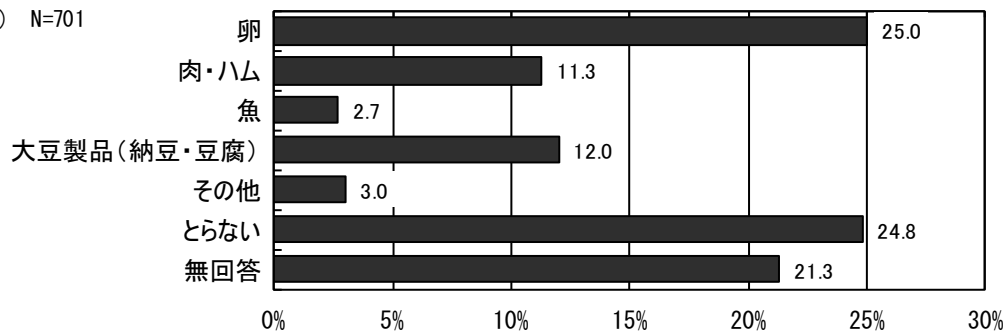
(SA) N=701



問11② 朝食の主菜は主にどんなものを食べますか。(SA)

「卵」が25.0%、「とらない」が24.8%で群を抜いて高くなっています。

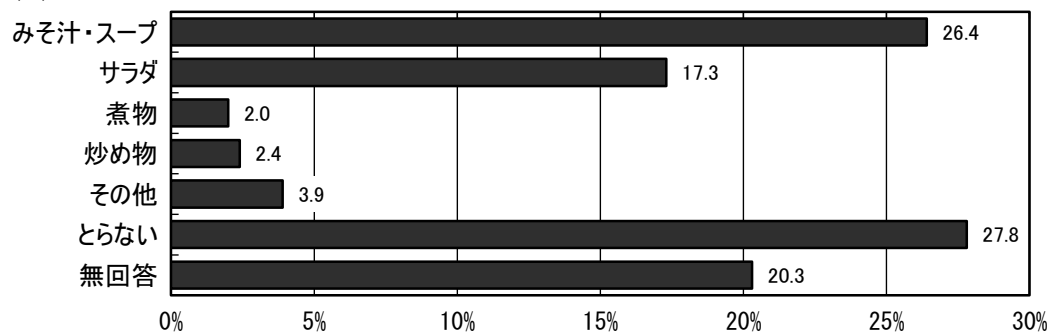
(SA) N=701



問11③ 朝食の副菜は主にどんなものを食べますか。(SA)

「とらない」が27.8%で最も高くなっています。次いで「みそ汁・スープ」が26.4%で続いています。

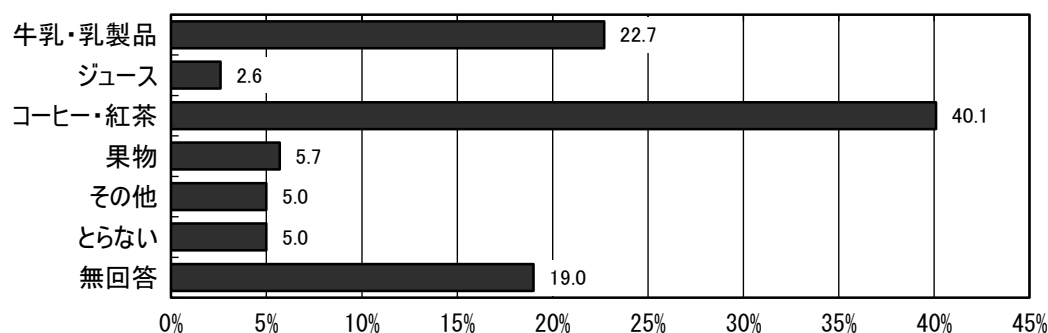
(SA) N=701



問11③ 朝食のその他は主にどんなものを食べますか。(SA)

「コーヒー・紅茶」が40.1%で突出しています。「牛乳・乳製品」が22.7%が続いています。

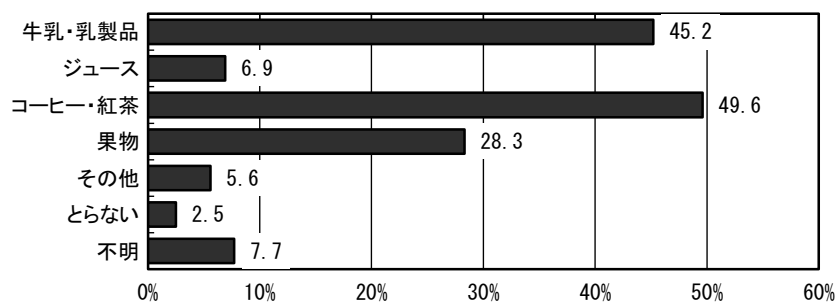
(SA) N=701



《参考》 前回調査結果 (平成25年実施分)

前回調査に比べて「牛乳・乳製品」や「果物」をとる割合が低くなっています。

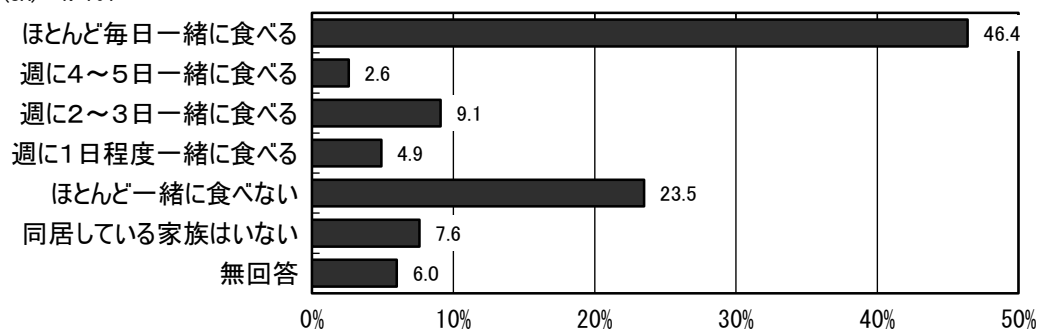
(MA) N=728



問12 あなたは朝食を家族と一緒に食べることがどのくらいありますか。(SA)

「ほとんど毎日一緒に食べる」が46.4%で突出しています。「ほとんど一緒に食べない」が23.5%が続いています。

(SA) N=701



【問12 家族との朝食】 × 【問2 年代】

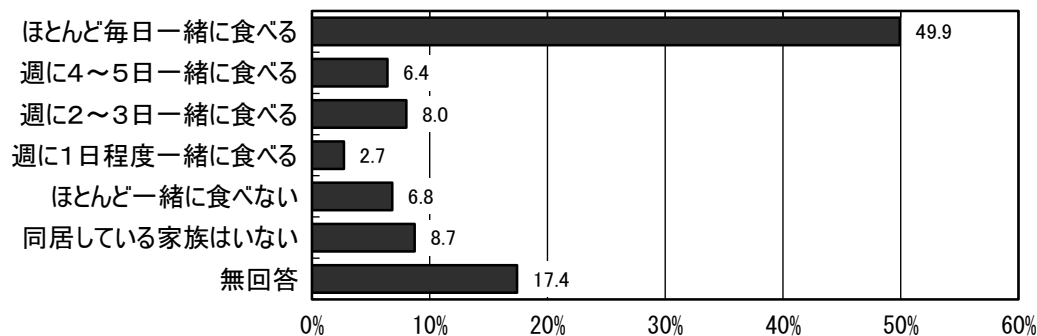
“20歳代”、“40歳代”、“50歳代”では「ほとんど毎日一緒に食べる」が低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	ほとんど毎日一緒に食べる	週に4~5日一緒に食べる	週に2~3日一緒に食べる	週に1日程度一緒に食べる	ほとんど一緒に食べない	同居している家族はいない
全体	701 100.0	325 46.4	18 2.6	64 9.1	34 4.9	165 23.5	53 7.6
20歳代	53 100.0	15 28.3	2 3.8	4 7.5	3 5.7	22 41.5	5 9.4
30歳代	93 100.0	47 50.5	4 4.3	9 9.7	6 6.5	21 22.6	2 2.2
40歳代	96 100.0	31 32.3	5 5.2	15 15.6	7 7.3	29 30.2	5 5.2
50歳代	137 100.0	47 34.3	3 2.2	15 10.9	9 6.6	47 34.3	7 5.1
60歳代	171 100.0	93 54.4	3 1.8	12 7.0	7 4.1	34 19.9	14 8.2
70歳以上	138 100.0	85 61.6	1 0.7	6 4.3	2 1.4	11 8.0	19 13.8

問12 あなたは夕食を家族と一緒に食べることがどのくらいありますか。(SA)

「ほとんど毎日一緒に食べる」が49.9%で突出しています。

(SA) N=701



【問12 家族との夕食】 × 【問2 年代】

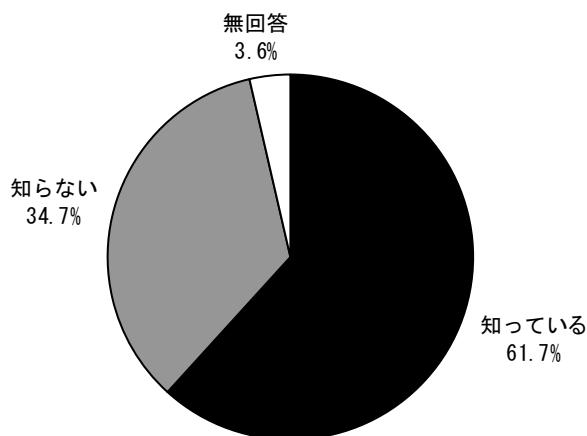
“20歳代”、“50歳代”では「ほとんど毎日一緒に食べる」が低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	ほとんど毎日一緒に食べる	週に4～5日一緒に食べる	週に2～3日一緒に食べる	週に1日程度一緒に食べる	ほとんど一緒に食べない	同居している家族はいない
全体	701 100.0	350 49.9	45 6.4	56 8.0	19 2.7	48 6.8	61 8.7
20歳代	53 100.0	22 41.5	5 9.4	7 13.2	1 1.9	4 7.5	5 9.4
30歳代	93 100.0	48 51.6	9 9.7	13 14.0	3 3.2	5 5.4	3 3.2
40歳代	96 100.0	49 51.0	7 7.3	7 7.3	5 5.2	7 7.3	7 7.3
50歳代	137 100.0	51 37.2	11 8.0	15 10.9	5 3.6	16 11.7	9 6.6
60歳代	171 100.0	96 56.1	10 5.8	8 4.7	2 1.2	8 4.7	15 8.8
70歳以上	138 100.0	77 55.8	2 1.4	5 3.6	3 2.2	7 5.1	20 14.5

問13 あなたは自分の食事の適切な量と内容を知っていますか。(SA)

「知っている」が61.7%を占めています。

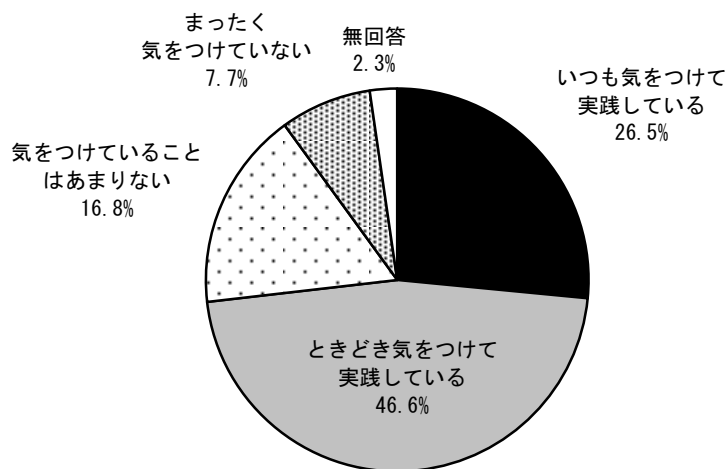
(SA) N=701



問14 生活習慣病の予防や改善のために、あなたは普段から適正体重の維持や減塩などに気をつけた食生活を実践していますか。(SA)

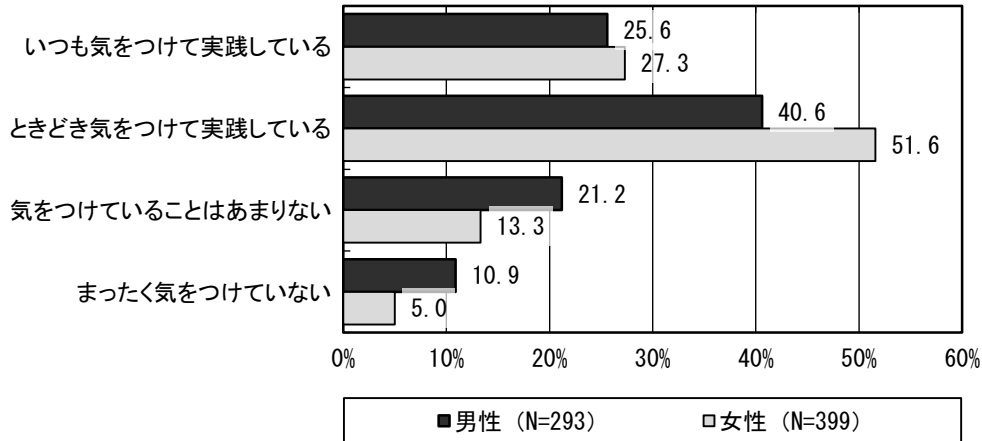
「ときどき気をつけて実践している」が46.6%で最も高く、次いで「いつも気をつけて実践している」が26.5%、「気をつけていることはあまりない」が16.8%が続いています。

(SA) N=701



【問14 気を付けた食生活】 × 【問1 性別】

“男性” に比べて “女性” の方が食生活に気を付けている傾向があります。



【問14 気を付けた食生活】 × 【問2 年代】

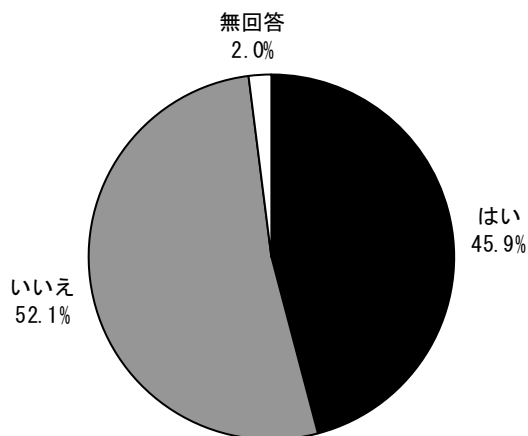
年代が高いほど食生活に気を付けている傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	実践している いつも 気を付けて いる	実践している ときどき 気を付けて いる	実践している あまり ない	実践している まったく 気をつけて いない
全体	701 100.0	186 26.5	327 46.6	118 16.8	54 7.7
20歳代	53 100.0	2 3.8	26 49.1	11 20.8	14 26.4
30歳代	93 100.0	20 21.5	48 51.6	15 16.1	9 9.7
40歳代	96 100.0	18 18.8	48 50.0	18 18.8	11 11.5
50歳代	137 100.0	30 21.9	71 51.8	27 19.7	8 5.8
60歳代	171 100.0	56 32.7	84 49.1	24 14.0	5 2.9
70歳以上	138 100.0	57 41.3	49 35.5	17 12.3	5 3.6

問15 あなたはゆっくりよく噛んで食事をするように心がけていますか。(SA)

「いいえ」が52.1%を占めています。

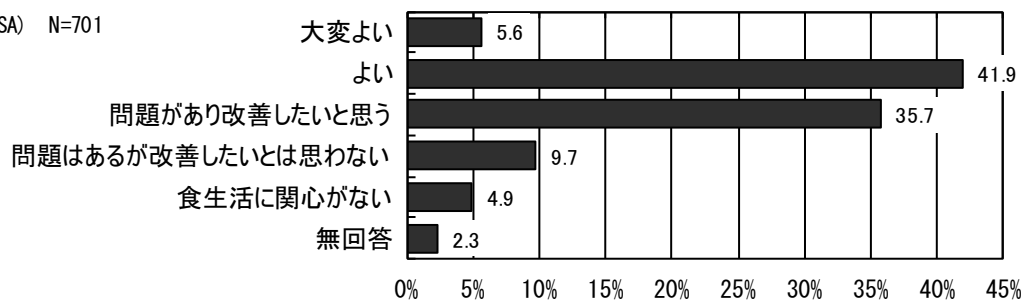
(SA) N=701



問16 あなたは自分の食生活をどう思いますか。(SA)

「よい」が41.9%で最も高くなっています。次いで「問題があり改善したいと思う」が35.7%で続いています。

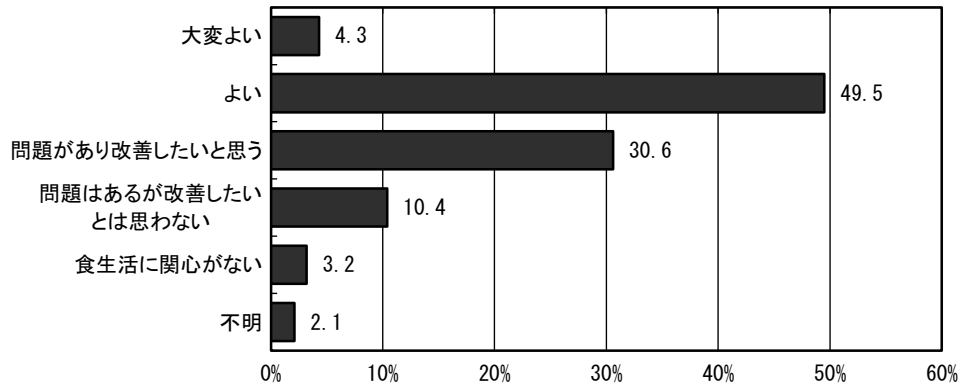
(SA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「よい」や「問題があり改善したいと思う」が高くなっています。

(SA) N=728



【問16 自分の食生活】 × 【問2 年代】

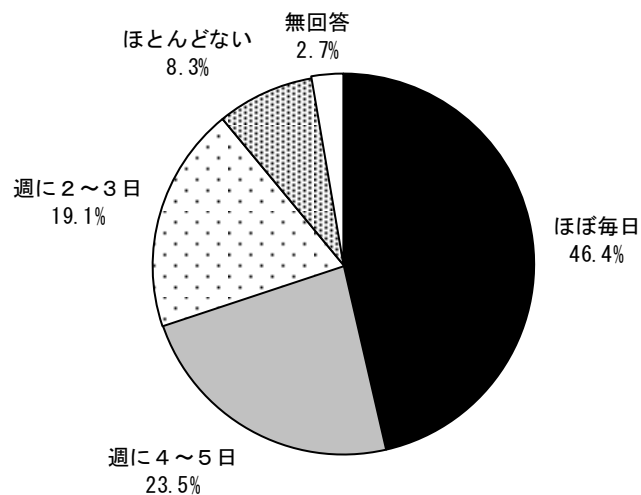
“20～50 歳代” の4割以上が食生活を改善したいと考えている。

上段:度数 下段:%	合計	大変よい	よい	問題があり改善したいと思う	問題はあるが改善したいとは思わない	食生活に関心がない
全体	701 100.0	39 5.6	294 41.9	250 35.7	68 9.7	34 4.9
20歳代	53 100.0	2 3.8	19 35.8	25 47.2	5 9.4	2 3.8
30歳代	93 100.0	4 4.3	33 35.5	40 43.0	8 8.6	6 6.5
40歳代	96 100.0	6 6.3	30 31.3	39 40.6	12 12.5	7 7.3
50歳代	137 100.0	4 2.9	47 34.3	62 45.3	17 12.4	6 4.4
60歳代	171 100.0	7 4.1	85 49.7	57 33.3	10 5.8	9 5.3
70歳以上	138 100.0	15 10.9	73 52.9	24 17.4	15 10.9	3 2.2

問17 1日に2回以上、主食、主菜、副菜を3つそろえて食べるのが週に何日ありますか。
(SA)

「ほぼ毎日」が46.4%で最も高く、次いで「週に4～5日」が23.5%、「週に2～3日」が19.1%が続いています。

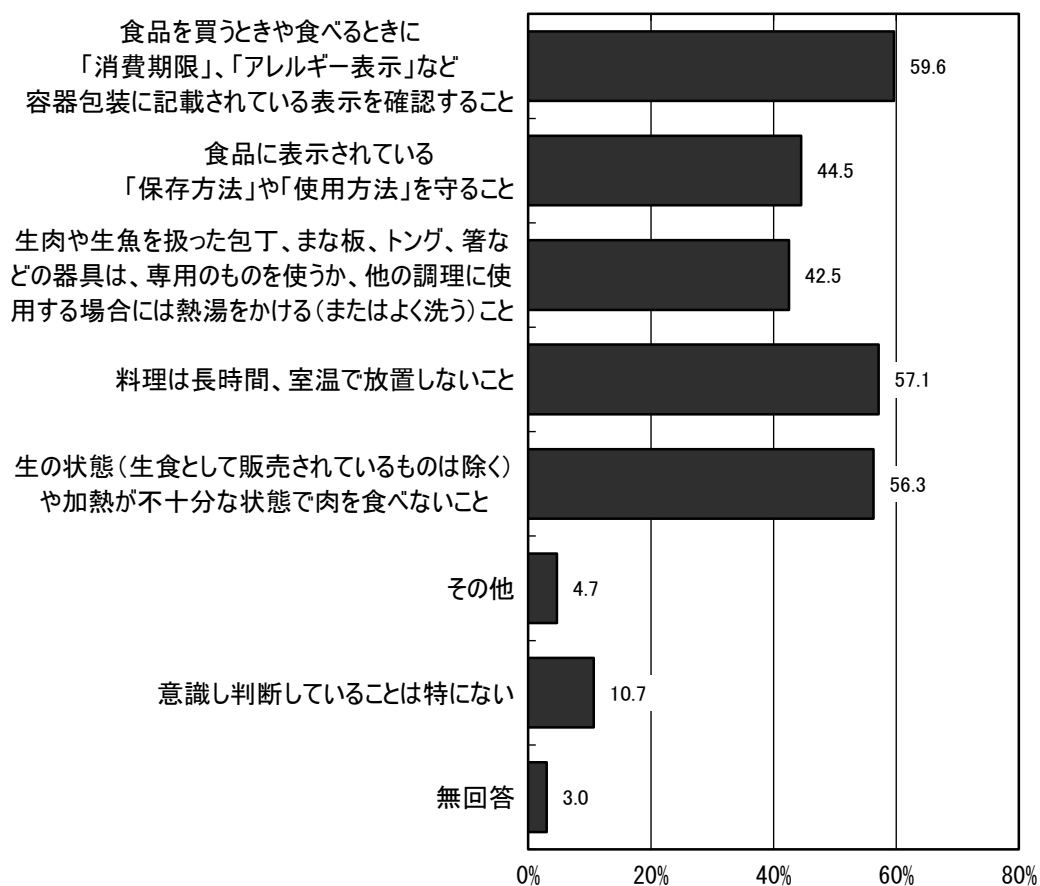
(SA) N=701



問18 あなたが、安全な食生活を送るためのポイントとして、意識し判断していることはなんですか。(MA)

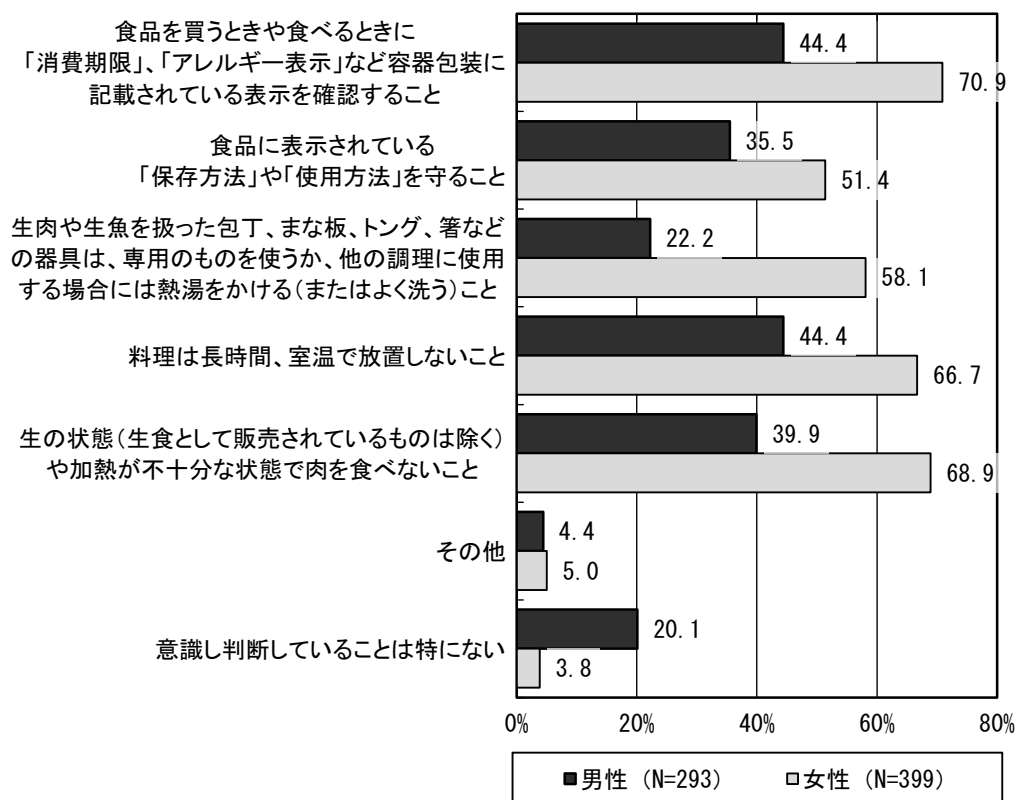
「食品を買うときや食べるときに「消費期限」、「アレルギー表示」など容器包装に記載されている表示を確認すること」が 59.6%で最も高くなっています。次いで「料理は長時間、室温で放置しないこと」が 57.1%、「生の状態（生食として販売されているものは除く）や加熱が不十分な状態で肉を食べないこと」が 56.3%で続いています。

(MA) N=701



【問18 安全な食生活】 × 【問1 性別】

“女性”はどの項目も半数以上の方が意識しています。“男性”は「生肉や生魚を扱った包丁、まな板、トング、箸などの器具は、専用のものを使うか、他の調理に使用する場合には熱湯をかける（またはよく洗う）こと」が特に低くなっています。



【問18 安全な食生活】 × 【問2 年代】

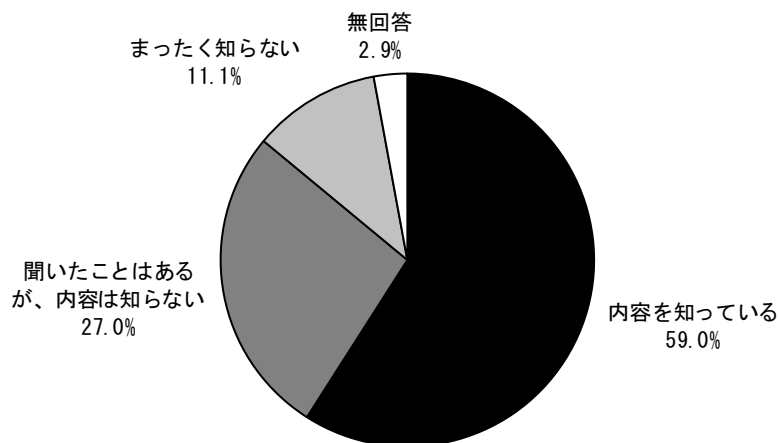
若い年代では「食品に表示されている「保存方法」や「使用方法」を守ること」や「生肉や生魚を扱った包丁、まな板、トンガ、箸などの器具は、専用のものを使うか、他の調理に使用する場合には熱湯をかける（またはよく洗う）こと」が特に低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	食品を買うときや食えるときに「消費期限」、「アレルギー表示」など容器包装に記載されている表示を確認すること	食品に表示されている「保存方法」や「使用方法」を守ること	生肉や生魚を扱った包丁、まな板、トンガ、箸などの器具は、専用のものを使うか、他の調理に使用する場合には熱湯をかける（またはよく洗う）こと	料理は長時間、室温で放置しないこと	生の状態（生食として販売されているものは除く）や加熱が不十分な状態で肉を食べないこと	その他	意識し判断していることは特にない
全体	701 100.0	418 59.6	312 44.5	298 42.5	400 57.1	395 56.3	33 4.7	75 10.7
20歳代	53 100.0	27 50.9	15 28.3	13 24.5	24 45.3	27 50.9	3 5.7	9 17.0
30歳代	93 100.0	58 62.4	36 38.7	31 33.3	46 49.5	47 50.5	7 7.5	9 9.7
40歳代	96 100.0	52 54.2	35 36.5	44 45.8	56 58.3	52 54.2	3 3.1	10 10.4
50歳代	137 100.0	85 62.0	64 46.7	67 48.9	92 67.2	87 63.5	6 4.4	15 10.9
60歳代	171 100.0	107 62.6	92 53.8	81 47.4	105 61.4	106 62.0	7 4.1	13 7.6
70歳以上	138 100.0	82 59.4	67 48.6	60 43.5	69 50.0	70 50.7	5 3.6	18 13.0

問19 あなたは食品ロスという問題を知っていますか。(SA)

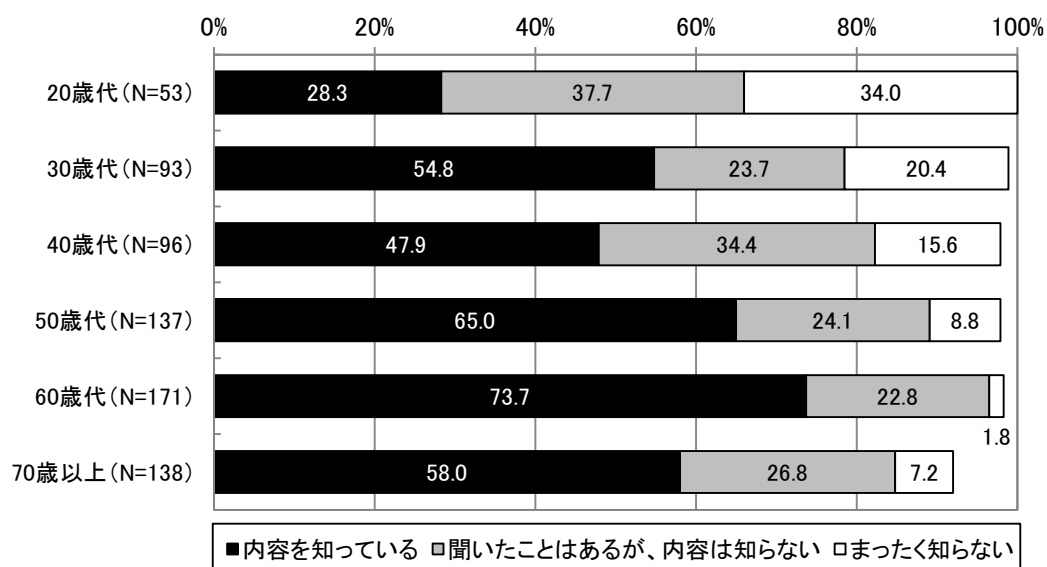
「内容を知っている」が 59.0%を占めています。

(SA) N=701



【問19 食品ロス】 × 【問2 年代】

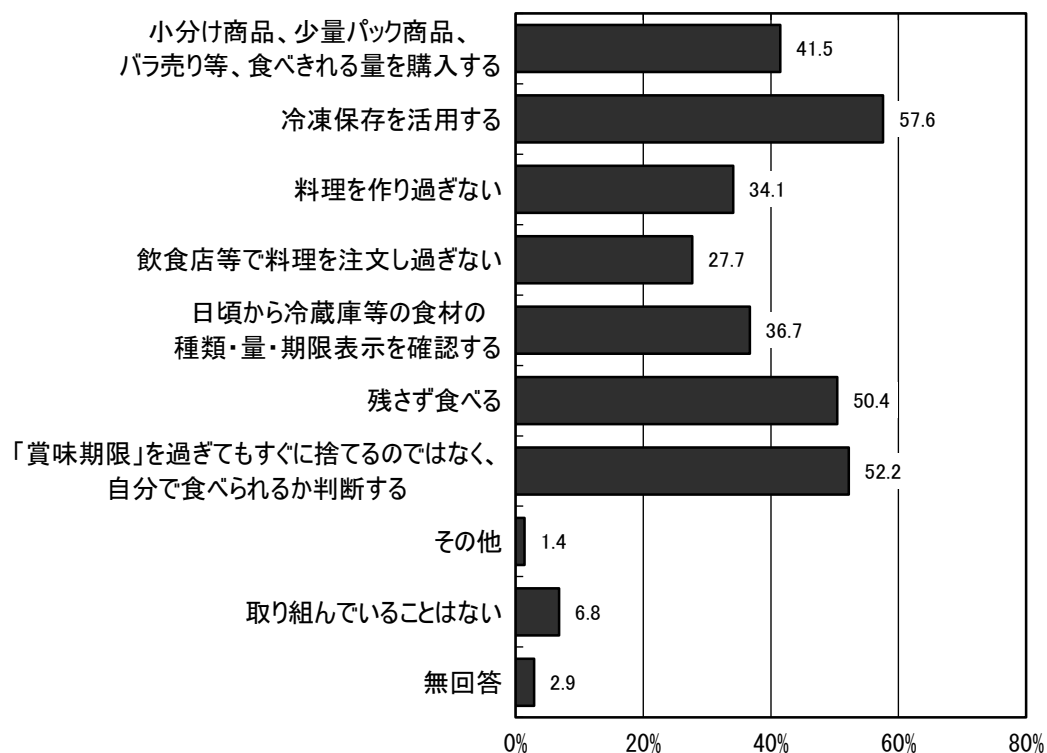
若い年代、特に“20歳代”では認知が低くなっています。“60歳代”での認知が最も高くなっています。



問20 「食品ロス」を軽減するために取り組んでいることはありますか。(MA)

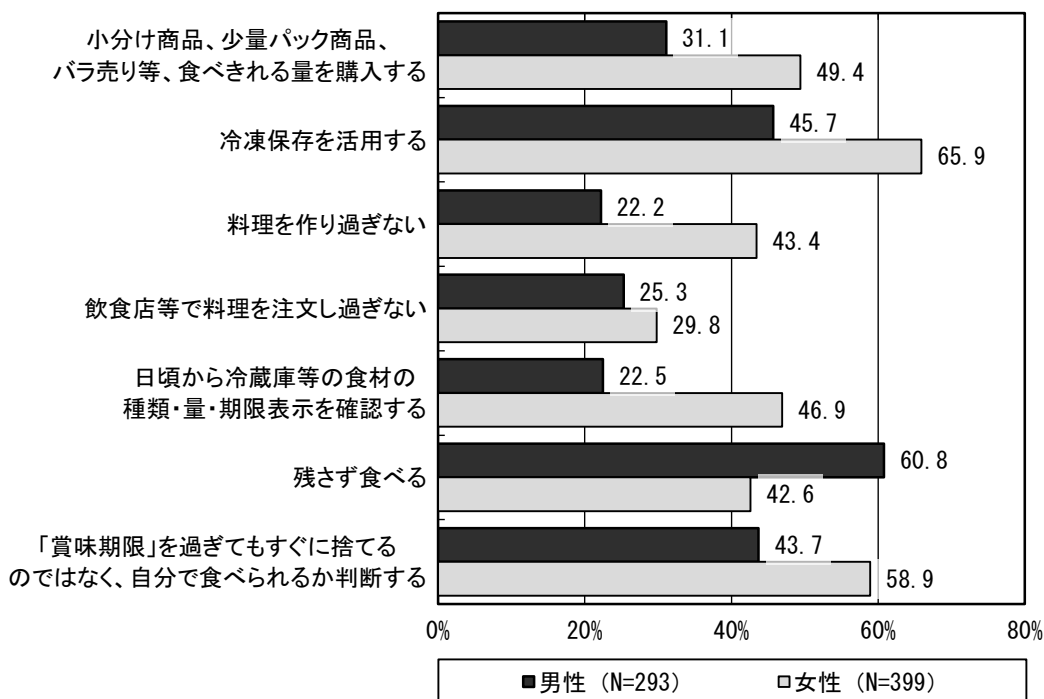
「冷凍保存を活用する」が57.6%で最も高くなっています。次いで「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」が52.2%、「残さず食べる」が50.4%で続いています。

(MA) N=701



【問20 食品ロスの取組】 × 【問1 性別】（一部抜粋）

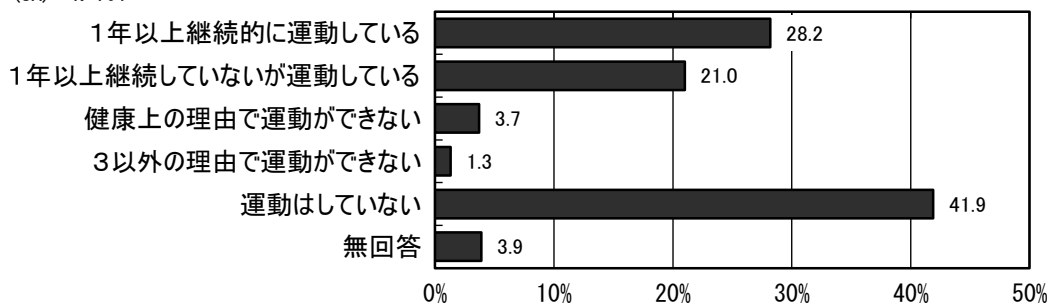
“男性”に比べて“女性”は様々な食品ロス軽減の取組を積極的に行っています。



問21 日常生活の中で、健康の維持・増進のための運動をしていますか。(SA)

「運動はしていない」が41.9%で最も高くなっています。次いで「1年以上継続的に運動している」が28.2%、「1年以上継続していないが運動している」が21.0%が続いています。

(SA) N=701



【問21 日常の運動】 × 【問2 年代】

年代が高くなるほど、「1年以上継続的に運動している」が高くなっています。
 “20歳代”で「運動はしていない」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	1年以上継続的に 運動している	1年以上継続して いないが運動している	健康上の理由で 運動ができない	3以外の理由で 運動ができない	運動はしていない
全体	701 100.0	198 28.2	147 21.0	26 3.7	9 1.3	294 41.9
20歳代	53 100.0	4 7.5	17 32.1	-	1 1.9	30 56.6
30歳代	93 100.0	17 18.3	24 25.8	1 1.1	2 2.2	46 49.5
40歳代	96 100.0	19 19.8	19 19.8	1 1.0	2 2.1	54 56.3
50歳代	137 100.0	45 32.8	20 14.6	2 1.5	2 1.5	67 48.9
60歳代	171 100.0	58 33.9	34 19.9	10 5.8	-	60 35.1
70歳以上	138 100.0	54 39.1	28 20.3	12 8.7	2 1.4	32 23.2

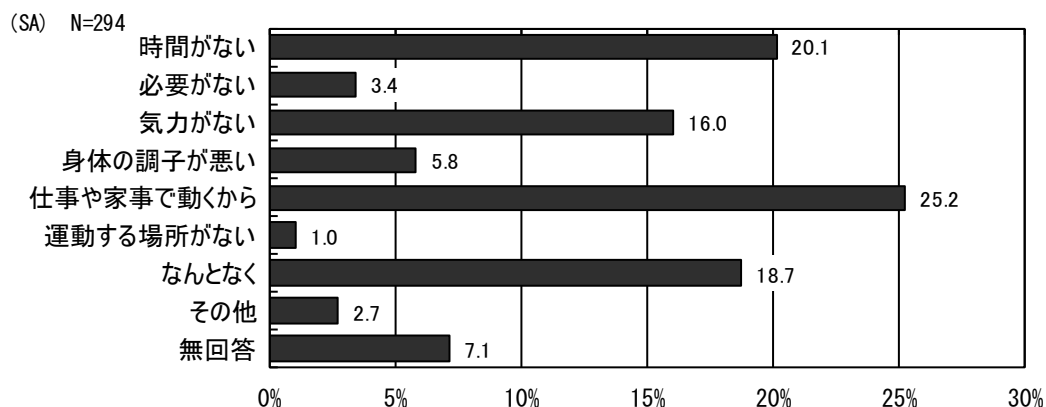
【問21 日常の運動】 × 【問3 地域】

“玖波地域”では比較的運動をしている人が多くなっており、“栗谷地域”は運動をしていない人が多くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	1年以上継続的に 運動している	1年以上継続して いないが運動している	健康上の理由で 運動ができない	3以外の理由で 運動ができない	運動はしていない
全体	701 100.0	198 28.2	147 21.0	26 3.7	9 1.3	294 41.9
大竹地域	398 100.0	114 28.6	84 21.1	16 4.0	6 1.5	163 41.0
小方地域	159 100.0	39 24.5	35 22.0	5 3.1	1 0.6	72 45.3
玖波地域 (松ヶ原町を含む)	115 100.0	42 36.5	22 19.1	5 4.3	2 1.7	43 37.4
栗谷地域	19 100.0	2 10.5	3 15.8	-	-	11 57.9
無回答	10 100.0	1 10.0	3 30.0	-	-	5 50.0

問21-1 運動をしていない理由はなんですか。(SA)

「仕事や家事で動くから」が25.2%で最も高くなっています。次いで「時間がない」が20.1%、「なんとなく」が18.7%が続いています。



【問21-1 運動をしていない理由】 × 【問2 年代】 (一部抜粋)

“20～40 歳代” では「時間がない」や「気力がない」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	時間がない	気力がない	仕事や家事で 動くから	なんとなく
全体	294 100.0	59 20.1	47 16.0	74 25.2	55 18.7
20歳代	30 100.0	10 33.3	8 26.7	-	5 16.7
30歳代	46 100.0	12 26.1	8 17.4	8 17.4	9 19.6
40歳代	54 100.0	17 31.5	11 20.4	12 22.2	7 13.0
50歳代	67 100.0	7 10.4	10 14.9	22 32.8	12 17.9
60歳代	60 100.0	10 16.7	4 6.7	20 33.3	13 21.7
70歳以上	32 100.0	2 6.3	6 18.8	10 31.3	8 25.0

【問21-1 運動をしていない理由】 × 【問3 年代】（一部抜粋）

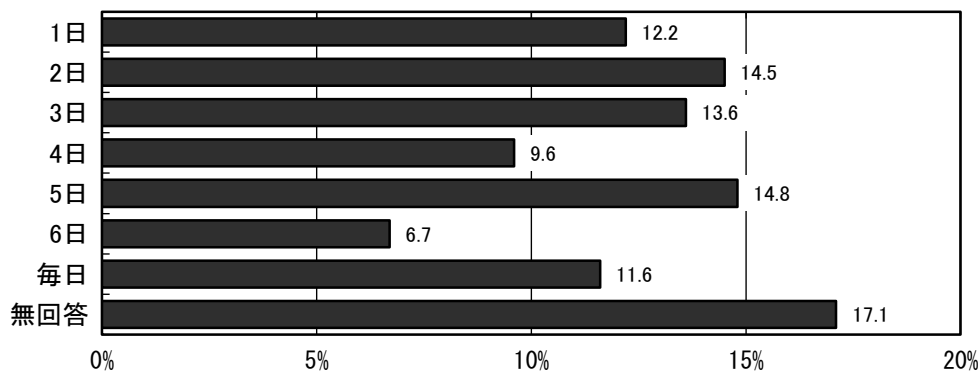
“小方地域”や“玖波地域”では「仕事や家事で働くから」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	時間がない	気力がない	悪い 身体の調子が	動くから 仕事や家事で	なんとなく
全体	294 100.0	59 20.1	47 16.0	17 5.8	74 25.2	55 18.7
大竹地域	163 100.0	34 20.9	29 17.8	12 7.4	35 21.5	34 20.9
小方地域	72 100.0	14 19.4	11 15.3	1 1.4	21 29.2	11 15.3
玖波地域 (松ヶ原町を含む)	43 100.0	10 23.3	4 9.3	2 4.7	14 32.6	7 16.3
栗谷地域	11 100.0	1 9.1	2 18.2	2 18.2	2 18.2	3 27.3

問21-2 1週間の運動日数を教えてください。(数量)

「5日」が14.8%で最も高くなっています。次いで「2日」が14.5%、「3日」が13.6%で続いています。

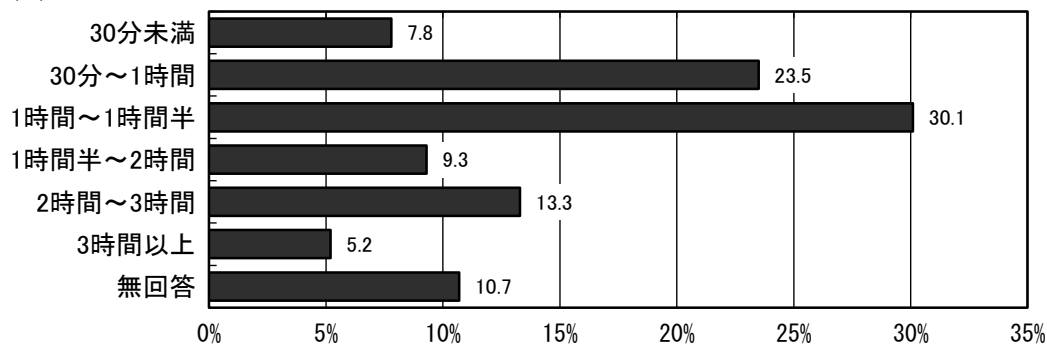
(数量) N=345



問21-2 1週間の運動を行う日の平均運動時間を教えてください。(数量⇒SA変換)

「1時間～1時間半」が30.1%で最も高くなっています。次いで「30分～1時間」が23.5%で続いています。

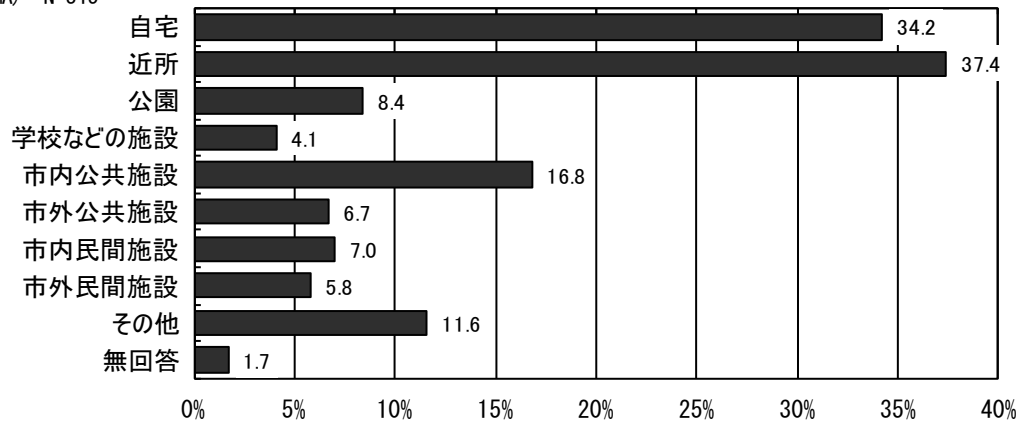
(SA) N=345



問21-3 どこで運動していますか。(MA)

「近所」が37.4%、「自宅」が34.2%で群を抜いて高くなっています。「市内公共施設」が16.8%で続いています。

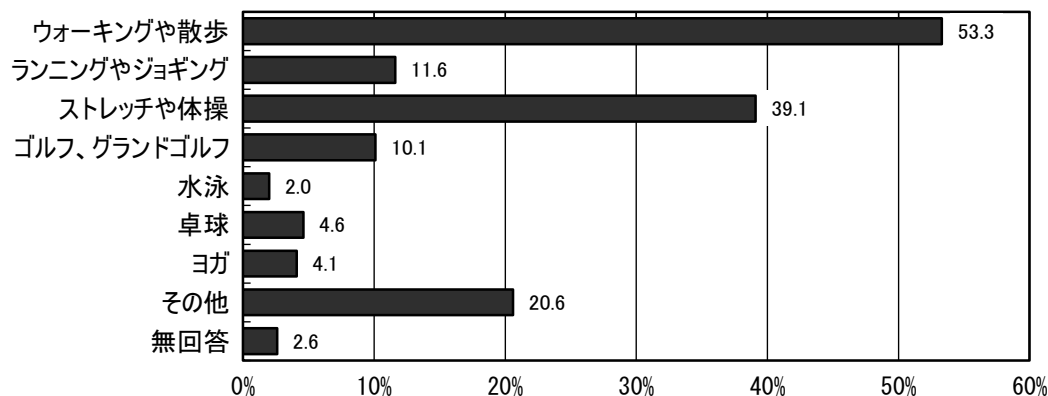
(MA) N=345



問21-4 どんな運動をしていますか。(MA)

「ウォーキングや散歩」が 53.3%で最も高くなっています。次いで「ストレッチや体操」が 39.1%、「その他」が 20.6%で続いています。

(MA) N=345



【問21-4 運動の種類】 × 【問2 年代】 (一部抜粋)

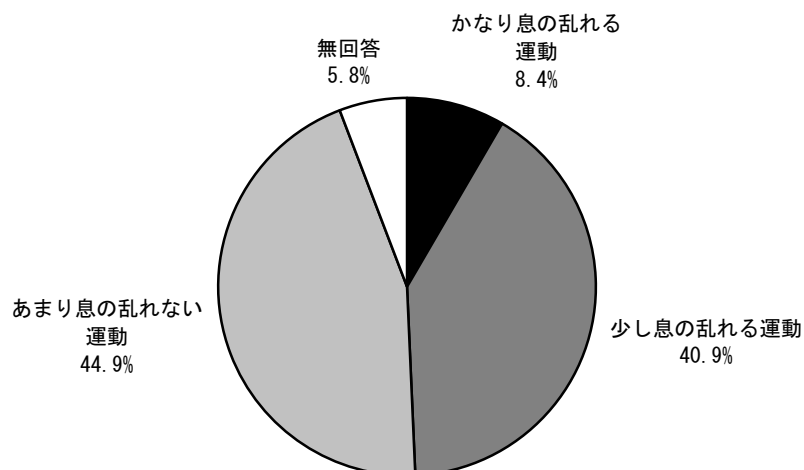
若い年代では「ランニングやジョギング」、「その他」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	ウォーキングや散歩	ランニングやジョギング	ストレッチや体操	ゴルフ、グランドゴルフ	その他
全体	345 100.0	184 53.3	40 11.6	135 39.1	35 10.1	71 20.6
20歳代	21 100.0	6 28.6	8 38.1	5 23.8	1 4.8	8 38.1
30歳代	41 100.0	14 34.1	10 24.4	10 24.4	2 4.9	14 34.1
40歳代	38 100.0	22 57.9	9 23.7	18 47.4	2 5.3	7 18.4
50歳代	65 100.0	34 52.3	5 7.7	28 43.1	3 4.6	12 18.5
60歳代	92 100.0	61 66.3	6 6.5	38 41.3	11 12.0	15 16.3
70歳以上	82 100.0	44 53.7	2 2.4	34 41.5	14 17.1	12 14.6

問21-5 それほどの程度の運動ですか。(SA)

「あまり息の乱れない運動」が 44.9%で最も高く、次いで「少し息の乱れる運動」が 40.9%となっています。

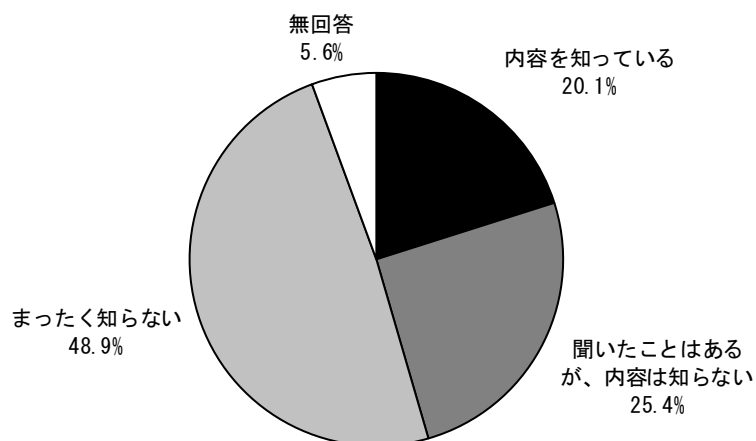
(SA) N=345



問22 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）について知っていますか。(SA)

「まったく知らない」が 48.9%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 25.4%となっています。

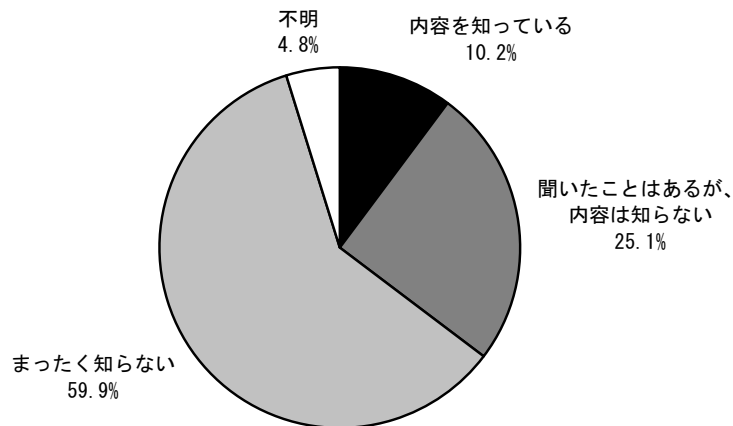
(SA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「内容を知っている」が増えています。

(SA) N=728



【問22 ロコモティブシンドローム】 × 【問2 年代】

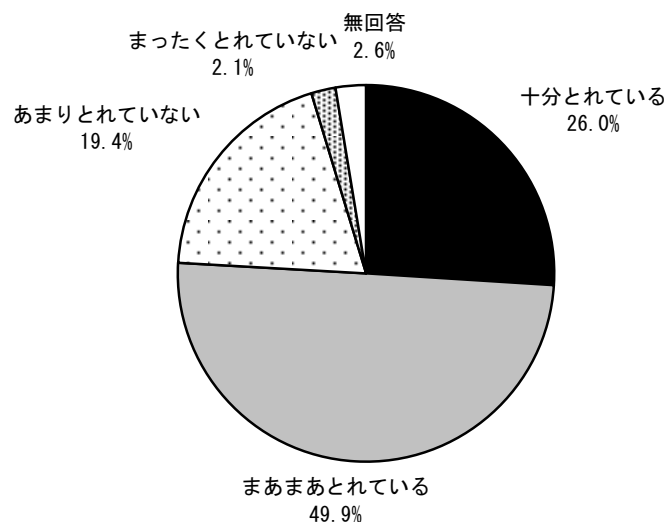
若い年代では「まったく知らない」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	まったく知らない
全体	701 100.0	141 20.1	178 25.4	343 48.9
20歳代	53 100.0	5 9.4	8 15.1	38 71.7
30歳代	93 100.0	19 20.4	13 14.0	55 59.1
40歳代	96 100.0	10 10.4	19 19.8	66 68.8
50歳代	137 100.0	37 27.0	41 29.9	54 39.4
60歳代	171 100.0	41 24.0	48 28.1	68 39.8
70歳以上	138 100.0	29 21.0	47 34.1	53 38.4

問23 過去1か月間、あなたは睡眠で休養が十分とれていますか。(SA)

「まあまあとれている」が49.9%で最も高く、次いで「十分とれている」が26.0%、「あまりとれていない」が19.4%が続いています。

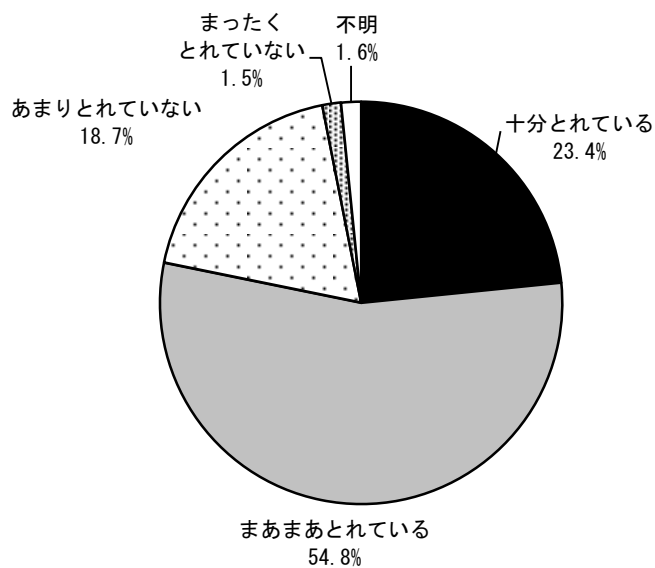
(SA) N=701



≪参考≫ 前回調査結果(平成25年実施分)

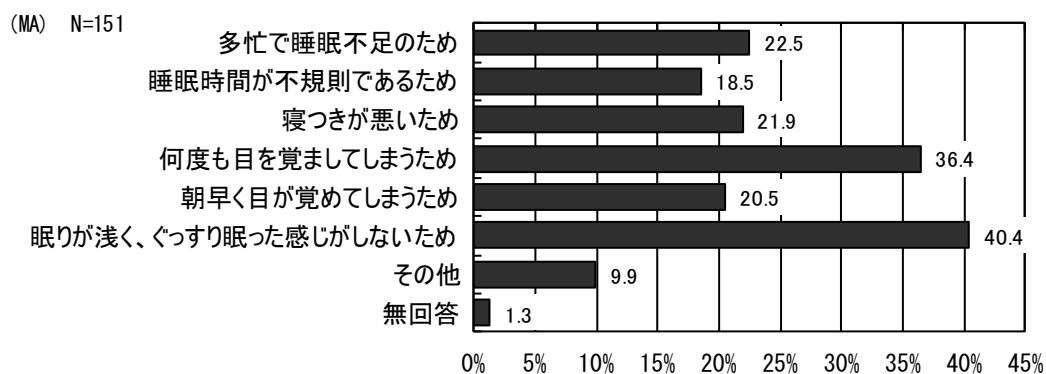
睡眠による休養については前回調査とあまり変化がありません。

(SA) N=728



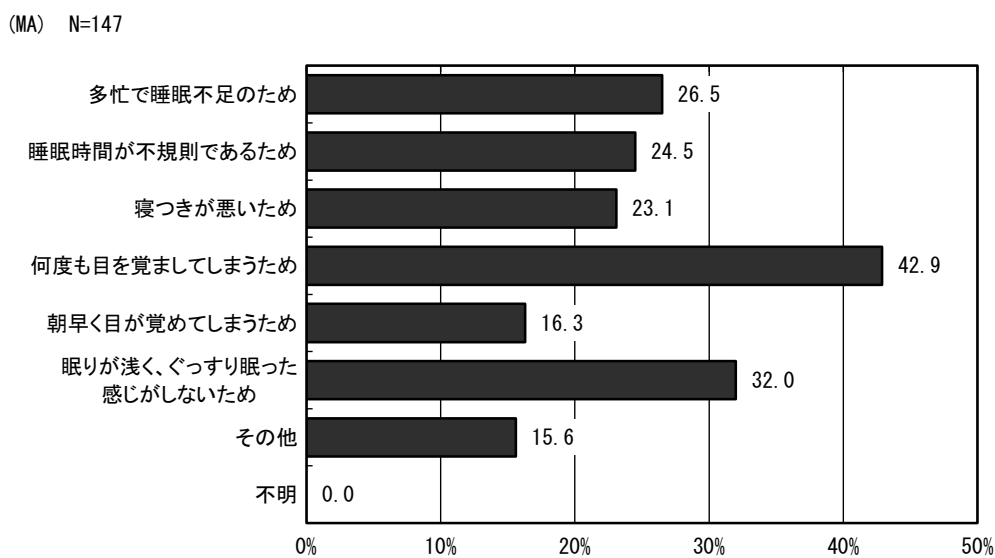
問23-1 睡眠で休養がとれていないのはなぜですか。(MA)

「眠りが浅く、ぐっすり眠った感じがしないため」が 40.4%で最も高くなっています。次いで「何度も目を覚ましてしまうため」が 36.4%、「多忙で睡眠不足のため」が 22.5%で続いています。



「参考」 前回調査結果 (平成25年実施分)

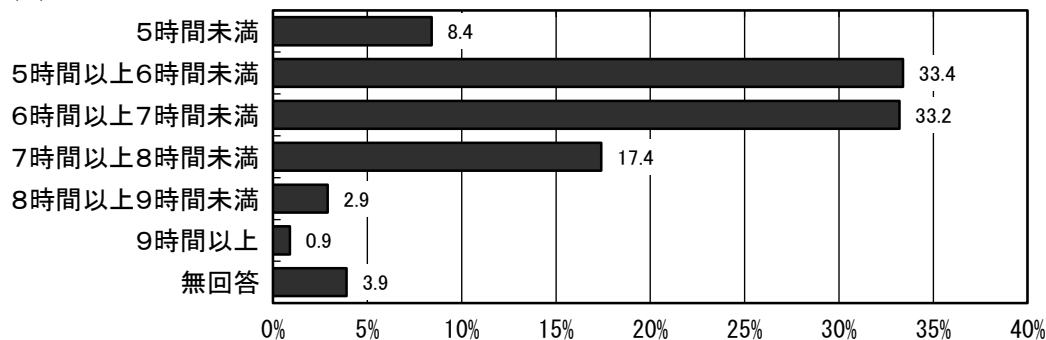
前回調査に比べて「何度も目を覚ましてしまうため」が増加しており、「眠りが浅く、ぐっすり眠った感じがしないため」が減少しています。



問24 この1か月間、1日の平均睡眠時間はどれくらいですか。(SA)

「5時間以上6時間未満」が33.4%、「6時間以上7時間未満」が33.2%で群を抜いて高くなっています。

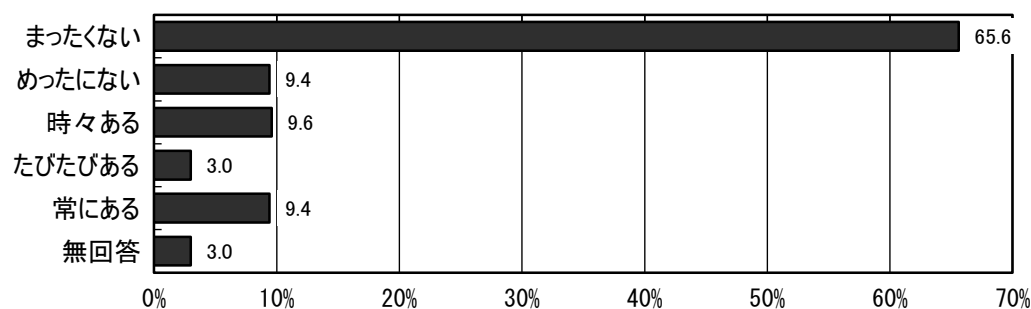
(SA) N=701



問25 睡眠を助けるために、睡眠剤や安定剤などの薬、あるいはアルコール飲料を使うことがありますか。(SA)

「まったくない」が65.6%で突出しています。「時々ある」が9.6%、「めったにない」が9.4%が続いています。

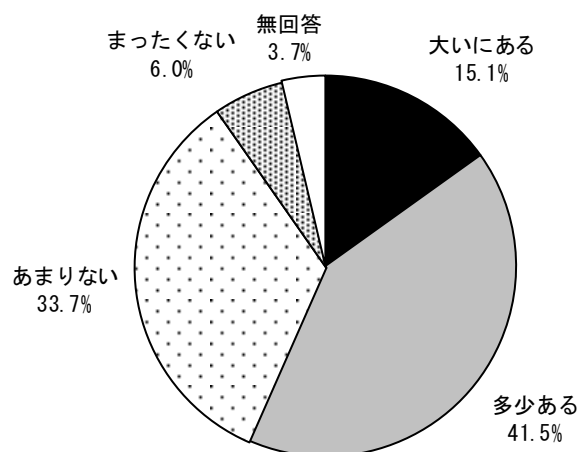
(SA) N=701



問26 あなたはここ1か月間に不満、悩み、苦労などによるストレスがありましたか。(SA)

「多少ある」が41.5%で最も高く、次いで「あまりない」が33.7%、「大いにある」が15.1%が続いています。

(SA) N=701



【問26 ストレス】 × 【問2 年代】

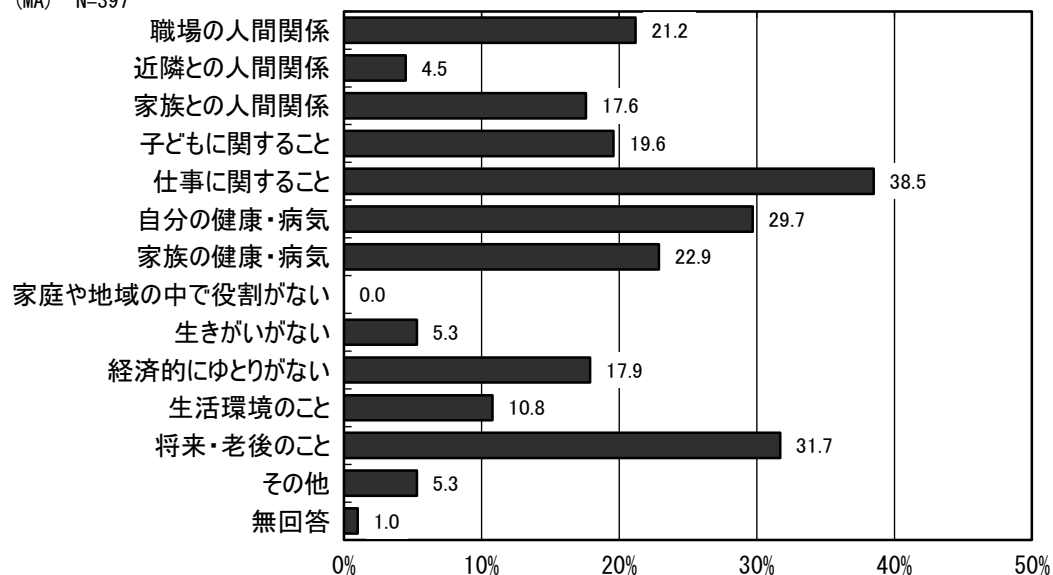
若い年代の方がストレスを感じている割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	大いにある	多少ある	あまりない	まったくない
全体	701 100.0	106 15.1	291 41.5	236 33.7	42 6.0
20歳代	53 100.0	10 18.9	27 50.9	13 24.5	2 3.8
30歳代	93 100.0	25 26.9	35 37.6	25 26.9	5 5.4
40歳代	96 100.0	17 17.7	47 49.0	25 26.0	6 6.3
50歳代	137 100.0	21 15.3	63 46.0	44 32.1	6 4.4
60歳代	171 100.0	18 10.5	63 36.8	68 39.8	13 7.6
70歳以上	138 100.0	13 9.4	51 37.0	57 41.3	10 7.2

問26-1 あなたがストレスを感じていることは、どのような内容ですか。(MA)

「仕事に関すること」が 38.5%で最も高くなっています。次いで「将来・老後のこと」が 31.7%、「自分の健康・病気」が 29.7%で続いています。

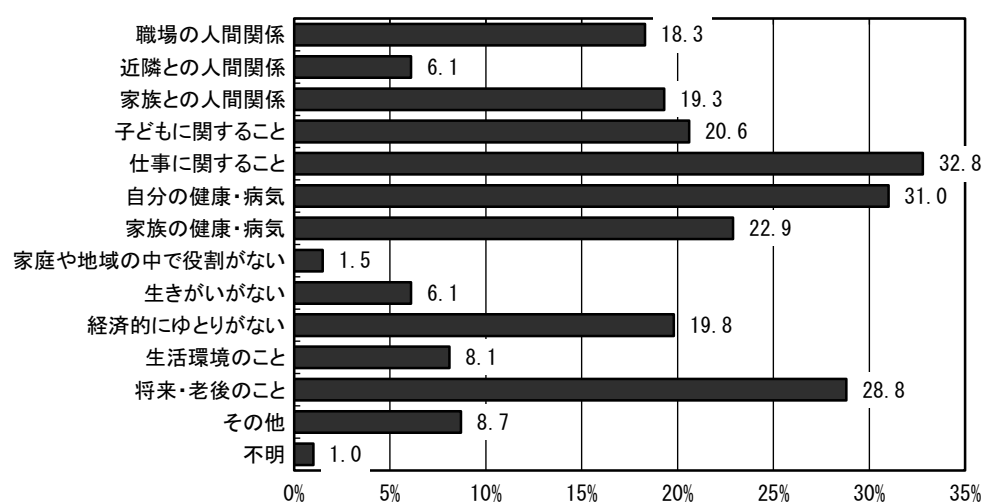
(MA) N=397



＜参考＞ 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「仕事に関すること」や「将来・老後のこと」が増加しています。

(MA) N=393



【問26 ストレスの内容】 × 【問2 年代】（一部抜粋）

若い年代では職場や仕事に関することが高くなっています。

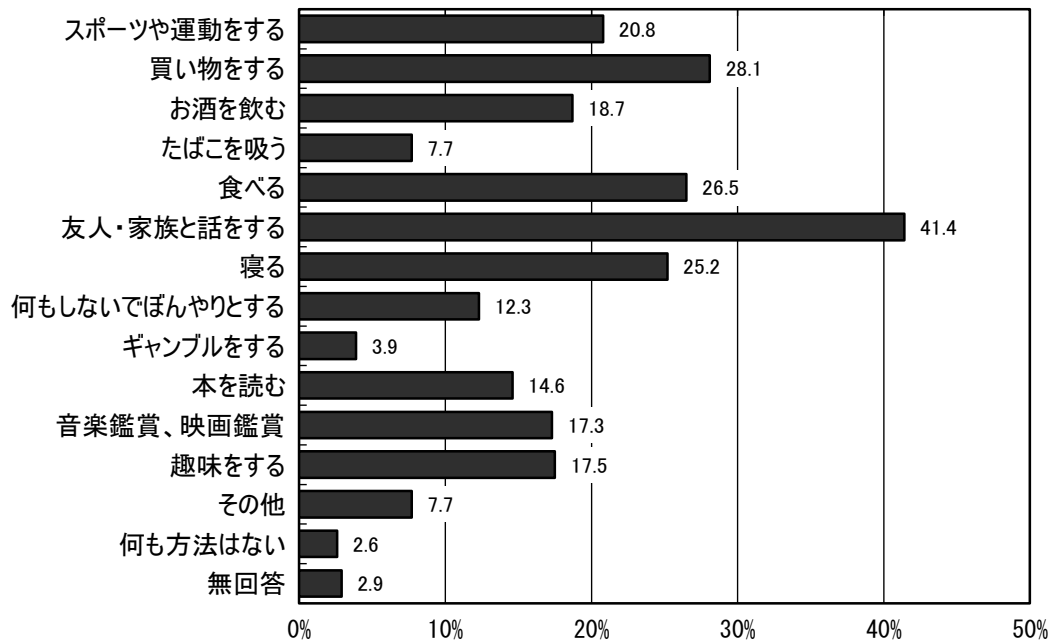
高い年代では健康・病気に関することでストレスを感じています。

上段:度数 下段:%	合計	職場の 人間関係	家族との 人間関係	子どもに 関すること	仕事に 関すること	自分の 健康・病気	家族の 健康・病気	経済的に ゆとりがない	生活環境 のこと	将来・老後 のこと
全体	397 100.0	84 21.2	70 17.6	78 19.6	153 38.5	118 29.7	91 22.9	71 17.9	43 10.8	126 31.7
20歳代	37 100.0	12 32.4	7 18.9	7 18.9	18 48.6	6 16.2	-	3 8.1	9 24.3	11 29.7
30歳代	60 100.0	11 18.3	10 16.7	17 28.3	31 51.7	11 18.3	4 6.7	12 20.0	7 11.7	14 23.3
40歳代	64 100.0	21 32.8	7 10.9	14 21.9	37 57.8	10 15.6	10 15.6	12 18.8	4 6.3	15 23.4
50歳代	84 100.0	24 28.6	20 23.8	16 19.0	36 42.9	20 23.8	19 22.6	21 25.0	8 9.5	27 32.1
60歳代	81 100.0	12 14.8	15 18.5	16 19.8	25 30.9	36 44.4	30 37.0	19 23.5	8 9.9	33 40.7
70歳以上	64 100.0	3 4.7	11 17.2	7 10.9	3 4.7	34 53.1	25 39.1	3 4.7	7 10.9	24 37.5

問27 あなたのストレスの解消方法はなんですか。（MA）

「友人・家族と話をする」が 41.4%で最も高くなっています。次いで「買い物をする」が 28.1%、「食べる」が 26.5%で続いています。

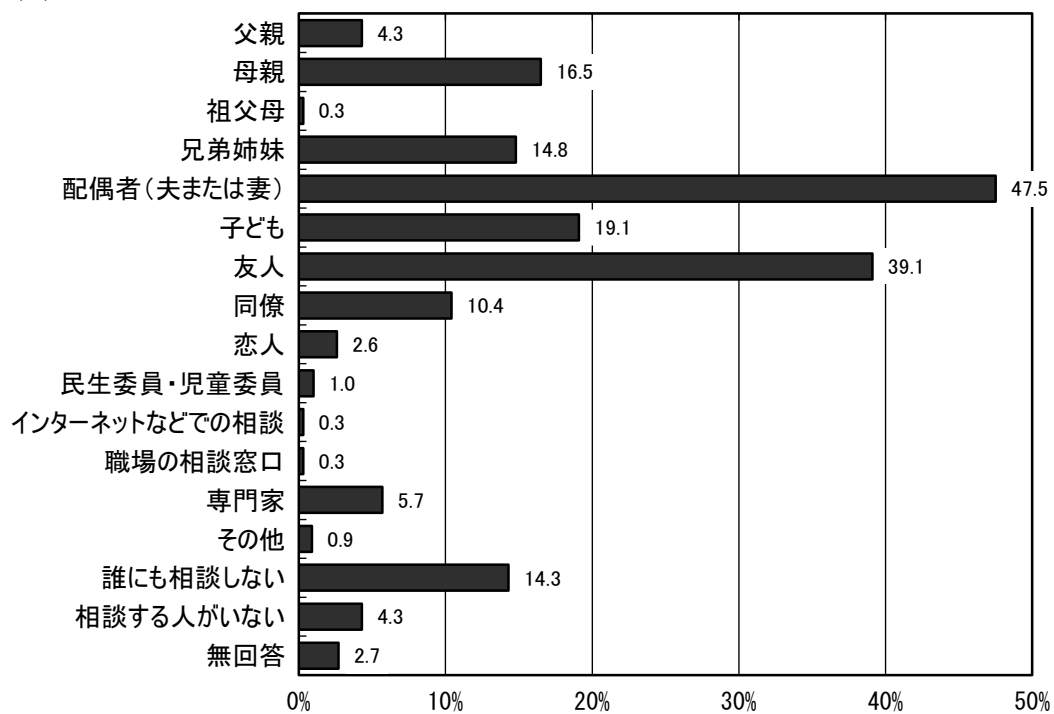
(MA) N=701



問28 あなたは、悩みを誰に相談しますか。(MA)

「配偶者(夫または妻)」が47.5%で最も高くなっています。次いで「友人」が39.1%で続いています。

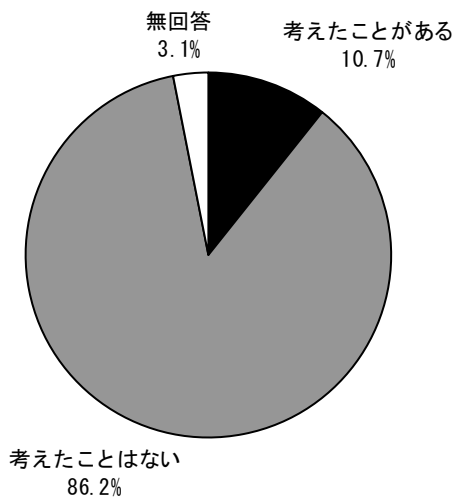
(MA) N=701



問29 あなたは、過去1年以内で、死んでしまいたいと考えたことがありますか。(SA)

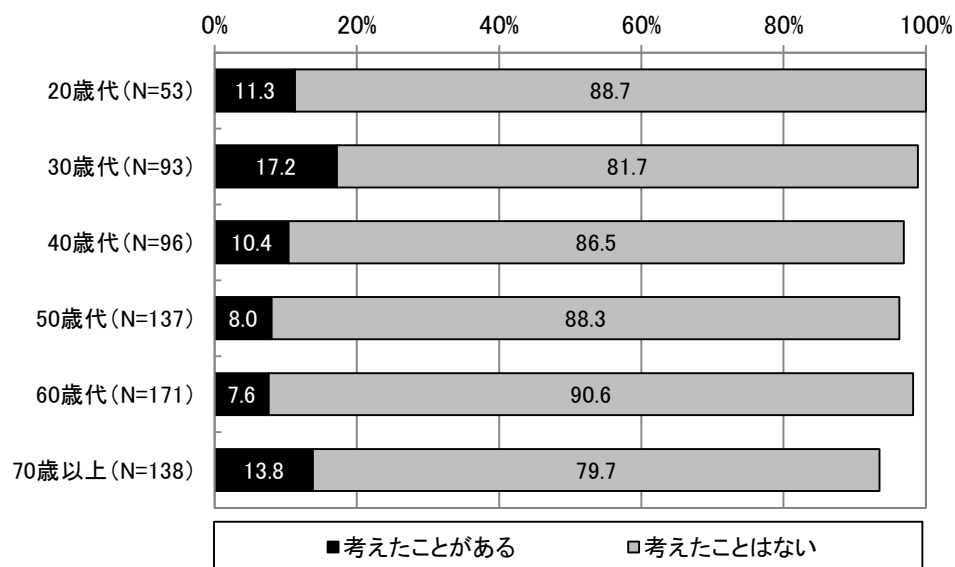
「考えたことがある」人が10人に1人以上となっています。

(SA) N=701



【問29 死んでしまいたい】 × 【問2 年代】

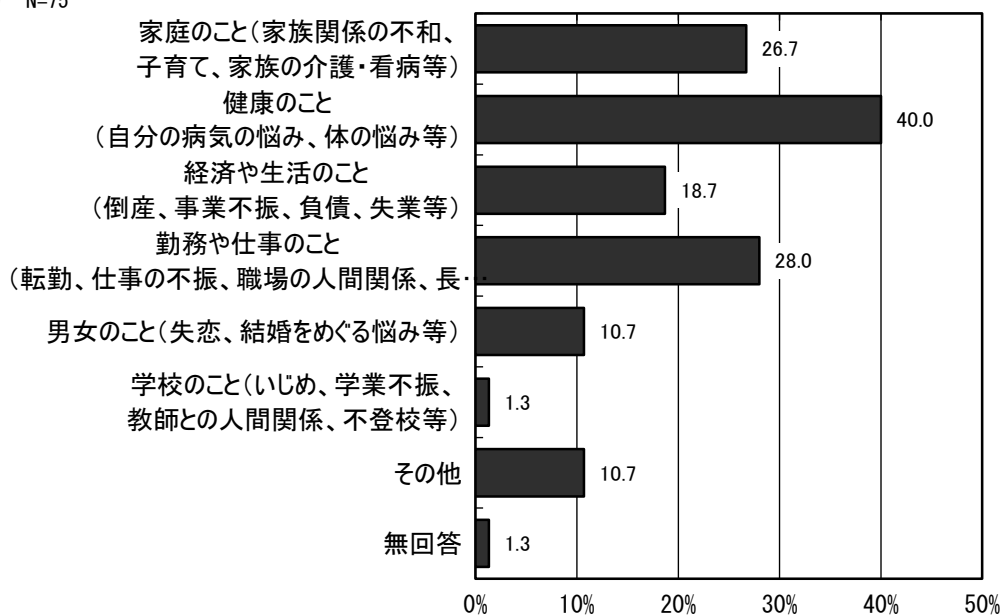
特に“30歳代”での割合が高くなっています。“70歳以上”でも比較的高くなっています。



問29-1 それはどのようなことが原因ですか (MA)

「健康のこと(自分の病気の悩み、体の悩み等)」が40.0%で最も高くなっています。次いで「勤務や仕事のこと(転勤、仕事の不振、職場の人間関係、長時間労働等)」が28.0%、「家庭のこと(家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病等)」が26.7%で続いています。

(MA) N=75



【問29-1 死んでしまいたい原因】 × 【問2 年代】

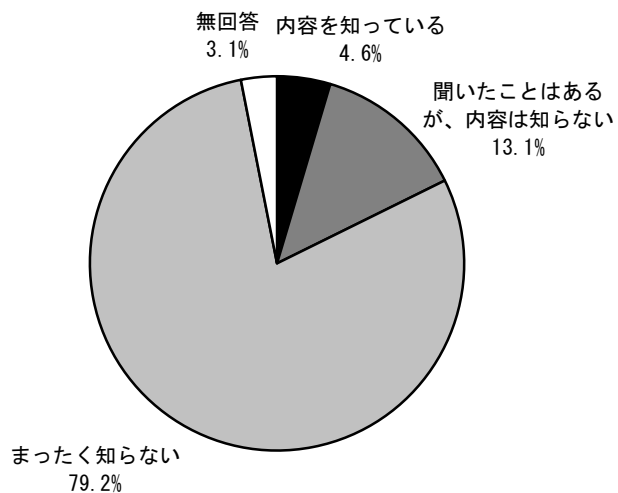
死んでしまいたいと考える割合の高い“30 歳代”では特定の原因に偏りはありません。“70 歳以上”では「健康のこと」が群を抜いて高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	家庭のこと (家族関係の不和、子育て、 家族の介護・看病等)	健康のこと (自分の病気の悩み、 体の悩み等)	経済や生活のこと (倒産、事業不振、 負債、失業等)	勤務や仕事のこと (転勤、仕事の不振、職場の 人間関係、長時間労働等)	男女のこと (失恋、結婚を めぐる悩み等)
全体	75 100.0	20 26.7	30 40.0	14 18.7	21 28.0	8 10.7
20歳代	6 100.0	3 50.0	-	2 33.3	3 50.0	-
30歳代	16 100.0	4 25.0	4 25.0	3 18.8	5 31.3	5 31.3
40歳代	10 100.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	7 70.0	3 30.0
50歳代	11 100.0	4 36.4	4 36.4	3 27.3	3 27.3	-
60歳代	13 100.0	3 23.1	7 53.8	3 23.1	3 23.1	-
70歳以上	19 100.0	1 5.3	14 73.7	2 10.5	-	-

問30 ゲートキーパーについて知っていますか。(SA)

「まったく知らない」が79.2%を占めています。

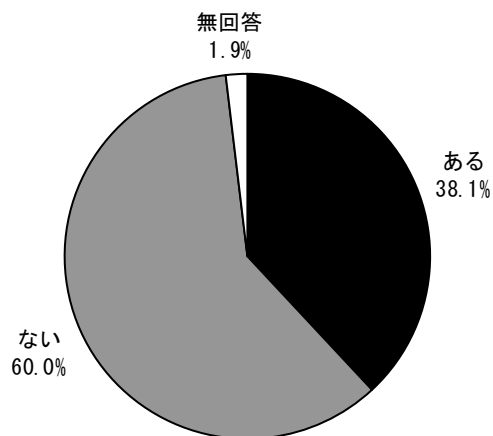
(SA) N=701



問31 これまでたばこを吸ったことがありますか。(SA)

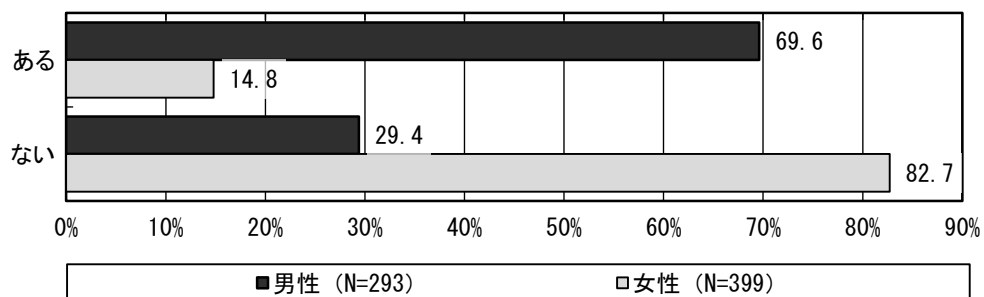
「ない」が60.0%を占めています。

(SA) N=701



【問31 喫煙経験】 × 【問2 年代】

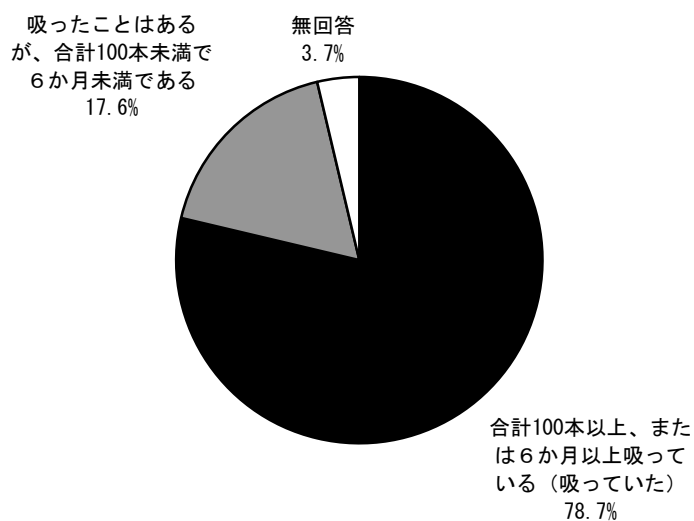
喫煙経験者はほとんどが“男性”となっています。



問31-1 これまでどのくらい吸ったことがありますか。(SA)

「合計100本以上、または6か月以上吸っている（吸っていた）」が78.7%を占めています。

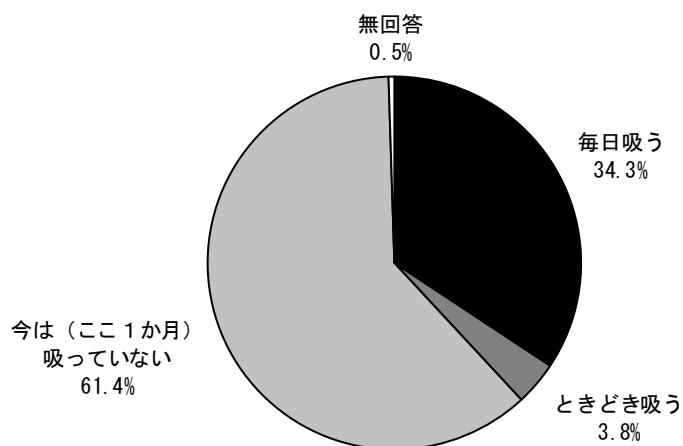
(SA) N=267



問31-2 ここ1か月、たばこを吸っていますか。(SA)

「今は（ここ1か月）吸っていない」が61.4%を占めています。

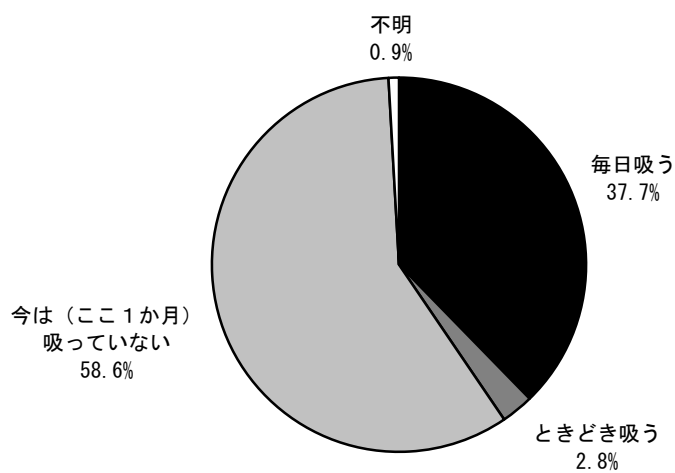
(SA) N=210



「参考」 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「毎日吸う」が減少しています。

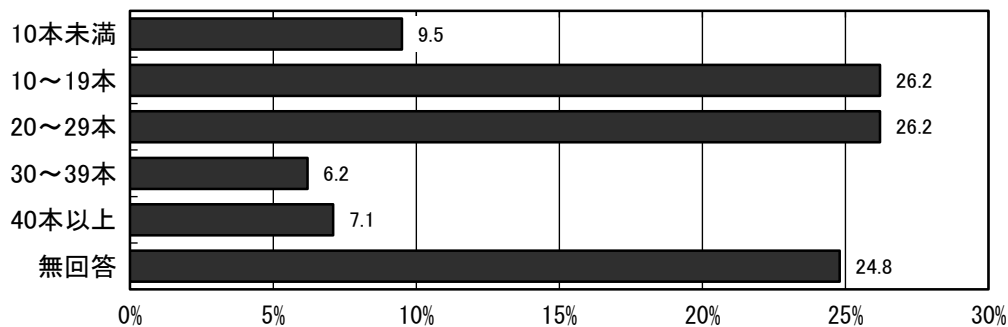
(SA) N=215



問31-3 1日に何本吸っています(いました)か。(数量⇒SA変換)

「10～19本」、「20～29本」が26.2%で群を抜いて高くなっています。

(SA) N=210



【問31-3 喫煙本数】 × 【問2 年代】

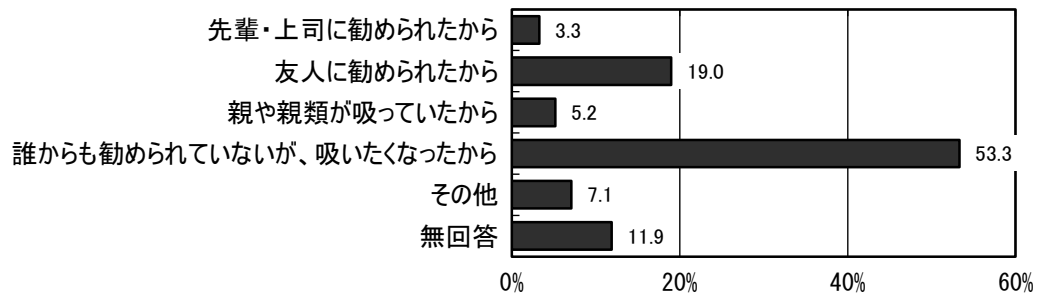
年代が高い方が喫煙本数が多い傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	10本未満	10～19本	20～29本	30～39本	40本以上
全体	210 100.0	20 9.5	55 26.2	55 26.2	13 6.2	15 7.1
20歳代	14 100.0	4 28.6	3 21.4	1 7.1	-	-
30歳代	26 100.0	5 19.2	8 30.8	4 15.4	1 3.8	2 7.7
40歳代	35 100.0	3 8.6	12 34.3	9 25.7	2 5.7	2 5.7
50歳代	40 100.0	5 12.5	12 30.0	10 25.0	2 5.0	3 7.5
60歳代	56 100.0	1 1.8	10 17.9	21 37.5	5 8.9	4 7.1
70歳以上	35 100.0	2 5.7	7 20.0	10 28.6	3 8.6	3 8.6

問31-4 たばこを吸い始めた最大のきっかけは何ですか。(SA)

「誰からも勧められていないが、吸いたくなったから」が53.3%で突出しています。
「友人に勧められたから」が19.0%が続いています。

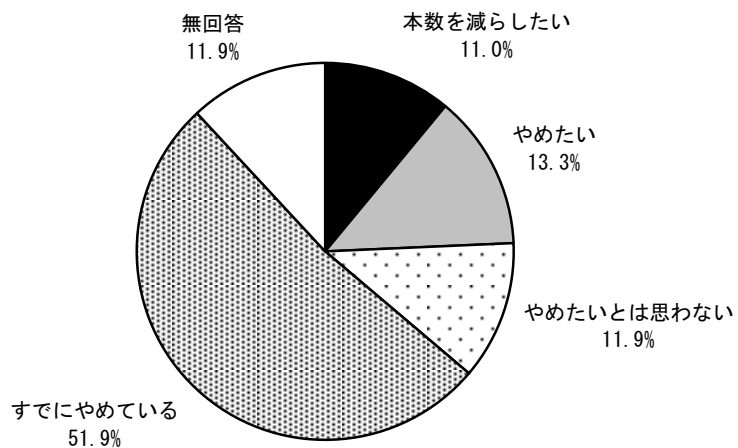
(SA) N=210



問31-5 たばこを吸うことをやめたいと思いますか。(SA)

「すでにやめている」が51.9%を占めています。

(SA) N=210



【問31-5 禁煙の意志】 × 【問2 年代】

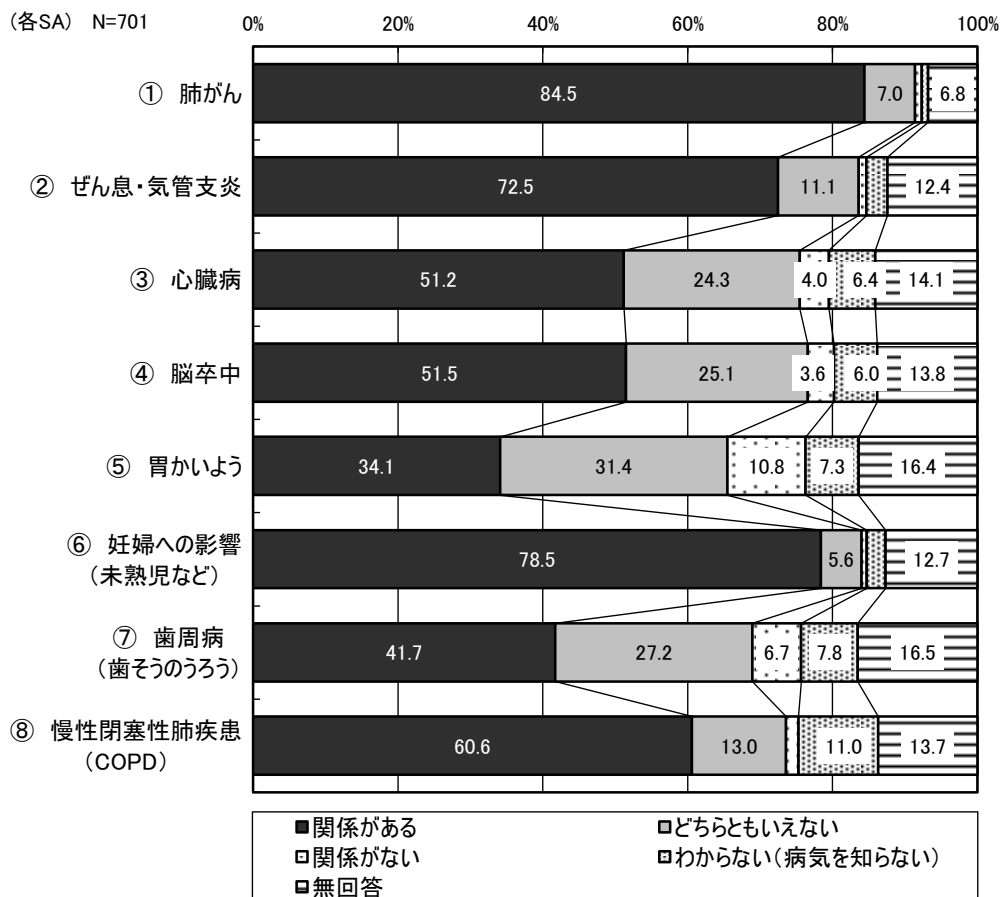
若い年代の方がたばこの「本数を減らしたい」や「やめたい」割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	本数を 減らしたい	やめたい	やめたいとは 思わない	すでに やめている
全体	210 100.0	23 11.0	28 13.3	25 11.9	109 51.9
20歳代	14 100.0	2 14.3	3 21.4	1 7.1	7 50.0
30歳代	26 100.0	3 11.5	3 11.5	2 7.7	15 57.7
40歳代	35 100.0	6 17.1	10 28.6	5 14.3	9 25.7
50歳代	40 100.0	4 10.0	5 12.5	11 27.5	17 42.5
60歳代	56 100.0	5 8.9	5 8.9	4 7.1	33 58.9
70歳以上	35 100.0	3 8.6	2 5.7	1 2.9	25 71.4

問32 たばこが健康に与える影響についてどう思いますか。(各SA)

「肺がん」や「妊婦など」への影響については高い認知がありますが、「胃かいよう」や「歯周病」への影響については認知が低くなっています。

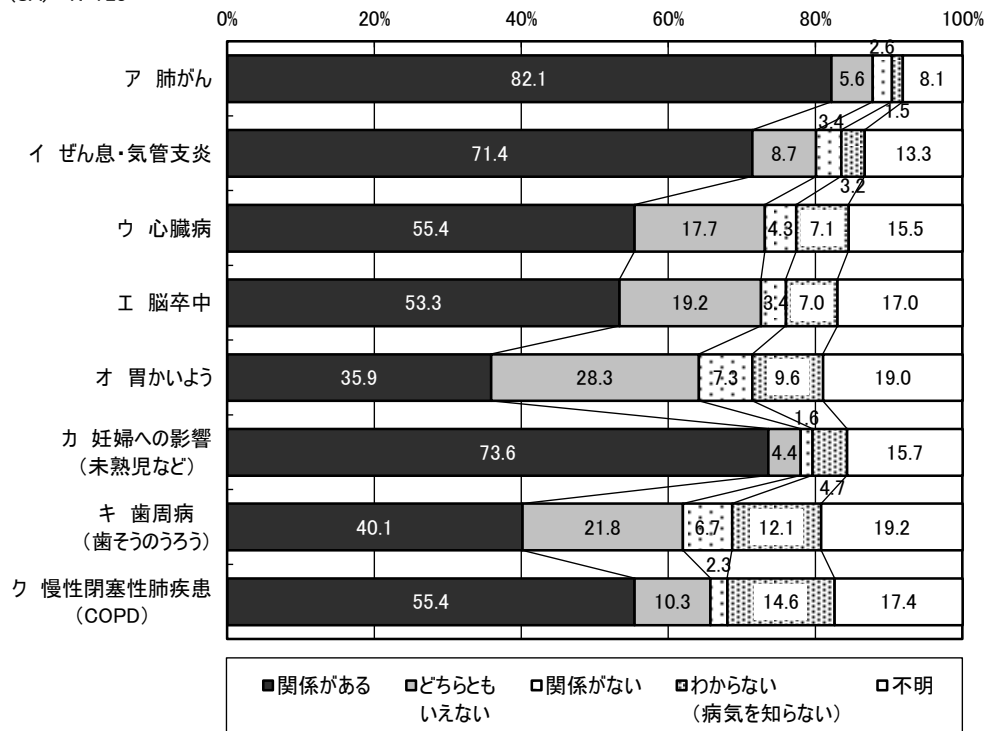
(各SA) N=701



「参考」 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「肺がん」、「ぜん息・気管支炎」、「妊婦への影響」、「歯周病」、「慢性閉塞性肺疾患」に関する認知が増加しています。

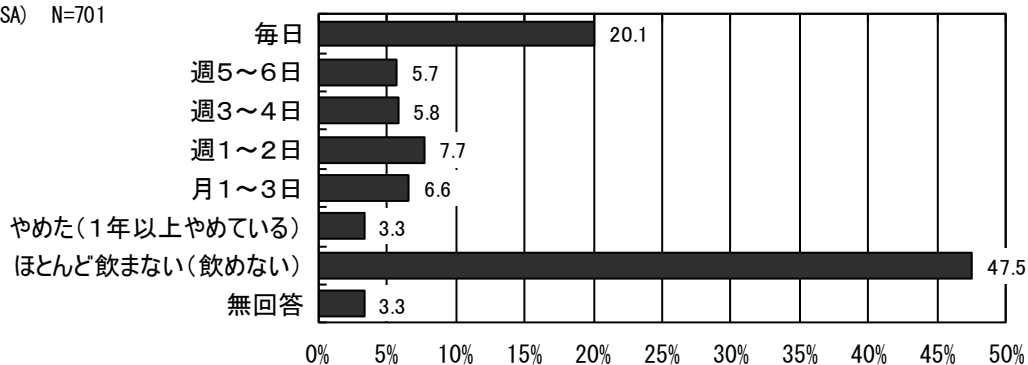
(SA) N=728



問33 あなたは週に何日お酒を飲みますか。(SA)

「ほとんど飲まない(飲めない)」が47.5%で突出しています。「毎日」が20.1%で続いています。

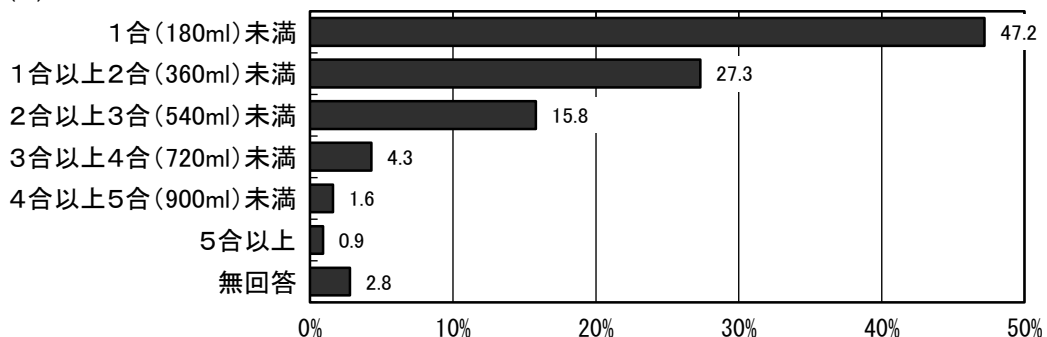
(SA) N=701



問33-1 1日あたり、日本酒にしてどのくらいの量を飲みますか。(SA)

「1合(180ml)未満」が47.2%で突出しています。「1合以上2合(360ml)未満」が27.3%、「2合以上3合(540ml)未満」が15.8%で続いています。

(SA) N=322

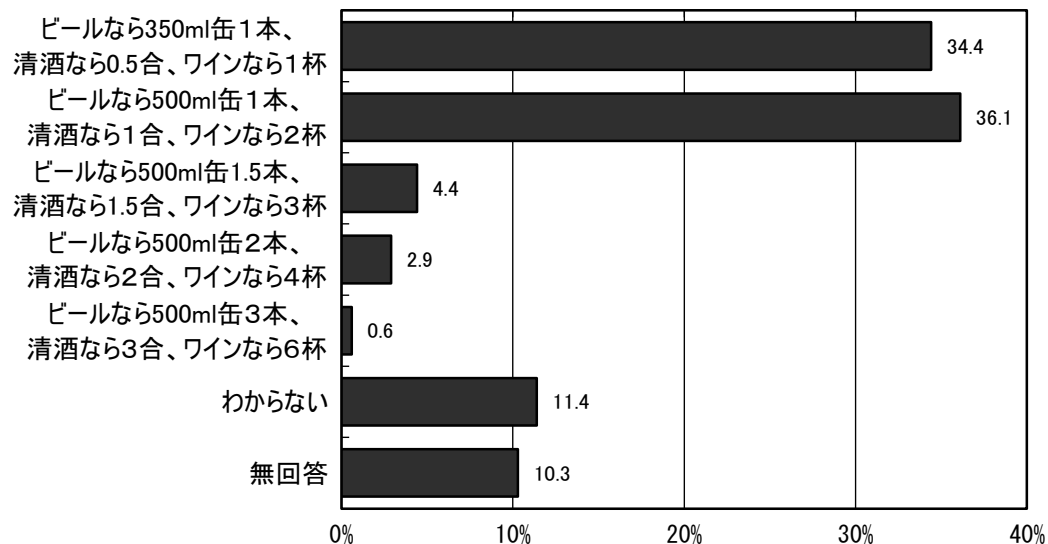


問34 一般的に、「節度のある飲酒」とは1日にどのくらいと思いますか。(SA)

【節度ある適度な飲酒】					
1日平均純アルコールで約20g程度					
【主な酒類での換算】					
酒	ビール 500ml	清酒 1合(180ml)	ウイスキー ダブル(60ml)	焼酎(35度) 0.5合(90ml)	ワイン 2杯(240ml)
純アルコール量	20g	22g	20g	25g	24g

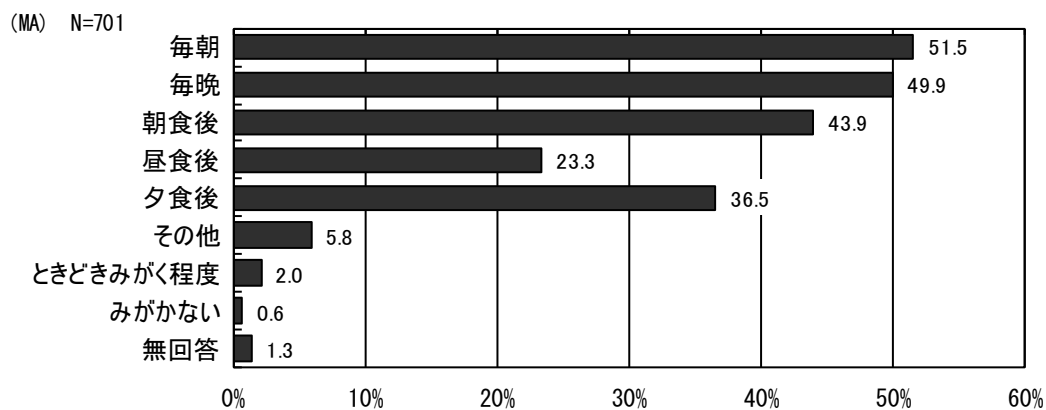
「ビールなら500ml缶1本、清酒なら1合、ワインなら2杯」が36.1%、「ビールなら350ml缶1本、清酒なら0.5合、ワインなら1杯」が34.4%で群を抜いて高くなっています。

(SA) N=701



問35 あなたが歯をみがいているのはいつですか。(MA)

「毎朝」が51.5%で最も高くなっています。次いで「毎晩」が49.9%、「朝食後」が43.9%が続いています。



【問35 歯みがき】 × 【問2 年代】

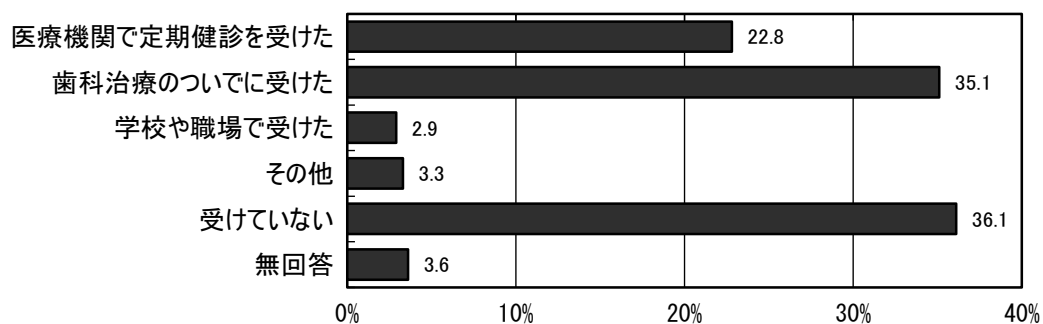
“30歳代”で「毎朝」が低くなっており、“70歳以上”で「毎晩」が低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	毎朝	毎晩	朝食後	昼食後	夕食後	その他	ときどき みがく程度	みがかない
全体	701 100.0	361 51.5	350 49.9	308 43.9	163 23.3	256 36.5	41 5.8	14 2.0	4 0.6
20歳代	53 100.0	28 52.8	33 62.3	19 35.8	13 24.5	17 32.1	2 3.8	2 3.8	-
30歳代	93 100.0	36 38.7	51 54.8	47 50.5	24 25.8	40 43.0	3 3.2	2 2.2	-
40歳代	96 100.0	46 47.9	44 45.8	47 49.0	27 28.1	36 37.5	1 1.0	4 4.2	-
50歳代	137 100.0	74 54.0	70 51.1	62 45.3	35 25.5	43 31.4	14 10.2	-	1 0.7
60歳代	171 100.0	97 56.7	93 54.4	67 39.2	33 19.3	55 32.2	10 5.8	3 1.8	-
70歳以上	138 100.0	77 55.8	77 39.9	60 43.5	28 20.3	60 43.5	10 7.2	2 1.4	3 2.2

問36 あなたは過去1年間にどのような方法で歯科健診を受けましたか。(MA)

「受けていない」が36.1%、「歯科治療のついでに受けた」が35.1%で最も高くなっています。

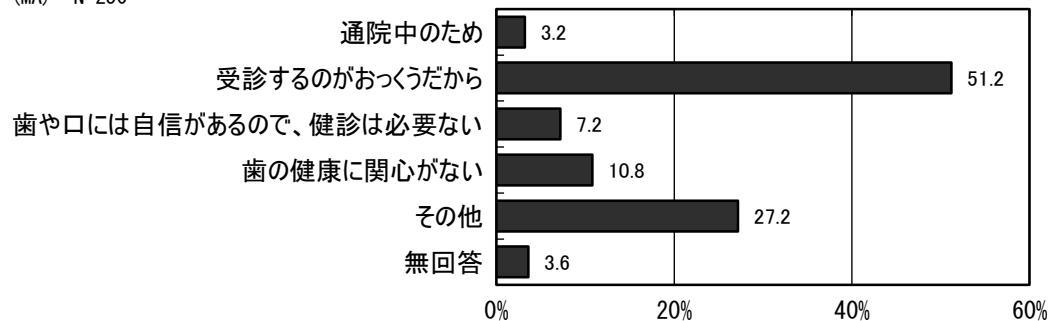
(MA) N=701



問36-1 歯科健診を受けていない理由はなんですか。(MA)

「受診するのがおっくうだから」が51.2%で突出しています。「その他」が27.2%、「歯の健康に関心がない」が10.8%が続いています。

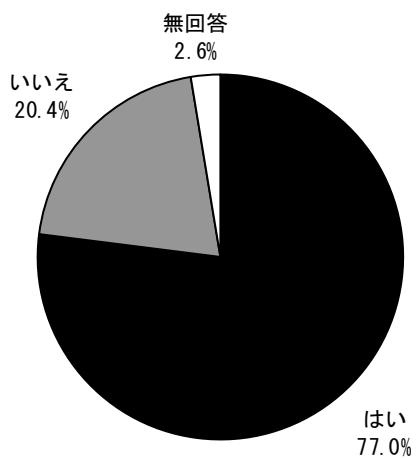
(MA) N=250



問37 かかりつけの歯科医院がありますか。(SA)

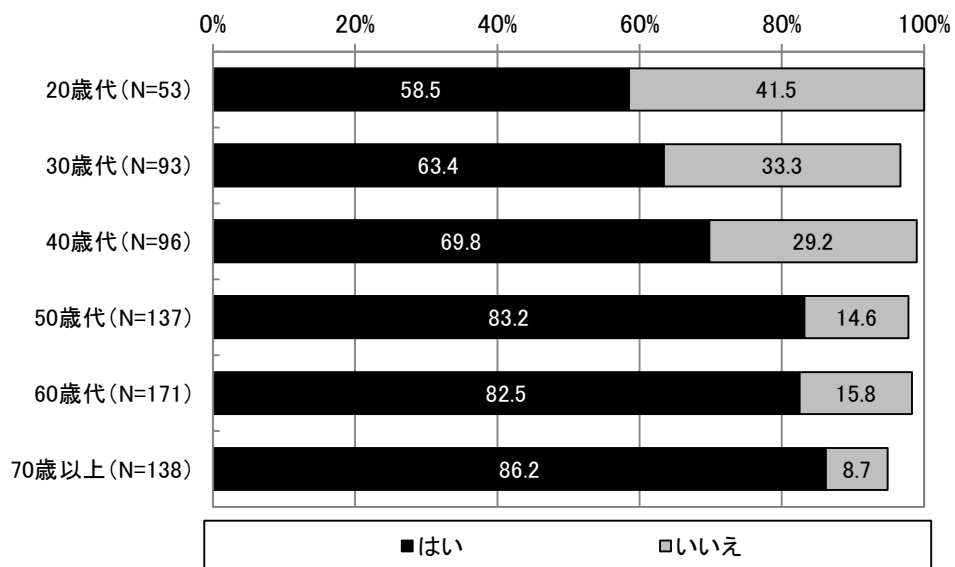
「はい」が77.0%を占めています。

(SA) N=701



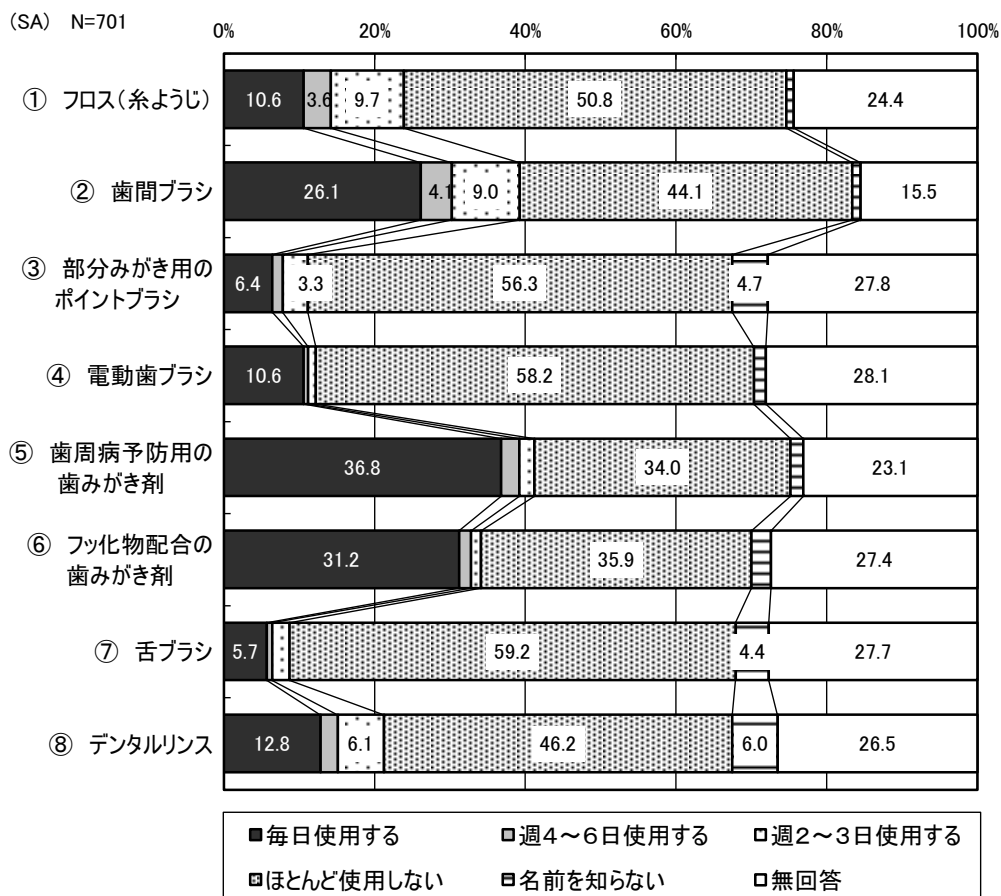
【問37 かかりつけ歯科医】 × 【問2 年代】

若い年代ではかかりつけ歯科医のいる割合が低くなっています。



問38 歯ブラシ以外で使用しているものについてお聞きます。(各SA)

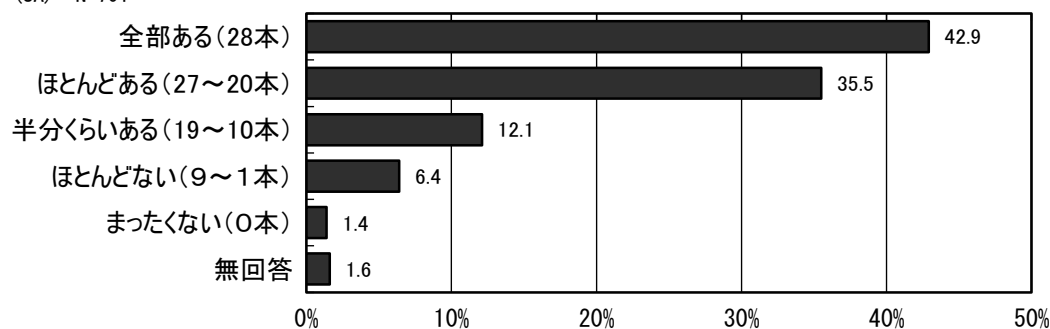
「歯周病予防用の歯みがき剤」や「フッ化物配合の歯みがき剤」を使用している方は多くなっています。「部分みがき用のポイントブラシ」や「舌ブラシ」を使用している方は少なくなっています。



問39 現在、歯の数はどのくらいありますか。(SA)

「全部ある (28本)」が 42.9%で最も高くなっています。次いで「ほとんどある (27～20本)」が 35.5%で続いています。

(SA) N=701



【問39 歯の本数】 × 【問2 年代】

“60歳代”では 28.1%、“70歳以上”では 51.5%が半分以上ないとなっています。

上段:度数 下段:%	合計	全部ある (28本)	ほとんどある (27～20本)	半分くらい ある (19～10本)	ほとんどない (9～1本)	まったくない (0本)
全体	701 100.0	301 42.9	249 35.5	85 12.1	45 6.4	10 1.4
20歳代	53 100.0	48 90.6	5 9.4	-	-	-
30歳代	93 100.0	73 78.5	19 20.4	-	-	-
40歳代	96 100.0	62 64.6	29 30.2	3 3.1	1 1.0	-
50歳代	137 100.0	61 44.5	60 43.8	10 7.3	3 2.2	-
60歳代	171 100.0	36 21.1	84 49.1	34 19.9	13 7.6	1 0.6
70歳以上	138 100.0	14 10.1	50 36.2	36 26.1	28 20.3	7 5.1

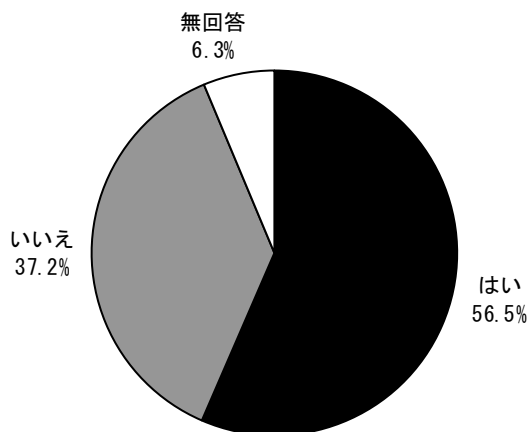
【8020 運動】

80歳 (75～84歳) 66人のうち 20本以上の歯がある方は 34人であり、51.5%でした。 ※無回答は除いて割戻

問40 あなたは自分の適正体重を知っていますか (SA)

「はい」が56.5%を占めています。

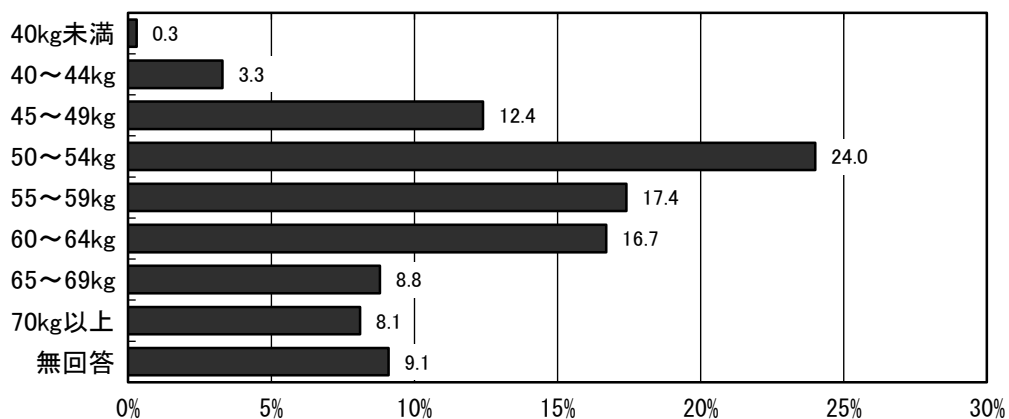
(SA) N=701



問40 知っている場合、適正体重は何kgですか (数量⇒SA変換)

「50～54kg」が24.0%で最も高くなっています。次いで「55～59kg」が17.4%、「60～64kg」が16.7%が続いています。

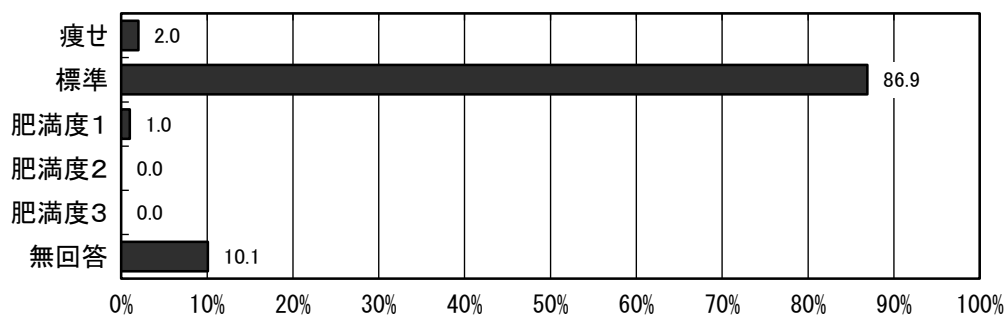
(SA) N=396



問40 適性BMI算出（身長と適正体重より）

「標準」が86.9%で突出しています。「痩せ」が2.0%、「肥満度1」が1.0%が続いています。

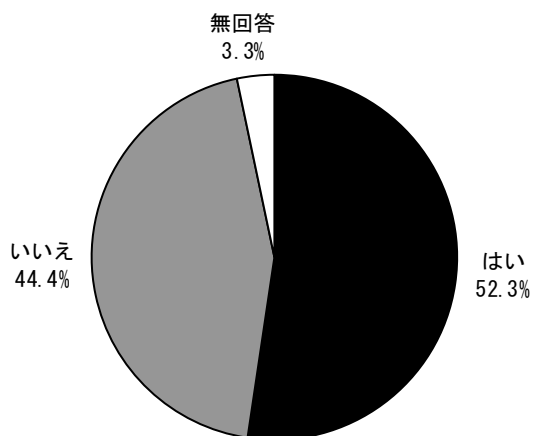
(SA) N=396



問41 適正体重に近づけるよう、あるいは維持するように心がけていますか。(SA)

「はい」が52.3%を占めています。

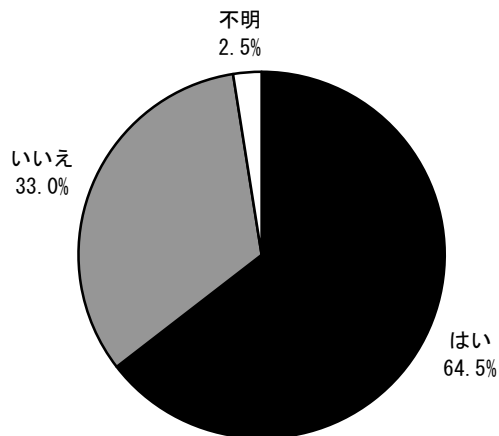
(SA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

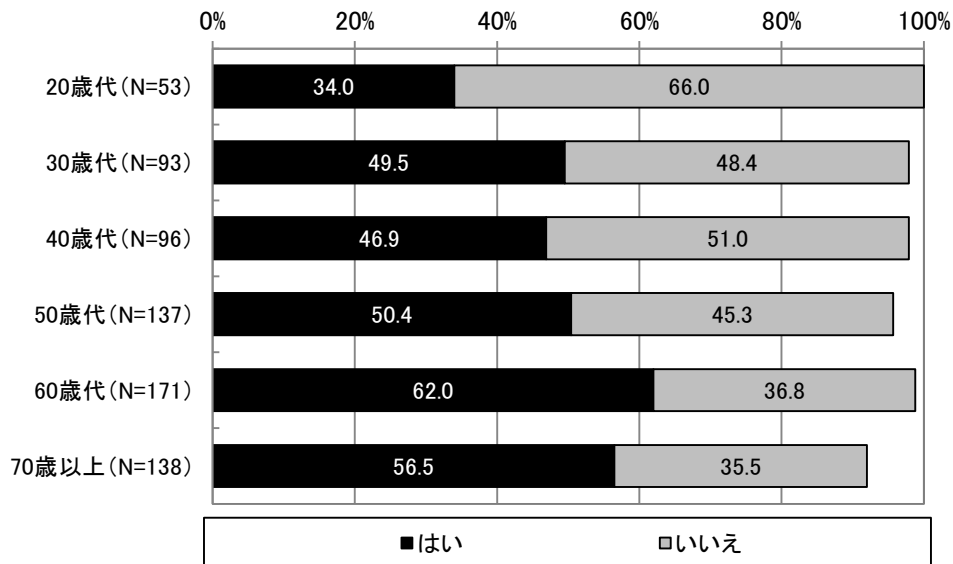
前回調査に比べて理想体重に近付ける、維持すると考えている人は減少しています。

(SA) N=728



【問41 適性体重の維持】 × 【問2 年代】

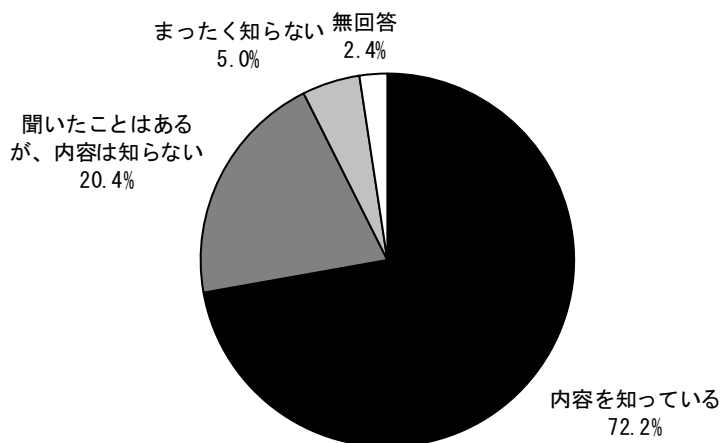
年代が高いほど、適正体重を維持しようと心がけています。



問42 市が行う健康診査（特定健康診査・一般健康診査）・がん検診を知っていますか。
(SA)

「内容を知っている」が72.2%を占めています。

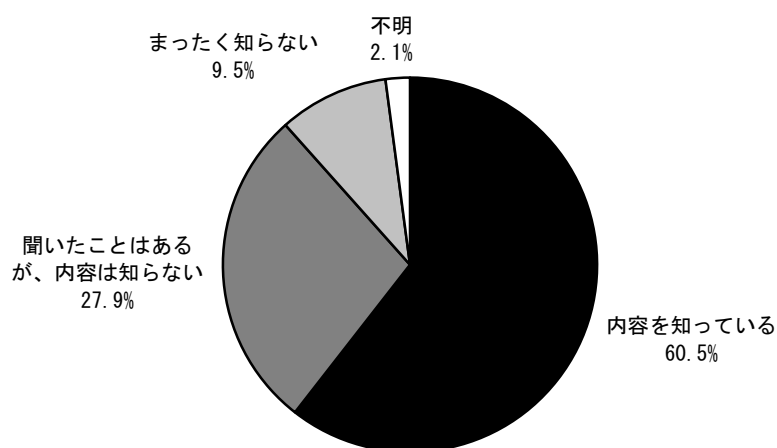
(SA) N=701



「参考」 前回調査結果（平成25年実施分）

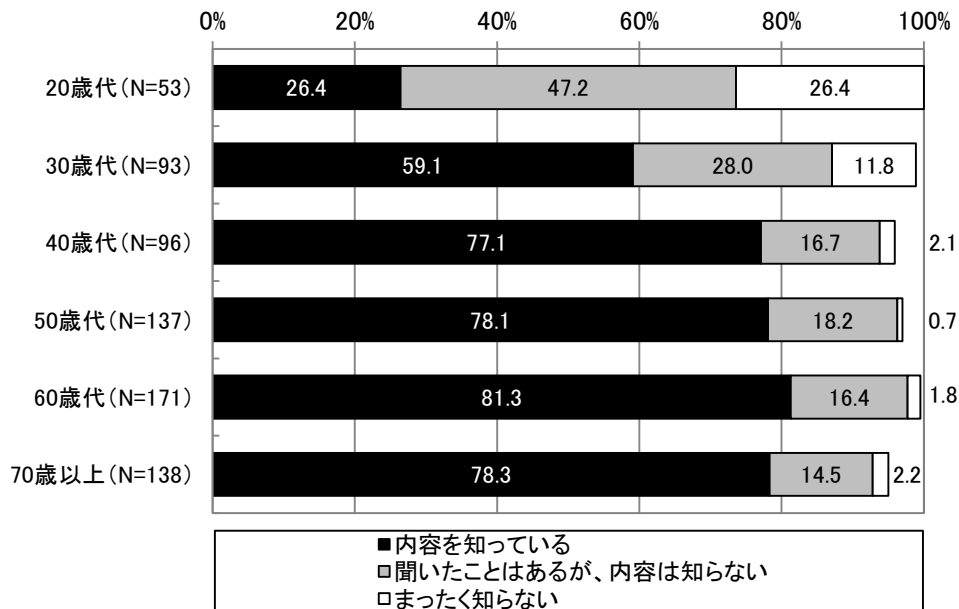
前回調査に比べて「まったく知らない」が減少しています。

(SA) N=728



【問42 健康診査の認知】 × 【問2 年代】

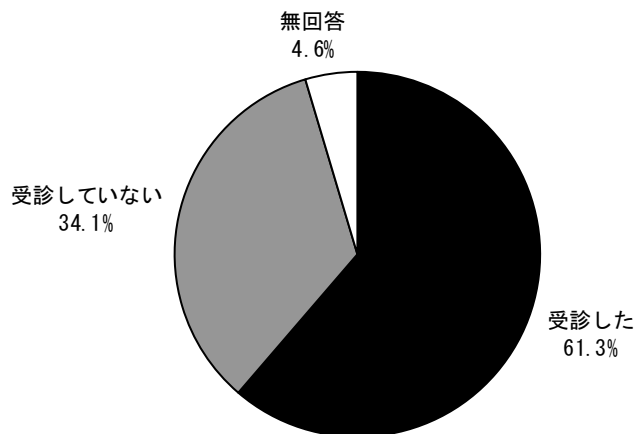
若い年代での認知が低くなっています。



問43 この1年で健康診査を受診しましたか。(SA)

「受診した」が61.3%を占めています。

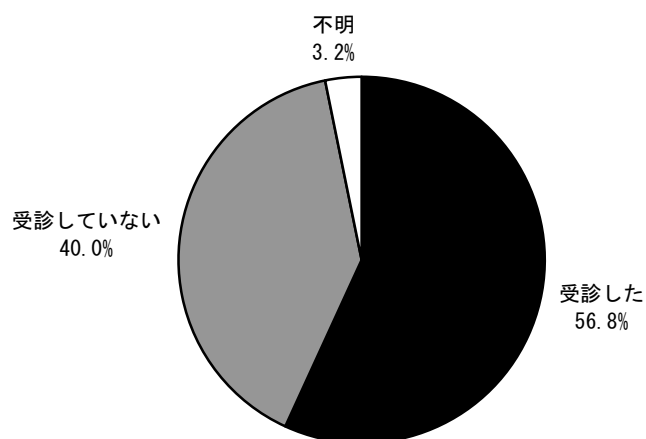
(SA) N=701



「参考」 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「受診した」が増加しています。

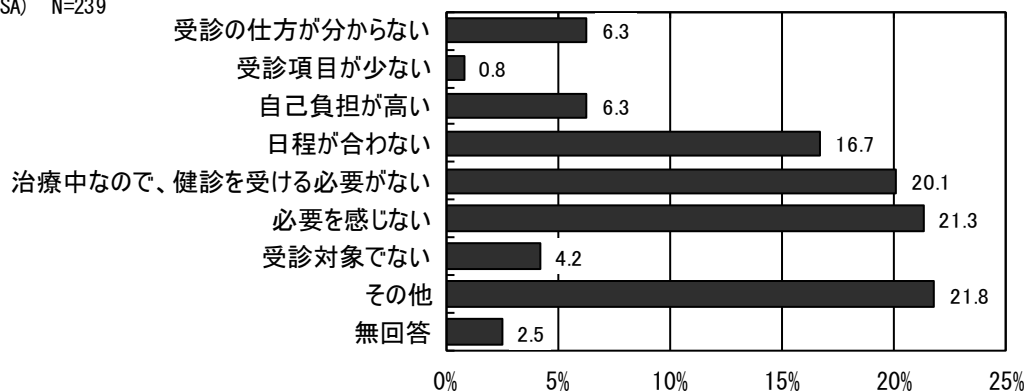
(SA) N=728



問43-1 健康診査を受診しない理由は何ですか。(SA)

「その他」が21.8%で最も高くなっています。次いで「必要を感じない」が21.3%、「治療中なので、健診を受ける必要がない」が20.1%で続いています。

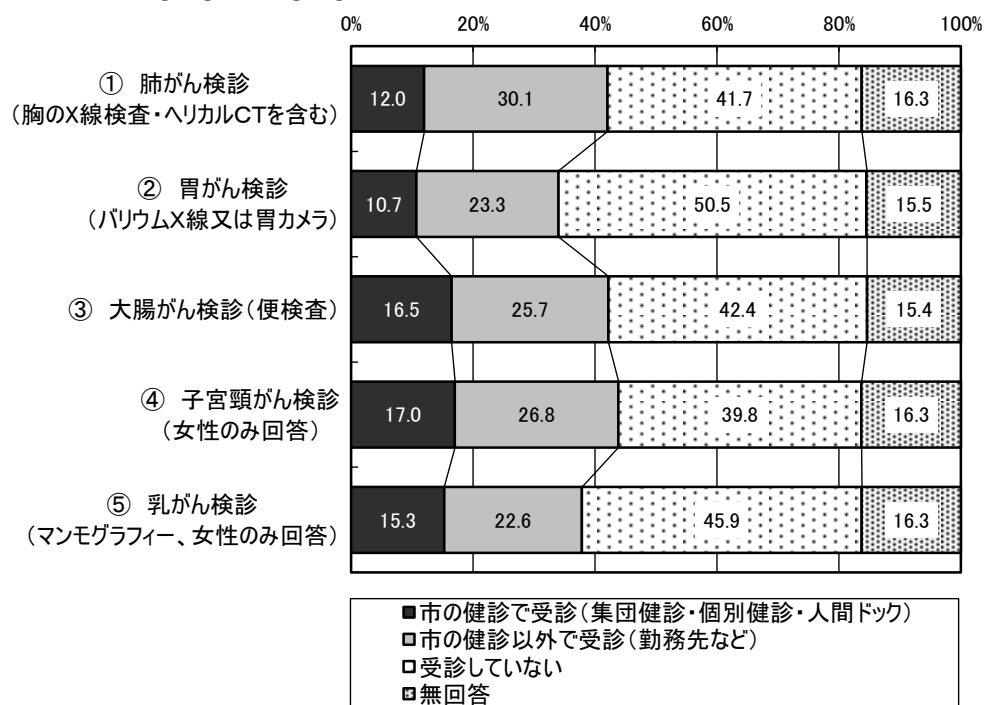
(SA) N=239



問44 この1年間で受けたがん検診は何ですか。(各SA)

「肺がん健診」、「大腸がん検診」、「子宮頸がん検診」に比べて「胃がん健診」、「乳がん検診」の受診率は低くなっています。

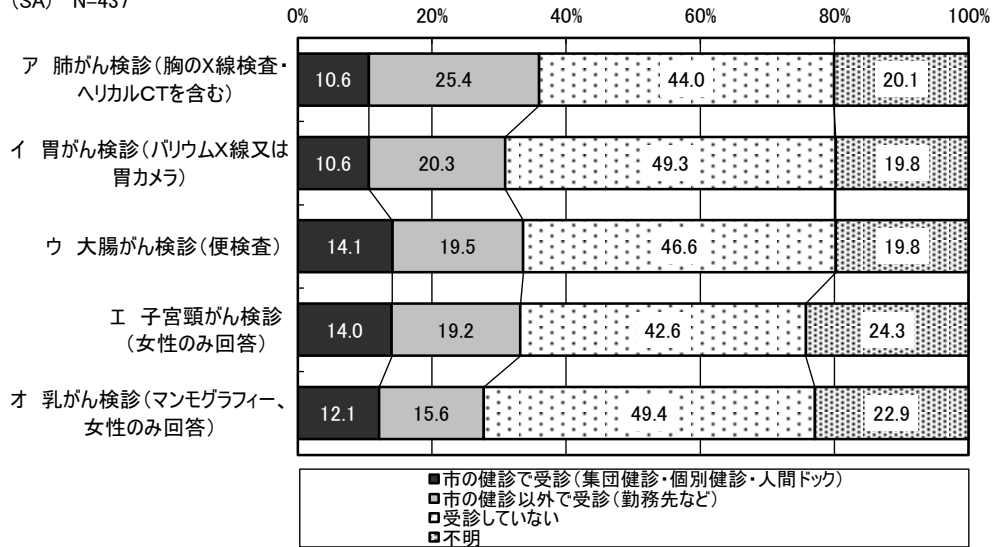
(各SA) N=701(①~③)、399(④~⑤)



「参考」 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて“胃がん検診”を除く全ての健診で「受診していない」が減少しています。

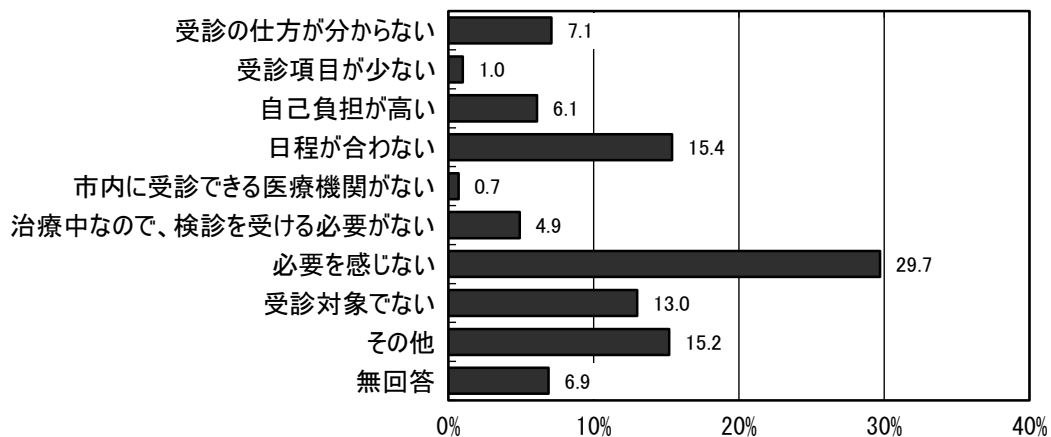
(SA) N=437



問44-1 がん検診を受診しない理由はなんですか。(SA)

「必要を感じない」が29.7%で突出しています。「日程が合わない」が15.4%、「その他」が15.2%で続いています。

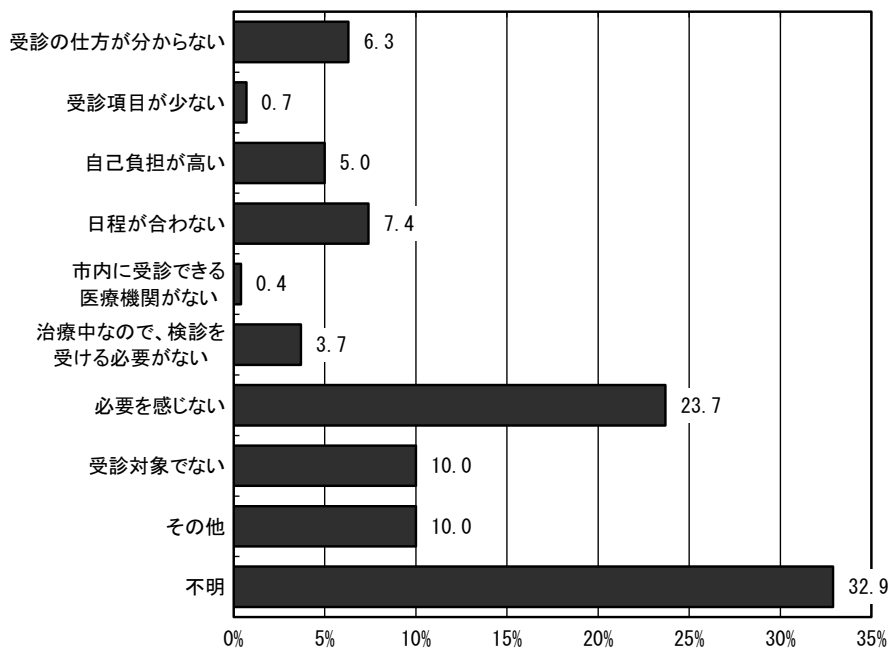
(SA) N=408



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「日程が合わない」が大きく増加しています。

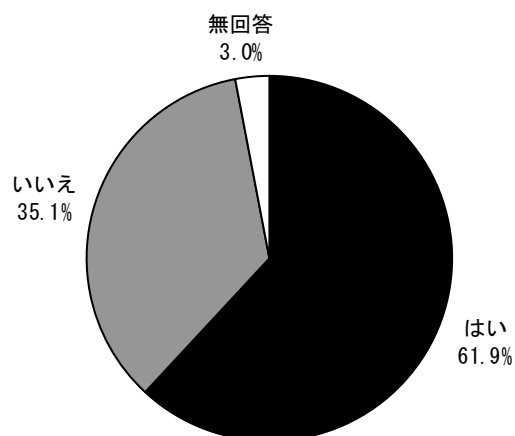
(SA) N=541



問45 かかりつけの医師がいますか。(SA)

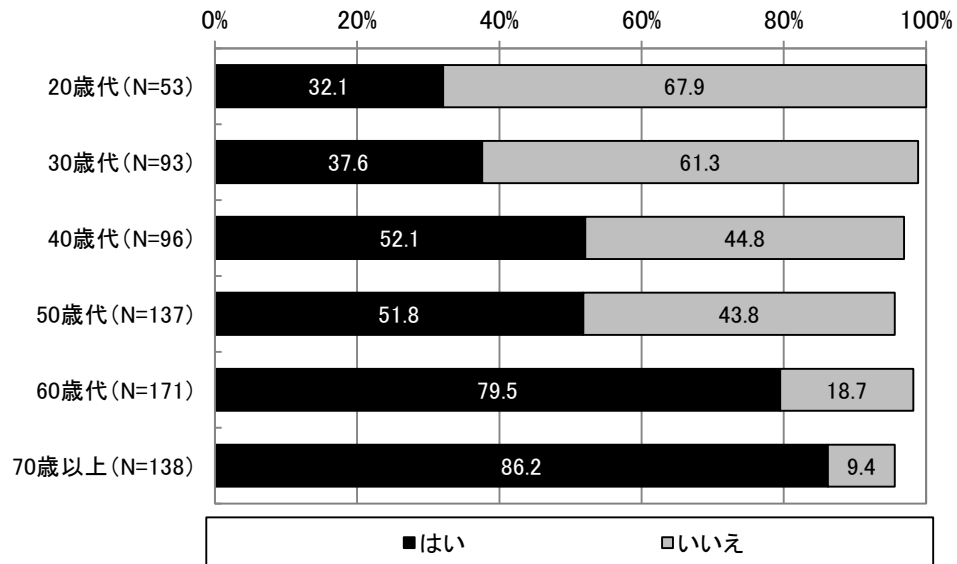
「はい」が61.9%を占めています。

(SA) N=701



【問45 かかりつけ医】 × 【問2 年代】

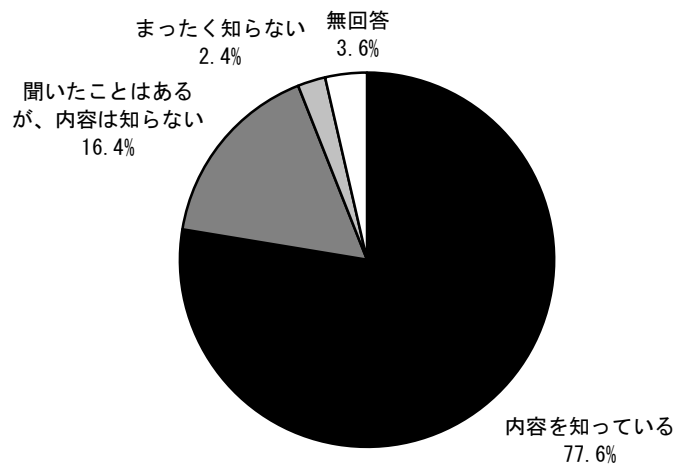
若い年代ではかかりつけ医のいない人が多くなっています。



問46 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）について知っていますか。(SA)

「内容を知っている」が 77.6%を占めています。

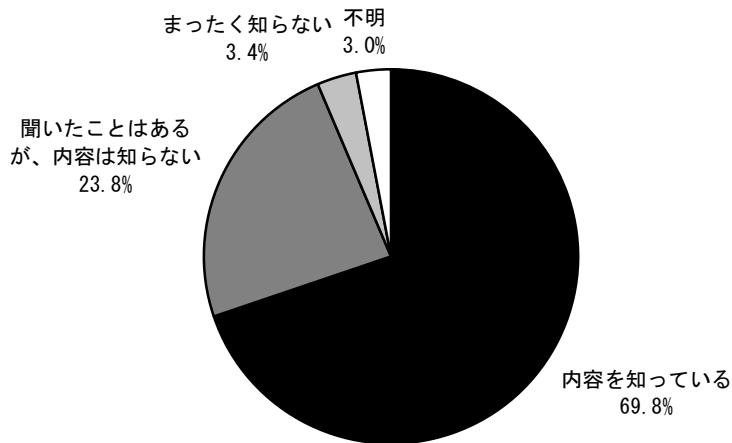
(SA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

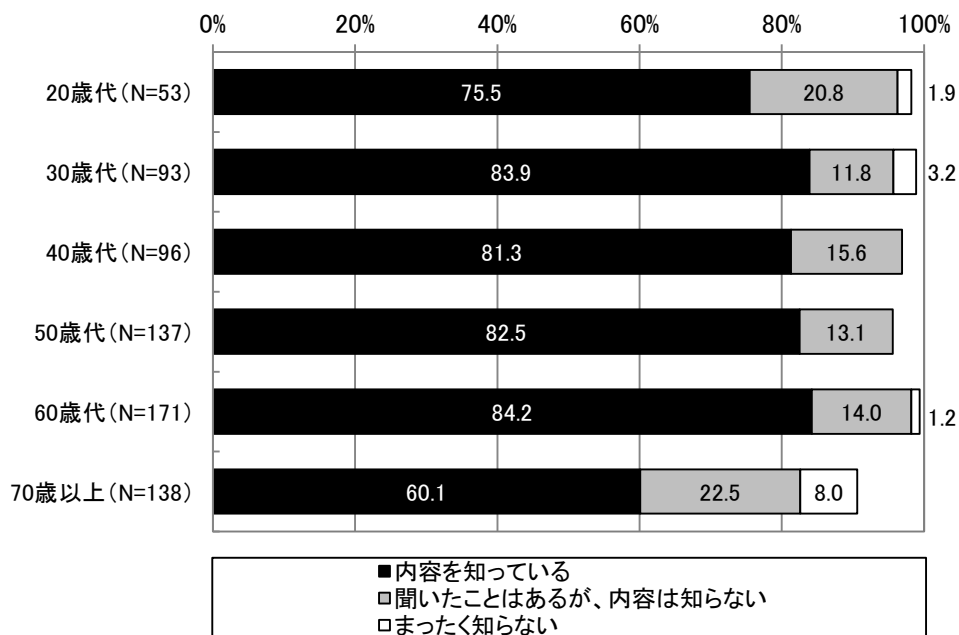
前回調査に比べて「内容を知っている」が増加しています。

(SA) N=728



【問46 メタボリックシンドローム】 × 【問2 年代】

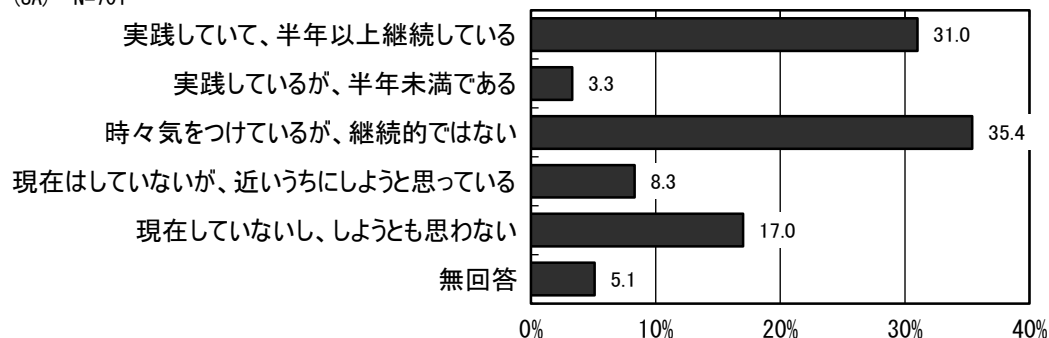
“70歳以上”を除いて、認知度が高くなっています。



問47 メタボリックシンドロームの予防や改善のために、適切な食事、定期的な運動、週に複数回の体重計測のいずれかを実践していますか。(SA)

「時々気をつけているが、継続的ではない」が 35.4%で最も高くなっています。次いで「実践していて、半年以上継続している」が 31.0%、「現在していないし、しようとも思わない」が 17.0%で続いています。

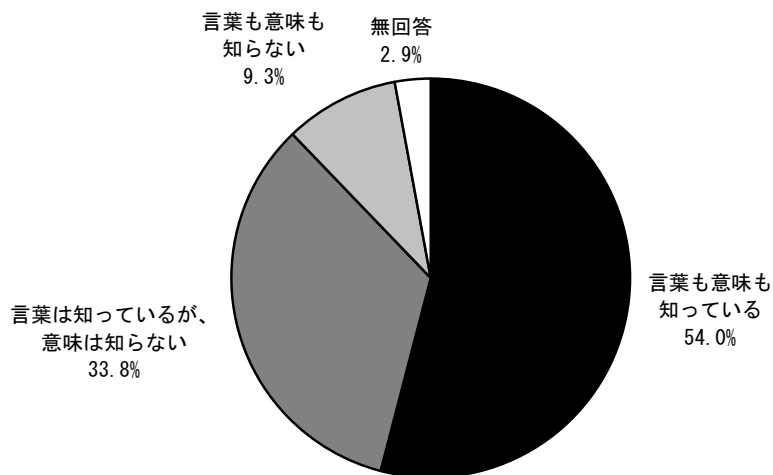
(SA) N=701



問48 「食育」という言葉やその意味について知っていますか。(SA)

「言葉も意味も知っている」が 54.0%を占めています。

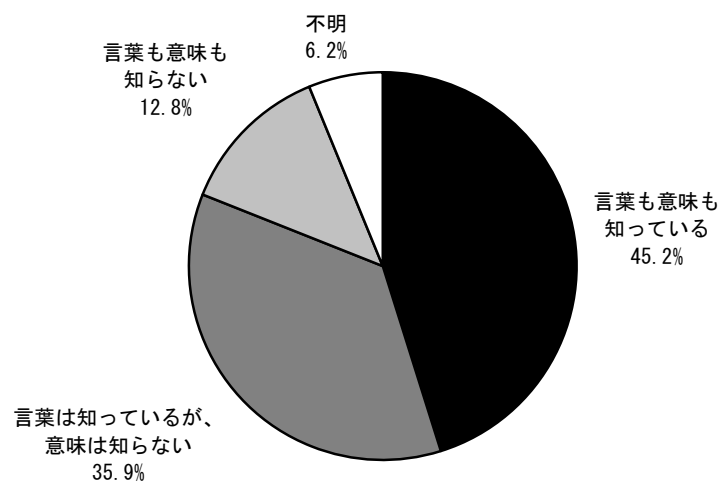
(SA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

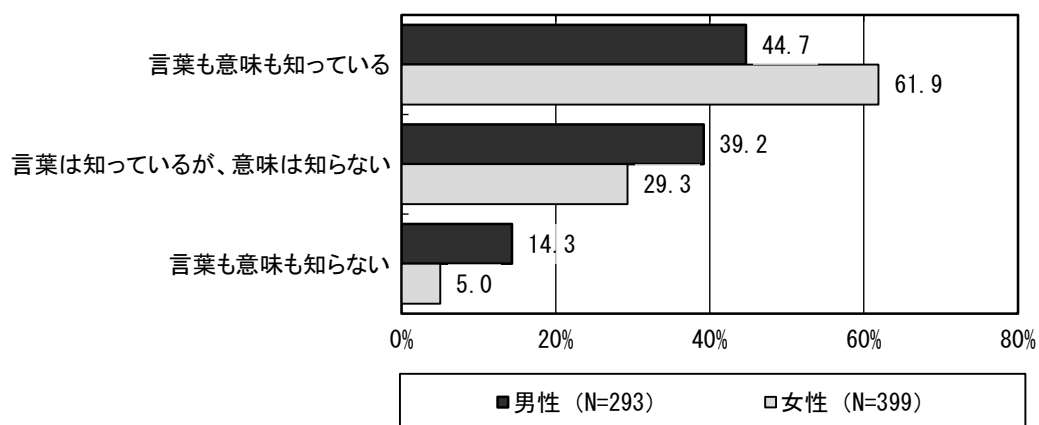
前回調査に比べて「言葉も意味も知っている」が増加しています。

(SA) N=728



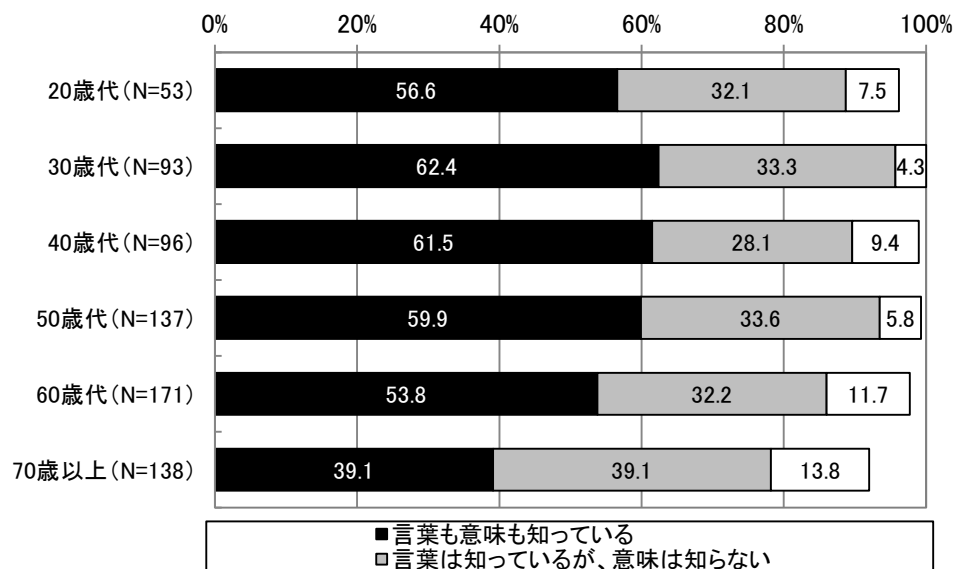
【問48 食育】 × 【問1 性別】

“女性”の方が認知している割合が高くなっています。



【問48 食育】 × 【問2 年代】

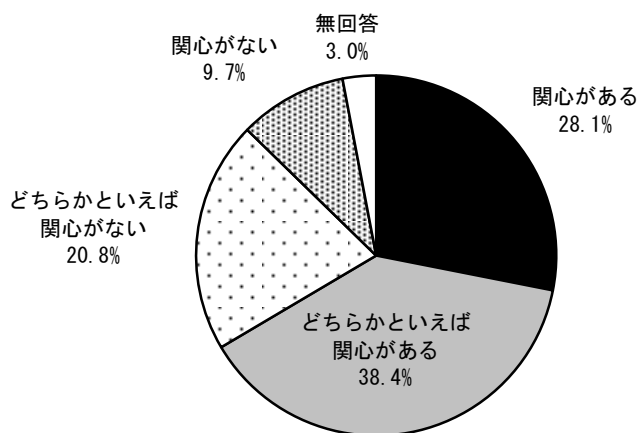
年代が高い方が、認知が高い傾向があります。



問49 あなたは食育に関心がありますか。(SA)

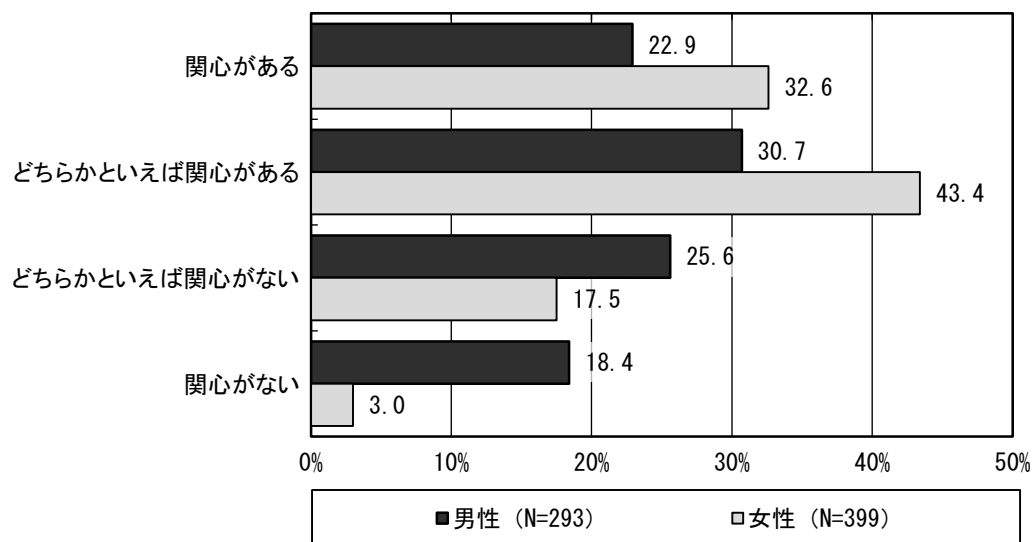
「どちらかといえば関心がある」が 38.4%で最も高く、次いで「関心がある」が 28.1%、「どちらかといえば関心がない」が 20.8%で続いています。

(SA) N=701



【問49 食育への関心】 × 【問1 性別】

“女性”の関心に比べて、“男性”の関心が低くなっています。



【問49 食育への関心】 × 【問2 年代】

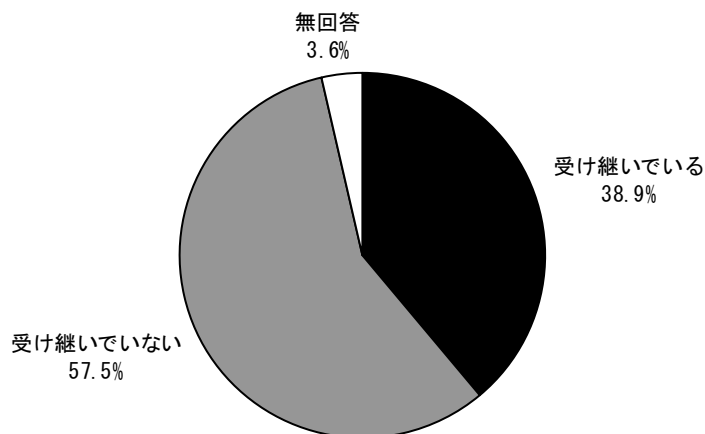
特に“20歳代”、“40歳代”で関心が低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	関心がある	関心がある どちらかといえば	関心がない どちらかといえば	関心がない
全体	701 100.0	197 28.1	269 38.4	146 20.8	68 9.7
20歳代	53 100.0	13 24.5	18 34.0	16 30.2	4 7.5
30歳代	93 100.0	34 36.6	35 37.6	16 17.2	8 8.6
40歳代	96 100.0	31 32.3	25 26.0	19 19.8	20 20.8
50歳代	137 100.0	35 25.5	57 41.6	30 21.9	10 7.3
60歳代	171 100.0	48 28.1	73 42.7	34 19.9	12 7.0
70歳以上	138 100.0	34 24.6	53 38.4	30 21.7	12 8.7

問50 あなたは郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。(SA)

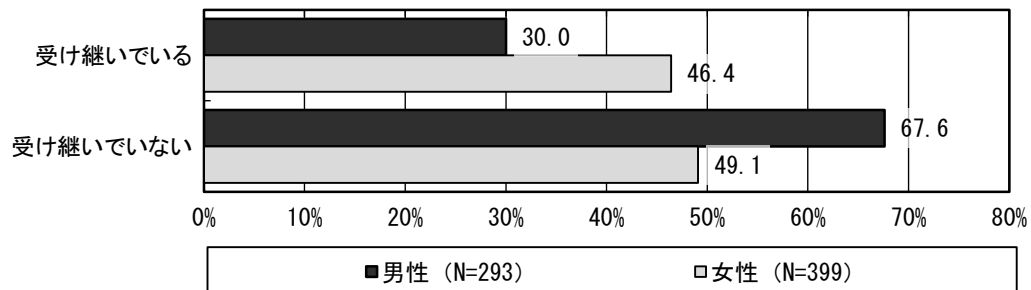
「受け継いでいない」が57.5%を占めています。

(SA) N=701



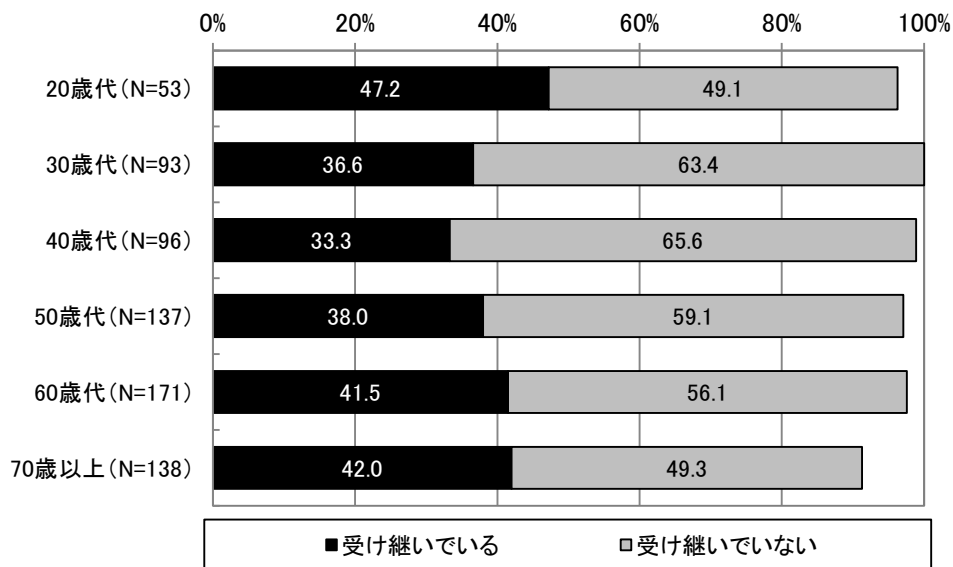
【問50 郷土料理・伝統料理】 × 【問1 性別】

“女性”で「受け継いでいる」方は半数を切っています。



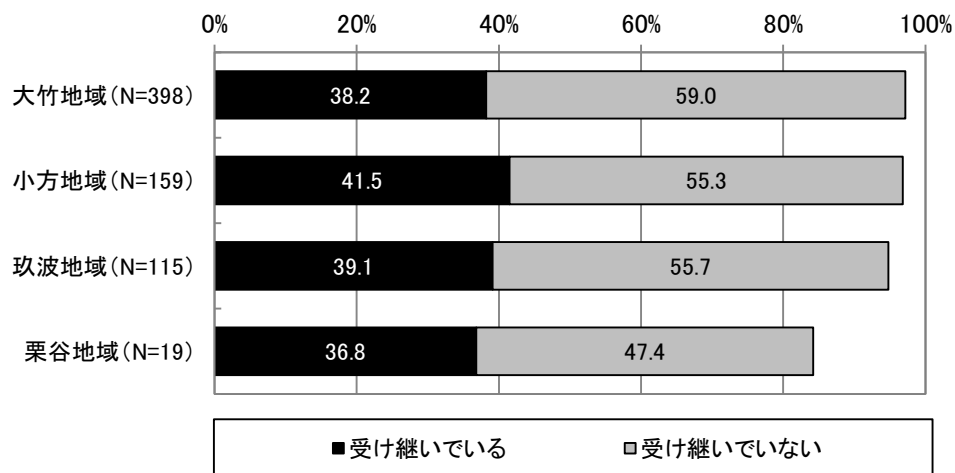
【問50 郷土料理・伝統料理】 × 【問2 年代】

“20 歳代”で「受け継いでいる」の割合が高くなっています。



【問50 郷土料理・伝統料理】 × 【問3 地域】

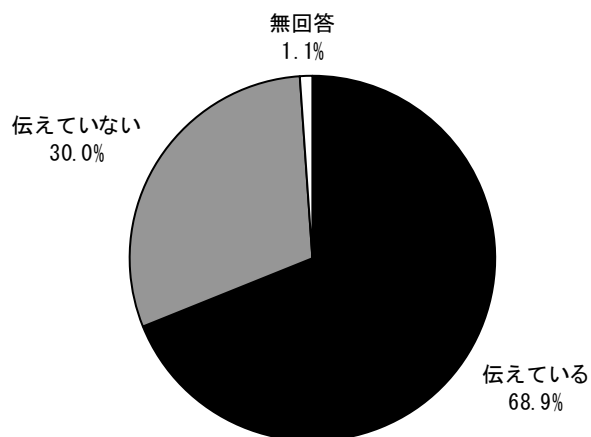
“小方地域”で「受け継いでいる」の割合が高くなっています。



問50-1 あなたは、さらにそれを次世代（自分の子どもや孫、近所の子どもたちなど）に対して 伝えていますか。(SA)

「伝えている」が68.9%を占めています。

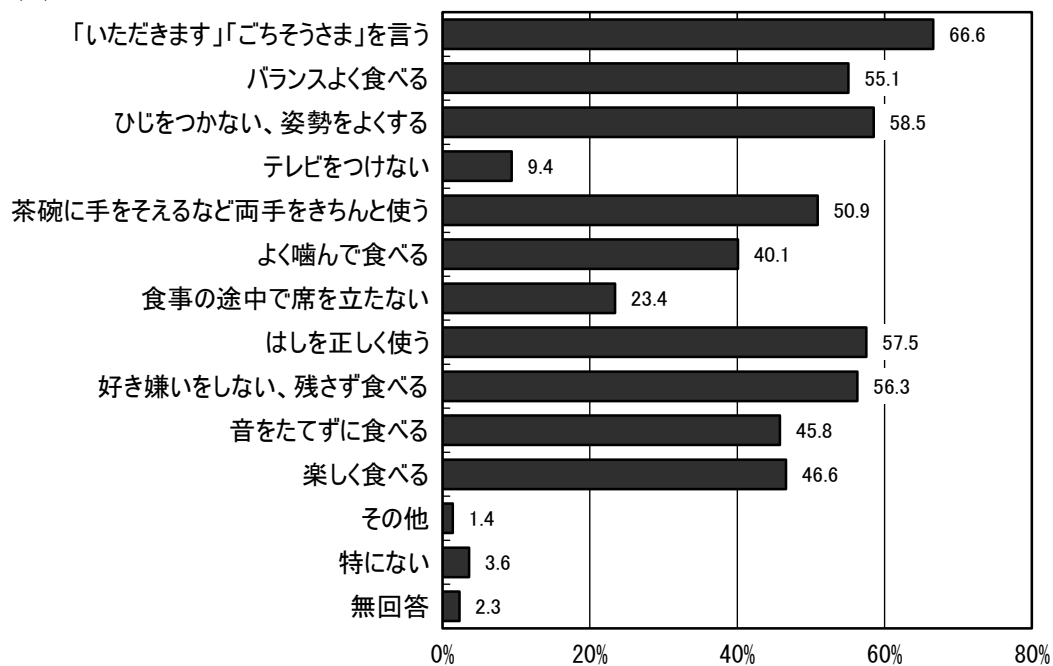
(SA) N=273



問51 あなたが食事のマナーについて気を付けていることはなんですか。(MA)

「いただきます」「ごちそうさま」を言う」が 66.6%で最も高くなっています。次いで「ひじをつかない、姿勢をよくする」が 58.5%、「はしを正しく使う」が 57.5%で続いています。

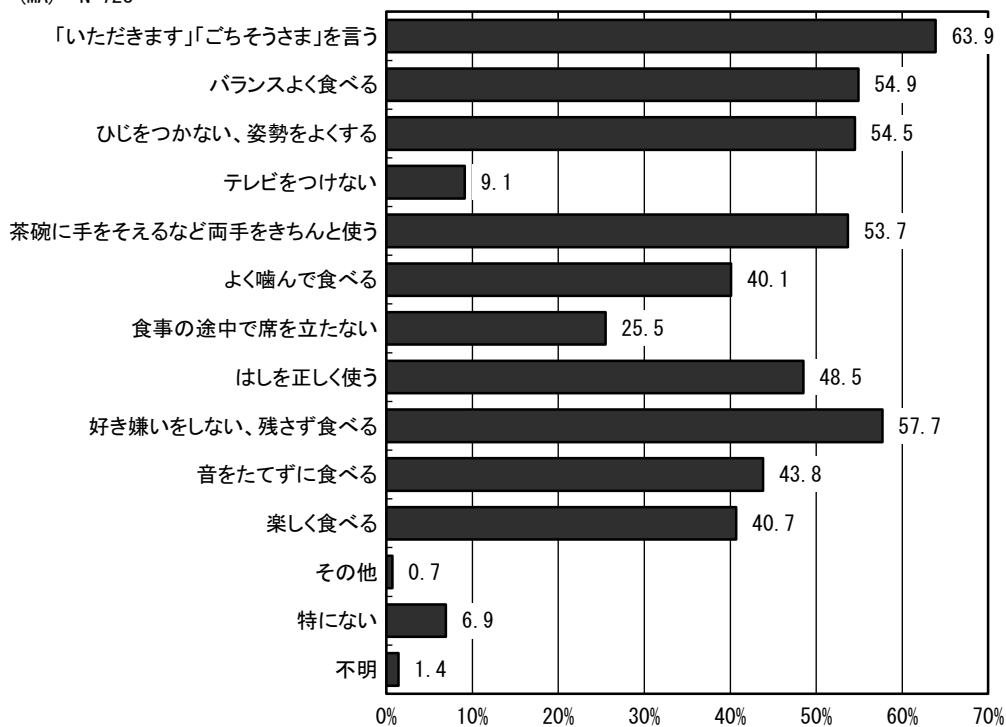
(MA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて「はしを正しく使う」が増加しています。

(MA) N=728



【問51 食事のマナー】 × 【問2 年代】（一部抜粋）

年代が若いほど「いただきます」「ごちそうさま」を言うや「音をたてずに食べる」が高くなっています。

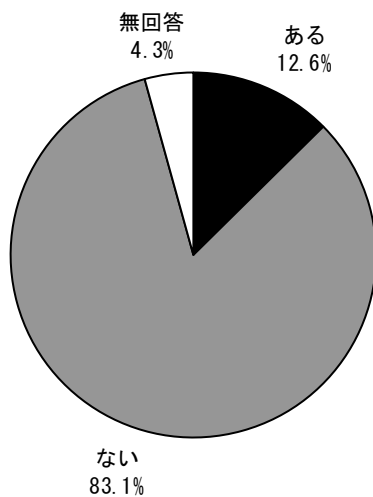
全体的に“30歳代”、“40歳代”で食事のマナーに気を使っている傾向がみられます。

上段:度数 下段:%	合計	「いただきます」「ごちそうさま」を言う	バランスよく食べる	ひじをつかない、姿勢をよくする	茶碗に手をそえるなど両手をきちんと使う	よく噛んで食べる
全体	701 100.0	467 66.6	386 55.1	410 58.5	357 50.9	281 40.1
20歳代	53 100.0	42 79.2	18 34.0	20 37.7	21 39.6	18 34.0
30歳代	93 100.0	74 79.6	45 48.4	53 57.0	55 59.1	40 43.0
40歳代	96 100.0	69 71.9	53 55.2	57 59.4	51 53.1	31 32.3
50歳代	137 100.0	81 59.1	80 58.4	92 67.2	65 47.4	45 32.8
60歳代	171 100.0	117 68.4	97 56.7	110 64.3	88 51.5	71 41.5
70歳以上	138 100.0	77 55.8	83 60.1	74 53.6	73 52.9	72 52.2
無回答	13 100.0	7 53.8	10 76.9	4 30.8	4 30.8	4 30.8
上段:度数 下段:%	合計	食事の途中で席を立たない	はしを正しく使う	好き嫌いを残さず食べる	音をたてずに食べる	楽しく食べる
全体	701 100.0	164 23.4	403 57.5	395 56.3	321 45.8	327 46.6
20歳代	53 100.0	16 30.2	25 47.2	24 45.3	33 62.3	24 45.3
30歳代	93 100.0	28 30.1	57 61.3	60 64.5	51 54.8	51 54.8
40歳代	96 100.0	22 22.9	64 66.7	48 50.0	49 51.0	50 52.1
50歳代	137 100.0	21 15.3	76 55.5	71 51.8	55 40.1	55 40.1
60歳代	171 100.0	39 22.8	99 57.9	101 59.1	82 48.0	82 48.0
70歳以上	138 100.0	36 26.1	79 57.2	81 58.7	47 34.1	60 43.5
無回答	13 100.0	2 15.4	3 23.1	10 76.9	4 30.8	5 38.5

問52 農林漁業の体験に参加したことがありますか。(SA)

「ない」が83.1%を占めています。

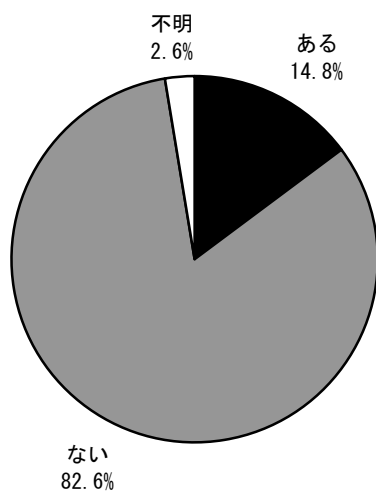
(SA) N=701



≪参考≫ 前回調査結果（平成25年実施分）

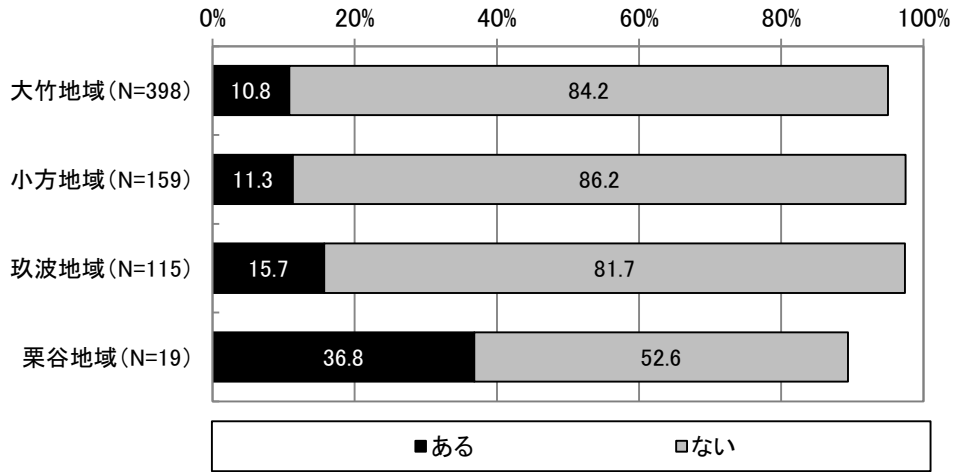
前回調査に比べて、農林漁業体験の参加経験者が減少しています。

(SA) N=728



【問52 農林漁業体験】 × 【問3 地域】

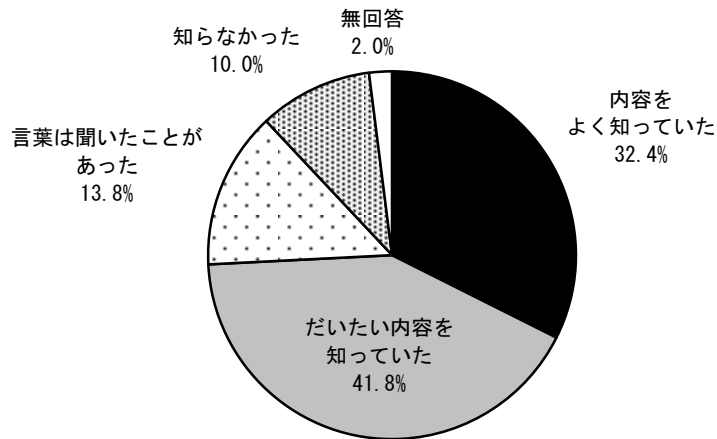
“栗谷地域”での体験割合が高くなっています。



問53 「地産地消」(地域でとれたものを地域で消費するという意味)を進める運動が展開されています。あなたは、「地産地消」についてどの程度知っていましたか。(SA)

「だいたい内容を知っていた」が 41.8%で最も高く、次いで「内容をよく知っていた」が 32.4%、「言葉は聞いたことがあった」が 13.8%、「言葉は聞いたことがなかった」が 10.0%、「無回答」が 2.0%で続いています。

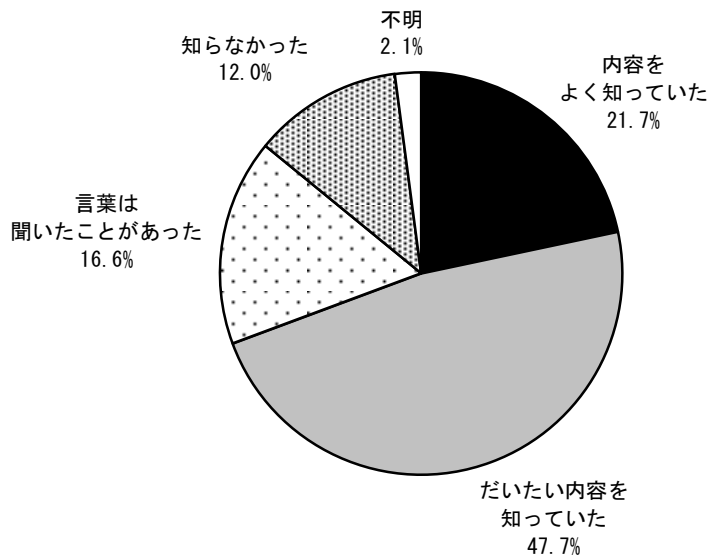
(SA) N=701



◀参考▶ 前回調査結果（平成25年実施分）

前回調査に比べて、「内容をよく知っていた」が増加しています。

(SA) N=728



【問53 地産地消】 × 【問2 年代】

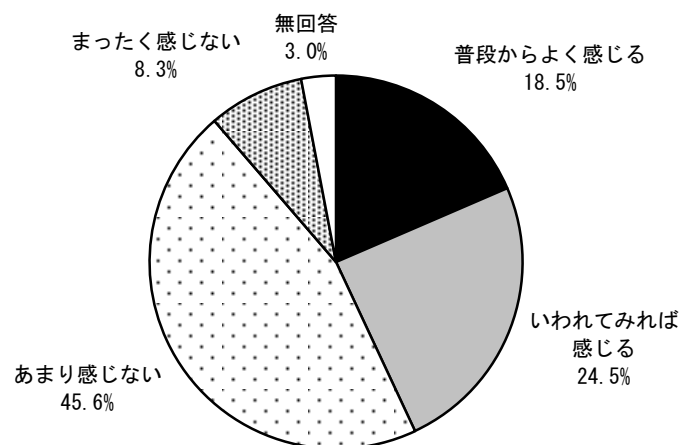
“20 歳代”での認知が比較的低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	内容をよく知っていた	だいたい内容を知っていた	言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	701 100.0	227 32.4	293 41.8	97 13.8	70 10.0
20歳代	53 100.0	12 22.6	20 37.7	8 15.1	11 20.8
30歳代	93 100.0	37 39.8	38 40.9	9 9.7	9 9.7
40歳代	96 100.0	36 37.5	30 31.3	16 16.7	13 13.5
50歳代	137 100.0	51 37.2	56 40.9	14 10.2	14 10.2
60歳代	171 100.0	55 32.2	82 48.0	25 14.6	7 4.1
70歳以上	138 100.0	33 23.9	63 45.7	20 14.5	15 10.9

問54 日常生活の中で「地産地消」を感じますか。(SA)

「あまり感じない」が45.6%で最も高く、次いで「いわれてみれば感じる」が24.5%、「普段からよく感じる」が18.5%が続いています。

(SA) N=701



【問53 日常生活の地産地消】 × 【問2 年代】

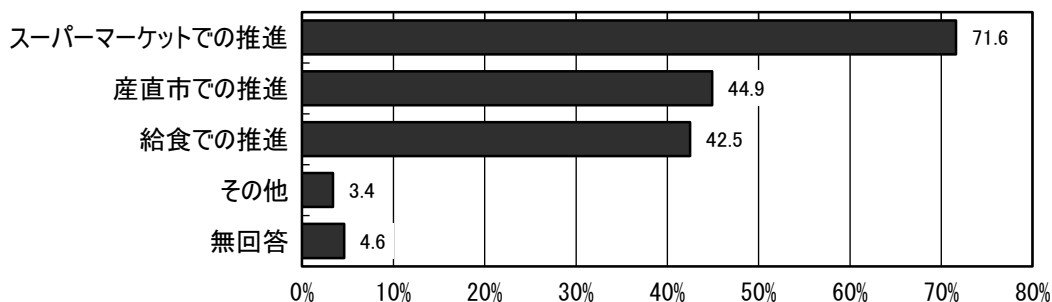
年代が高いほど日常生活の地産地消を感じている傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	よく 普段から 感じる	感じる いわれて みれば	あまり 感じない	感じ まったく ない
全体	701 100.0	130 18.5	172 24.5	320 45.6	58 8.3
20歳代	53 100.0	4 7.5	11 20.8	26 49.1	9 17.0
30歳代	93 100.0	14 15.1	18 19.4	52 55.9	9 9.7
40歳代	96 100.0	16 16.7	24 25.0	44 45.8	10 10.4
50歳代	137 100.0	23 16.8	31 22.6	68 49.6	13 9.5
60歳代	171 100.0	37 21.6	46 26.9	79 46.2	7 4.1
70歳以上	138 100.0	32 23.2	39 28.3	48 34.8	8 5.8

問55 「地産地消」を進めるにはどのような方法がよいと思いますか。(MA)

「スーパーマーケットでの推進」が 71.6%で最も高くなっています。次いで「産直市での推進」が 44.9%、「給食での推進」が 42.5%が続いています。

(MA) N=701



【問55 地産地消の方法】 × 【問2 年代】

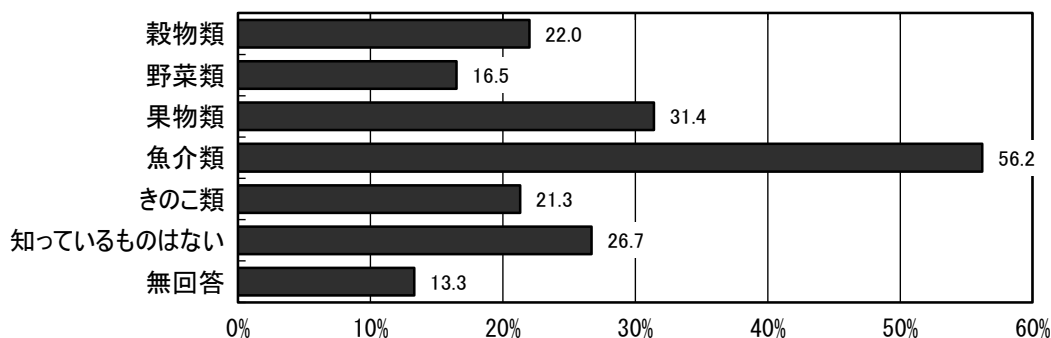
若い年代では「スーパーマーケットでの推進」や「給食での推進」が高くなっており、高い年代では「産直市での推進」が高くなっています。

	合計	スーパー マーケットでの 推進	産直市での 推進	給食での 推進	その他
上段:度数 下段:%					
全体	701 100.0	502 71.6	315 44.9	298 42.5	24 3.4
20歳代	53 100.0	44 83.0	12 22.6	30 56.6	1 1.9
30歳代	93 100.0	70 75.3	32 34.4	58 62.4	2 2.2
40歳代	96 100.0	77 80.2	42 43.8	48 50.0	3 3.1
50歳代	137 100.0	112 81.8	64 46.7	69 50.4	2 1.5
60歳代	171 100.0	106 62.0	94 55.0	53 31.0	8 4.7
70歳以上	138 100.0	84 60.9	65 47.1	35 25.4	4 2.9

**問56 大竹市でとれる代表的な農林水産物について、特にあなたが知っているものは何ですか。
(MA)**

「魚介類」が56.2%で突出しています。「果物類」が31.4%、「知っているものはない」が26.7%で続いています。

(MA) N=701



【問56 代表的な農林水産物】 × 【問2 年代】

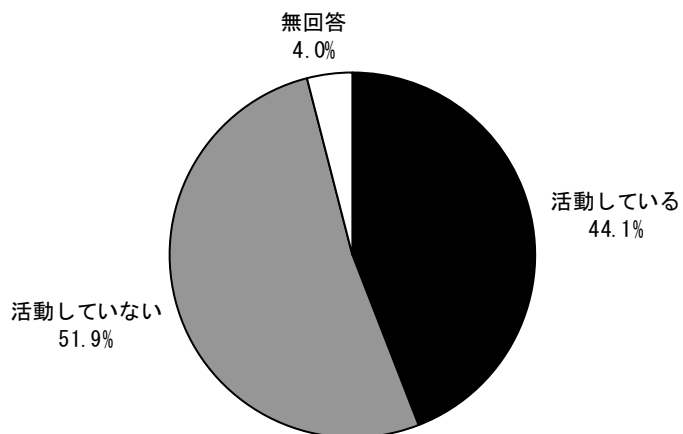
年代が若いほど「知っているものはない」が高くなる傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	穀物類	野菜類	果物類	魚介類	きのこ類	も知っていない
全体	701 100.0	154 22.0	116 16.5	220 31.4	394 56.2	149 21.3	187 26.7
20歳代	53 100.0	4 7.5	4 7.5	4 7.5	17 32.1	2 3.8	29 54.7
30歳代	93 100.0	14 15.1	6 6.5	19 20.4	41 44.1	11 11.8	42 45.2
40歳代	96 100.0	18 18.8	4 4.2	19 19.8	50 52.1	17 17.7	35 36.5
50歳代	137 100.0	31 22.6	18 13.1	42 30.7	78 56.9	29 21.2	34 24.8
60歳代	171 100.0	37 21.6	39 22.8	70 40.9	109 63.7	46 26.9	26 15.2
70歳以上	138 100.0	43 31.2	39 28.3	59 42.8	90 65.2	38 27.5	20 14.5

問57 あなたは楽しみや生きがいのある活動（趣味も含む）をしていますか。（SA）

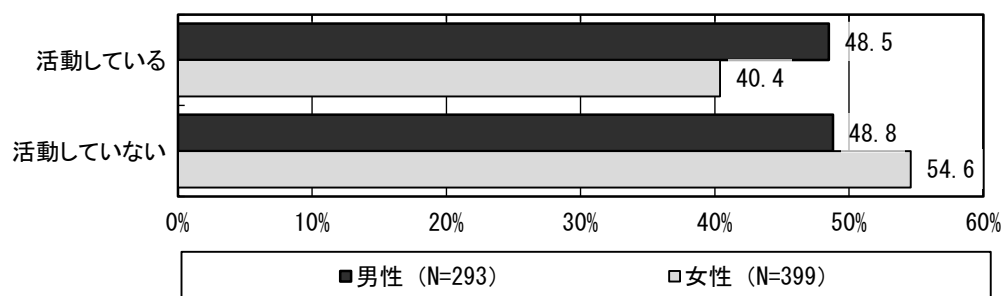
「活動していない」が51.9%を占めています。

(SA) N=701



【問57 生きがい】 × 【問1 性別】

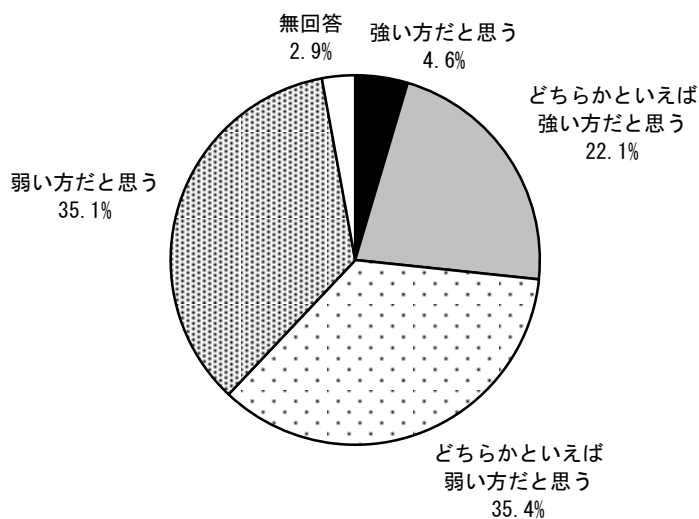
“男性”は“女性”に比べて「活動をしている」割合が高くなっています。



問58 あなたは自分と地域の人たちとのつながりが強いほうだと思いますか。(SA)

「どちらかといえば弱い方だと思う」が 35.4%で最も高く、次いで「弱い方だと思う」が 35.1%、「どちらかといえば強い方だと思う」が 22.1%で続いています。

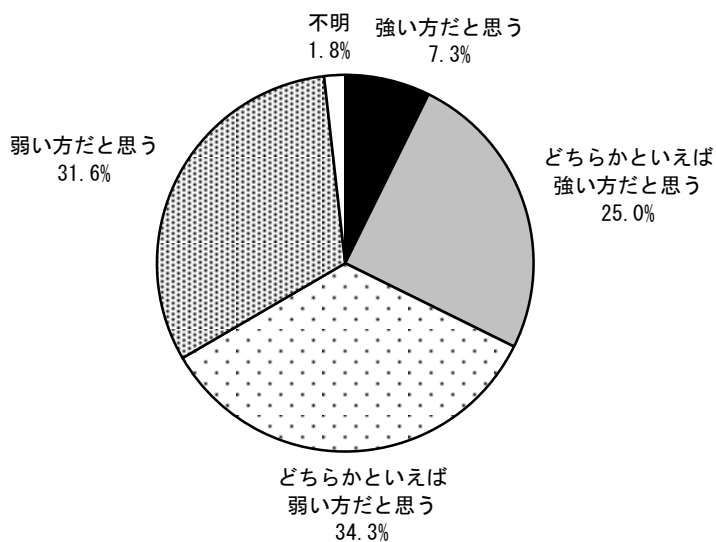
(SA) N=701



「参考」 前回調査結果 (平成25年実施分)

前回調査に比べて、地域のつながりが強いと感じる人は減少しています。

(SA) N=728



【問58 地域のつながり】 × 【問2 年代】

高い年代の方が地域の繋がりを強いと感じています。

上段:度数 下段:%	合計	強い方だ と思う	どちらか といえ ば強い 方だ と思う	どちらか といえ ば弱 い方 だ と 思 う	弱 い 方 だ と 思 う
全体	701 100.0	32 4.6	155 22.1	248 35.4	246 35.1
20歳代	53 100.0	1 1.9	10 18.9	11 20.8	29 54.7
30歳代	93 100.0	- -	16 17.2	23 24.7	54 58.1
40歳代	96 100.0	3 3.1	17 17.7	38 39.6	37 38.5
50歳代	137 100.0	4 2.9	26 19.0	53 38.7	52 38.0
60歳代	171 100.0	11 6.4	47 27.5	64 37.4	45 26.3
70歳以上	138 100.0	13 9.4	34 24.6	55 39.9	26 18.8

【問58 地域のつながり】 × 【問3 地域】

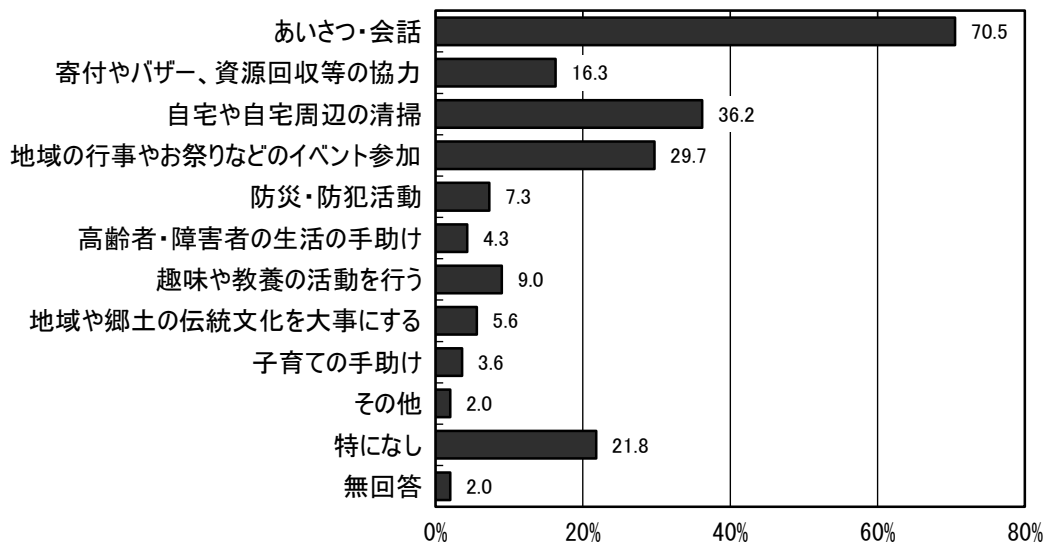
“栗谷地域”では比較的つながりを強いと感じています。

上段:度数 下段:%	合計	強い方だ と思う	どちらか かといえ ば強い方 だと思 う	どちらか かといえ ば弱い方 だと思 う	弱い方 だと思 う
全体	701 100.0	32 4.6	155 22.1	248 35.4	246 35.1
大竹地域	398 100.0	17 4.3	77 19.3	144 36.2	149 37.4
小方地域	159 100.0	7 4.4	34 21.4	57 35.8	57 35.8
玖波地域 (松ヶ原町を含む)	115 100.0	5 4.3	32 27.8	40 34.8	36 31.3
栗谷地域	19 100.0	3 15.8	9 47.4	2 10.5	2 10.5

問59 地域の人たちとのつながりのためにやっていることはありますか。(MA)

「あいさつ・会話」が70.5%で突出しています。「自宅や自宅周辺の清掃」が36.2%、「地域の行事やお祭りなどのイベント参加」が29.7%で続いています。

(MA) N=701



【問59 地域のつながりのための行い】 × 【問2 年代】 （一部抜粋）

若い年代では「特になし」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	あいさつ・会話	寄付やバザー、 資源回収等の協力	自宅 周辺の清掃	地域の行事や お祭りなどの イベント参加	特になし
全体	701 100.0	494 70.5	114 16.3	254 36.2	208 29.7	153 21.8
20歳代	53 100.0	25 47.2	2 3.8	2 3.8	4 7.5	22 41.5
30歳代	93 100.0	51 54.8	5 5.4	16 17.2	27 29.0	29 31.2
40歳代	96 100.0	62 64.6	6 6.3	22 22.9	26 27.1	27 28.1
50歳代	137 100.0	97 70.8	22 16.1	52 38.0	39 28.5	30 21.9
60歳代	171 100.0	142 83.0	40 23.4	81 47.4	64 37.4	24 14.0
70歳以上	138 100.0	109 79.0	35 25.4	76 55.1	44 31.9	17 12.3

【問59 地域のつながりのための行い】 × 【問3 地域】 （一部抜粋）

“栗谷地域”では比較的他の地域に比べて地域のつながりのために行っていることが多くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	あいさつ・会話	寄付やバザー、 資源回収等の協力	自宅 周辺の清掃	地域の行事や お祭りなどの イベント参加	特になし
全体	701 100.0	494 70.5	114 16.3	254 36.2	208 29.7	153 21.8
大竹地域	398 100.0	270 67.8	56 14.1	132 33.2	114 28.6	96 24.1
小方地域	159 100.0	116 73.0	25 15.7	62 39.0	45 28.3	30 18.9
玖波地域 (松ヶ原町を含む)	115 100.0	87 75.7	24 20.9	47 40.9	34 29.6	21 18.3
栗谷地域	19 100.0	15 78.9	6 31.6	9 47.4	13 68.4	2 10.5